

決算に係る主要な施策の成果

平成27年度

伊勢市

目 次

○ 決算に係る主要な施策の成果説明書

一 般 会 計

議 会 費	1
総 務 費	2
民 生 費	26
衛 生 費	47
労 働 費	60
農 林 水 産 業 費	62
商 工 費	72
観 光 費	77
土 木 費	85
消 防 費	100
教 育 費	112
災 害 復 旧 費	137
公 債 費	139
国民健康保険特別会計	140
後期高齢者医療特別会計	143
介護保険特別会計	144
観光交通対策特別会計	148
都市計画税の充当状況	149
費目別不納欠損の状況	150
地方消費税交付金(社会保障財源化分)充当事業	152

主 要 な 施 策 の 成 果

【一般会計】

(款) 1. 議会費 (項) 1. 議会費 (目) 1. 議会費

(単位 千円)

予算現額 385,304 千円
 決算額 380,290 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				380,290

議会事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 政務活動費	6,575	市議会各会派の市政に関する調査研究を推進し、議員活動の充実を図るため、月額30,000円に会派構成議員数を乗じた額を会派に対して交付した。 なお、必要経費を支出した後、残余がある会派からは、当該残余額の返還を受けた。	93
2. 議会広報経費	8,231	○「いせ市議会だより」発行 市議会活動を市民に広報するため、「いせ市議会だより」を発行、各戸配布した。 年間発行 4回 ○市議会放映 市議会活動を市民に広報するため、市議会本会議と予算・決算特別委員会をケーブルテレビで録画放送した。 会議があった日の翌日午後2時と午後7時からの2回放送及び定例会終了日の翌々日午後8時から再放送 本会議放映 20日分 予算・決算特別委員会放映 9日分	93

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 1. 一般管理費

(単位 千円)

予算現額 2,093,300 千円
 決算額 2,013,405 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
963	3,816		21,288	1,987,338

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 行財政改革推進事業	38	平成26年度に策定した行財政改革指針に基づく取組項目(取組期間：平成29年度までの4年間)の進行管理を行った。 平成26年度の取組結果を伊勢市行政改革推進委員会及び市議会(各常任委員協議会)に報告し、ホームページを通じ市民に公表した。	95

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域自治推進事業	150,814	<p>「ふるさと未来づくり条例」が施行となり、制度を本格稼動した。</p> <p>各小学校区に「地区担当職員」を配置し、事業の運営に必要な情報提供や助言を行うなど、まちづくり協議会の取組みを支援するとともに、その取組みに対する地域住民の理解促進を図り自治意識を啓発するための講演会等を開催した。</p> <p>また、「まちづくり協議会」が実施する事務事業の財源として、ふるさと未来づくり資金を交付した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務運営費・活動事業費(基本額)(23組織) 79,057,534円 ・一括交付金化事業 68,975,200円(11組織) <p>計 148,032,734円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 160,456,000円 ・新たなまちづくり講演会 ・まちづくり人材養成講座 ・市民活動補償制度 ・ふるさと未来づくり資金 など</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 76,075,245円(設立済 23組織(24学区)) 事業全体 84,152,794円 平成25年度 48,817,287円(設立済 18組織(19学区)) 事業全体 52,304,306円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・条例が施行され市の制度としての位置づけも新たに本格稼動したが、財政支援については、緩やかな移行期間として選択性を設けており、調整が必要な地域がある。 ・今後、更なる地域自治を進め、地域の特性に合った活動と課題解決のための支援策を検討する必要がある。</p>	95

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. <u>自治会コミュニティ放送整備補助事業</u>	112,135	<p>地域住民のコミュニティ活動の推進を図るため、地域活動の活性化及び地域内の情報伝達手段として自治会コミュニティ放送設備等を整備する自治会に対して補助金を交付した。</p> <p>交付金額 112,135,000円 (37自治会) <内訳> ・拡声放送 12,128,000円 (11自治会) ・戸別受信機 99,727,000円 (24自治会) ・メール配信 280,000円 (2自治会)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 114,266,000円 ・拡声放送設備整備事業 ・戸別受信機放送設備整備事業 ・メール配信設備整備事業</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成26年度 45,991,000円 (29自治会) ・拡声放送 6,328,000円 (11自治会) ・戸別受信機 38,190,000円 (14自治会) ・メール配信 1,473,000円 (4自治会) 平成25年度 76,485,000円 (17自治会) ・拡声放送 5,800,000円 (3自治会) ・戸別受信機 56,201,000円 (9自治会) ・メール配信 14,484,000円 (5自治会)</p> <p>【事業を取りまく状況等】 平成25年度から27年度までの3年度を補助制度施行期間としていたが、本事業により放送設備を導入した自治会では自治会内の情報伝達に有効に活用されている。 コミュニティ活性化のために必要な制度であり、補助率を変更して、引き続き3年間制度を継続し、今後結果を検証した上で方向性を決定していく。</p>	95

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 4. 人材育成推進費

(単位 千円)

予算現額 11,983 千円
 決算額 11,130 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			104	11,026

職員課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 職員研修事業	11,130	伊勢市職員としての意識の向上及び必要な知識の習得を図るため、一般研修を行った。また、職員の職務遂行能力を高めるために、専門研修等に派遣した。 (1) 実施実績 ①一般研修(人材育成カレッジ除く) 研修数23回 受講者数 2,096名 ②一般研修(人材育成カレッジ) 研修回数33回 受講者数 1,192名 ③派遣研修 研修数59回 受講者数 141名 (2) 研修評価(受講者自身による評価) ①業務向上度 研修全体 85.7% 一般研修 85.6% 派遣研修 90.2% ②意識向上度 研修全体 67.5% 一般研修 66.9% 派遣研修 78.0%	97

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 6. 広報広聴費

(単位 千円)

予算現額 54,529 千円
 決算額 52,659 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,092	49,567

広報広聴課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 広報いせ発行业業	29,456	「広報いせ」を毎月1日と15日に発行し、市政方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報などを広く市民に広報し、理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。	97
2. CATV広報いせ放送事業	17,061	行政情報番組「お知らせ番組(毎週更新)と特集番組(毎月更新)」を制作し放送した。特集番組では、分かりやすく親しみを持っていただくことを目的に、タレントをリポーターとして起用し、YouTubeへの掲載も行った。	97
3. インターネット情報発信事業	3,565	各所属からの情報をいち早く掲載するとともに、モバイル端末での利便性向上、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページ環境の整備に努めた。	97

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 8. 電算事務管理費

(単位 千円)

予算現額 464,476 千円
 決算額 322,900 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
94,228			38,242	190,430

総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 住民情報システム 管理経費	261,864	<p>住民基本台帳、税及び福祉サービス等の基幹システムである総合住民情報システムの保守管理等を行い、システムの安定稼働を図った。</p> <p>また、市税等に関する各種帳票の印刷業務並びに総合住民情報システムの稼働において必要となる各種資料・情報を作成するためのイメージデータの読取業務やデータ穿孔業務等について、外部委託を行い、業務を適正に履行した。</p> <p>さらに、社会保障・税番号（マイナンバー）制度に対応するため、総合住民情報システムの改修や団体内統合利用番号連携サーバ、ネットワークの構築、団体内連携について確認を行う総合テスト等を行った。</p>	97
2. 行政情報システム 管理経費	47,475	<p>財務会計・文書管理・人事給与・庶務事務・グループウェア等の行政情報システム（内部情報系）、インターネットシステム及びネットワークシステムの保守管理等を行い、各システムの安定稼働を図った。</p> <p>また、回線不具合等の発生時においても業務が継続できるよう、インターネット回線の冗長化を行った。</p>	97
3. ITセキュリティ 対策事業	8,356	<p>ウイルス対策システム、セキュリティパッチ配信システムの機器更新や、ウイルス対策ソフトの更新等を行い、市民の大切な情報資産の安全管理と情報セキュリティの維持、向上を推進した。</p>	97

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 9. 企画費

(単位 千円)

予算現額 212,116 千円
 決算額 38,670 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,200	150		3,213	30,107

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市制施行10周年記念事業	920	市制施行10周年を迎えるにあたり、合併の成果を検証するとともに今後のまちづくりの参考とするため、アンケート調査を実施した。 回答結果 回答数1,686人 (3,500人中) 回答率 48.2%	99
2. <u>公共施設マネジメント事業</u>	203	平成26年4月に総務省から要請があった公共施設等総合管理計画の策定にあたり、外部委員7名で構成される伊勢市公共施設等総合管理計画検討委員会を開催した。また、パブリックコメント及び住民説明会を実施し、平成28年3月に『伊勢市公共施設等総合管理計画』を策定した。 職員が公共施設マネジメントに関する必要な知識を習得するため、研修会へ参加した。 検討委員会開催経費 192,840円 研修会参加旅費 10,080円 【当初予算における内容、計画】 公共施設マネジメント事業 817,000円 ・公共施設等総合管理計画の策定 ・住民説明会の開催 【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 116,120円 ・公共施設等総合管理計画検討委員会の開催等 平成25年度 361,406円 ・公共施設マネジメント講演会の開催等 【事業を取りまく状況等】 平成26年4月に総務省から「公共施設等総合管理計画の策定要請」があり、これまで対象としてきた学校、集会施設等の建物の他、道路・橋りょう等のインフラ資産や公営企業の施設(上水道・下水道等)等も含め、「公共施設等総合管理計画」を策定することが必要となった。	99

企 画 調 整 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 総合計画推進事業	198	<p>伊勢市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、様々なまちの課題の解決に向けて、市としてどう取り組んでいくかという方針を示すことを目的に、平成26年に策定した第2次伊勢市総合計画の進行管理を総合計画審議会における審議を経て実施した。</p> <p>○伊勢市総合計画審議会を3回開催</p>	99
2. 定住自立圏構想推進事業	115	<p>定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で形成する伊勢志摩定住自立圏について、圏域の関係者17名で構成される懇談会における協議等を経て、圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン」の変更を行った。</p> <p>また、取組内容の拡充を図るため、圏域市町の首長を構成員とする伊勢志摩定住自立圏推進協議会における協議等を経て、定住自立圏形成協定の変更を行った。</p> <p>○平成27年6月 伊勢志摩定住自立圏共生ビジョンを変更 ○平成28年3月 2市5町と協定変更 ○伊勢志摩定住自立圏推進協議会（総会）を開催 ○伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会を2回開催</p>	99
3. 市制施行10周年記念事業	5,833	<p>平成17年11月の4市町村による合併から10年が経過することから、市町村合併の検証を行うとともに、記念ロゴマークの作成、記念式典の開催等、市制施行10周年記念事業を実施した。</p> <p>○市制施行10周年記念事業 39事業 ○記念式典の開催 ・開催日：平成27年11月1日（日） ・場所：伊勢市観光文化会館 大ホール ・内容：表彰（伊勢市民功労賞・伊勢市民スポーツ賞） ビデオ上映「映像で振り返る伊勢市の10年」 小中学生による「やさしいまち伊勢市」への提案 市内中学校合唱部と来場者全員による合唱</p>	99
4. 伊勢志摩サミット推進事業	12,069	<p>平成27年7月31日に、サミットの開催を契機として、市民及び事業者の「おもてなし」の心を育むとともに、伊勢を訪れる方々を「おもてなし」の心を持って温かく迎えることにより、何度も訪れたい魅力あるまちにすることを目的として「伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議」を設立した。</p> <p>○伊勢志摩サミット伊勢おもてなし会議 5回開催</p> <p>また、この地域でサミットが開催されることを広く周知し、伊勢市を訪れる国内外の方々に対する様々なおもてなし事業に取り組んだ。さらに、国内外のメディア等に対してサミット情報だけでなく、伊勢市の観光、食、歴史等の情報を発信してもらうように働きかけた。</p>	99

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出会い・結婚支援 事業	300	出会いの場を望む独身男女を対象に出会いイベントを開催した。 イベント名：「人気スイーツ大集合！バレンタインパーティー」 参加人数60人（男性30人・女性30人）	99

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢志摩サミット 推進事業	11,296	平成28年5月26、27日に開催される伊勢志摩サミット（先進7カ国（G7）首脳会議）に向け、消防機関としてテロ対策や火災、救急、救助対策に必要な消防用資機材等の充実を図った。 また、県内外から消防部隊の応援を受けメディアセンター等の消防特別警戒を行うため、伊勢市朝熊町地内に現地警戒本部となる仮施設の設計業務委託についても行った。 【資機材の充実】 ○感染防止衣 ○救命ボート ○軽量空気ボンベ など 【仮施設の設計業務】 ○仮施設借上げに係る準備業務委託	99

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 10. 男女共同参画推進費

(単位 千円)

予算現額 1,741 千円
 決算額 1,668 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			200	1,468

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 男女共同参画推進都市事業	1,389	<p>主に市民の意識啓発のための取り組みを、市民団体「NPO男女共同参画れいんぼう伊勢」に委託して実施した。また、企業への啓発のため、事業所訪問と企業向け研修講座の開催、及び事業所等における男女共同参画の取り組みを促進するため、積極的に取り組んでいる事業所等を表彰した。</p> <p>市民向けの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画祭、講演会、各種講座、街頭啓発など ・広報いせへ啓発記事掲載 <p>企業向けの取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問 18社 ・企業対象研修講座 1回開催 参加者20人 ・男女共同参画推進事業者等の表彰 <p>○女性の活躍推進「きらり」賞 認定特定非営利活動法人ときわ会 藍ちゃんの家</p> <p>○仕事と生活の調和实践賞 株式会社 ギューとら</p> <p>○特別賞 四郷地区まちづくり協議会</p>	99

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 17. 財産管理費

(単位 千円)

予算現額 228,910 千円
 決算額 180,823 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	811	9,500	1,777	168,735

管財契約課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	6,089	本庁舎等管財契約課が所管する施設の効率的な管理及び老朽化対策を図るため、改修工事を行った。 (主な概要) 佐八車庫及び水防倉庫浄化槽改修 小型合併処理浄化槽10人槽 1基	103
2. <u>本庁舎改修事業</u>	24,836	築51年が経過した本庁舎本館の長寿命化及び市の防災拠点としての耐震性能の向上等を図るため、平成26年度に策定した庁舎改修基本計画に基づき、平成30年夏季の完工に向けた整備を進めている。 (主な概要) 本庁舎改修設計業務委託 一式 1件 平成27～平成28年度 一時移転先改修工事設計業務 一式 1件 一時移転先仮事務所設置工事 一式 4件 平成28年度～繰越 ※一時移転先：小俣総合支所、御菌総合支所、旧消防本部及び消防署、旧さくらぎ保育所、東庁舎（仮事務所設置工事は平成28年度施行予定） 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 10,006千円 ・一時移転先改修工事設計業務 一式 補正予算額 40,297千円 ・本庁舎改修設計業務委託 一式 ・一時移転先仮事務所設置工事 一式 【過去2ヵ年度の実績】 平成27年度新規事業のため、実績なし 【事業を取りまく状況等】 老朽化等現在の庁舎が抱える問題を解消し、市民等が安心及び満足できるような環境づくりが早期に求められている。	103

二見総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庁舎等整備経費	6,163	<p>二見総合支所が所管する施設の適正な管理のため、必要な整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二見総合支所キュービクル電力ヒューズ取替え工事 60千円 ・二見総合支所非常用自家発電設備修繕工事 734千円 ・二見総合支所庁舎外部通路手摺補強工事 1,531千円 ・二見総合支所厚生室間仕切設置工事 214千円 ・二見総合支所ほか飛散防止フィルム貼付工事 3,624千円 	103

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 19. 市民交流推進費

(単位 千円)

予算現額 97,587 千円
 決算額 94,601 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			22,286	72,315

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民活動促進事業	12,633	平成16年4月にいせ市民活動センターを開設し、同年7月から指定管理者制度を導入して運営している。平成24年度から第4期目(5ヵ年)に入り、特定非営利活動法人いせコンビネットが管理運営を行っている。 平成27年度指定管理料 11,924,324円	105
2. コミュニティ助成事業補助金	22,200	(一財)自治総合センターからの助成金を財源とし、コミュニティ組織である自治会等に補助金を交付した。 〔交付団体数〕自治会…4団体 まちづくり協議会…1団体	105
3. 元気なまちづくり協働事業補助金	4,567	市と自治会が協働して地域社会の活性化を図るため、自治会が各地域において主体的に取り組む事業に対して、補助金を交付した。 〔交付団体数〕77団体	105
4. 活性化活動事業補助金	403	市内で活動する地域グループや活動団体が、元気で活気溢れる地域づくりに貢献し、市民自治の担い手として継続的に活動できるよう、その経費の一部を補助した。 〔交付団体数〕5団体 〔交付金額〕352,000円	105
5. 伊勢のまつり開催事業	8,386	市民が「見て」、「参加して」楽しめる行事を通じて、市民の一体感の醸成を図るとともに市民文化の向上に寄与し、ふるさとづくりの推進を図ることを目的に開催した。 〔開催日〕10月10日(土)、11日(日) 〔会場〕高柳商店街周辺～県道鳥羽松阪線～伊勢市駅周辺 〔参加団体数〕延べ258団体(6,300人) 〔来場者数〕約15万人	105
6. ラジオ体操みんなの体操会開催事業	730	市制施行10周年とまちづくり協議会の全地区設立を記念し、市民の健康増進、参画、交流を図ることを目的に開催した。 〔開催日〕8月6日(木) 〔参加者数〕1,800人	105

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 20. 自治区振興費

(単位 千円)

予算現額 110,039 千円
 決算額 109,368 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				109,368

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地区連絡員事業	55,791	行政の運営を円滑に且つより効果的に行うため、行政情報等の伝達を行った。	105
2. 区長謝礼事業	7,370	市内175自治会の活動について、行政委員等その候補者推薦業務等、依頼事項に対する謝礼を交付した。	105
3. 振興助成金事業	14,707	地域における自治活動を支援・推進するため市内94自治会に助成金を交付した。	105
4. <u>自治会集会所建設事業補助金</u>	30,070	<p>地域のコミュニティ活動の場を確保することや自治会の負担軽減、集会所の長寿命化のため、自治会等が活動拠点として所有し、維持管理する集会所の建設、改築、修繕及びバリアフリー改修を行った自治会に補助金を交付した。</p> <p>交付金額 30,070,000円 (10自治会)</p> <p><内訳></p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設 13,818,000円 (3自治会) ・改築 14,000,000円 (2自治会) ・修繕 1,483,000円 (3自治会) ・バリアフリー改修 769,000円 (2自治会) <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 38,470,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建設・改築 32,470,000円 (6自治会) ・修繕 5,000,000円 (5自治会) ・バリアフリー改修 1,000,000円 (1自治会) <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成27年度からの新規事業のため実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従前の制度と比較して補助金額や補助事業の内容を拡充し、自治会の負担軽減を図っている。 ・コミュニティ活動の場である自治会集会所の確保、維持が、地域コミュニティの活性化にもつながることから、今後も本事業を継続していく必要がある。 	107
5. 総連自治会運営補助金	1,430	市内165自治会が加盟する伊勢市総連自治会の事業活動を支援するため補助金を交付した。	107

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 21. 国際交流事業費

(単位 千円)

予算現額 4,868 千円
 決算額 4,499 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,770		15	2,714

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 国際交流推進事業	1,923	伊勢市国際交流協会を通じ、国際交流の趣旨普及、情報提供及びボランティア活動の推進に努めた。また、新たな取組みとして、国際感覚の醸成を目的とした国際交流フェスティバルを開催した。	107
2. 多文化共生事業	2,576	外国人住民の生活を支援するための事業として、「外国人をサポートするための避難所運営訓練」や市内外国人世帯への情報提供等を行った。	107

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 23. 防犯活動推進費

(単位 千円)

予算現額 61,828 千円
 決算額 52,112 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			65	52,047

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 防犯啓発事業	4,084	<p>「伊勢市防犯活動の推進に関する条例」の目的を達成するため、地域安全活動を推進した。</p> <p>○地域安全講習会の開催 各自治会・老人会等を対象に地域安全講習会を開催し、防犯意識の高揚と自主的な防犯活動の啓発に努めた。 ・平成27年度の講演会開催回数 15回 466名参加</p> <p>○街頭啓発活動の実施 振り込め詐欺及び街頭犯罪被害防止のため、伊勢警察署員及び伊勢度会地区生活安全協会職員と街頭啓発を実施した。 ・平成27年度の街頭啓発活動実施回数 26回</p> <p>○地域安全展の開催 伊勢度会地区生活安全協会と共催で、伊勢まつり会場内に「地域安全展」のコーナーを設け、幼児から高齢者を対象に防犯・暴力団排除意識の高揚に努めた。 開催日 平成27年10月11日(日) 内容 ・防犯啓発チラシ及び啓発物品の配布 ・似顔絵 ・防犯機器等の展示 ・その他啓発用品の配布</p>	107
2. 防犯灯設置等補助金	35,614	<p>夜間の犯罪を防止し、安全な市民生活の確保を図るため、自治会が実施する防犯灯の整備に対して補助金及び助成金を交付した。平成24年度から概ね10年計画で、経済面・環境面・効率面で優れたLED防犯灯への取替えを推進していく。</p> <p>合計 35,613,890円 (16,340灯) 内訳 整備 2,673,000円 (98灯) 修繕 2,024,450円 (1,788灯) LED取替 14,847,840円 (1,469灯) 電気 16,068,600円 (12,985灯)</p>	107

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 24. 交通対策費

(単位 千円)

予算現額 128,042 千円
 決算額 103,765 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,497		2,300	28	95,940

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 駐輪場管理事業	9,909	鉄道駅周辺市営駐輪場の巡回・整理や、平成26年7月1日に施行された伊勢市自転車等の放置防止及び適正な処理に関する条例の規定により、自転車等放置禁止区域(伊勢市駅、宇治山田駅周辺)、鉄道駅周辺市営駐輪場、その他公共の場所の放置自転車の撤去を行い、美観の確保、駐輪場利用者の利便性の確保並びに道路の安全通行の確保に努めた。 放置自転車撤去 実施場所 自転車等放置禁止区域、駅周辺駐輪場、その他公共の場所 撤去台数 505台	109
2. 駐輪場整備事業(交付金)	4,034	宇治山田駅周辺等は、駐輪場に収容しきれない自転車等が路上にも駐車され、道路の安全な通行に支障をきたしているため、駅周辺の駐輪場整備工事を行った。 (概要) 駐輪場整備 一式 3件 ◇社会資本整備総合交付金事業	109
3. コミュニティバス運行事業	67,443	コミュニティバスの運行により、現況の鉄道・バス路線網を最大限活用することで、市全体における公共交通体系を構築し、市民生活の利便向上を図った。 また、地域住民との検討会や、学識者・運行事業者との伊勢地域公共交通会議により、多様化するニーズや、限られた財源の中で、より効果的・効率的な公共交通サービスを提供するため、運行の在り方を検討した。 コミュニティバス運行事業 67,443,317円 ・コミュニティバス運行業務 59,651,631円 ・コミュニティバスデマンド運行業務 5,832,686円 ・伊勢地域公共交通会議負担金 1,959,000円 ○利用者数 79,883人 (バス:75,901人、デマンド:3,982人)	109
4. 路線バス運行維持事業	5,911	廃止路線代替バスの運行を維持し、地域住民の交通手段の確保を行った。 廃止路線代替バス(玉城線) 5,910,840円	109
5. 自主運行バス運行事業	10,299	沼木地区では、高齢化が進み、車など自ら移動手段を持たない高齢者が多く、買い物、通院などの市民生活を行う上で、公共交通(沼木線)では支障をきたしていたため、地域住民の主体的な取り組みにより、交通弱者(高齢者、小中学生等)の移動手段を確保した。 自主運行バス運行事業 10,298,529円 ・自主運行バス運行業務 8,139,345円 ・その他の経費 2,159,184円 ○利用者数 6,780人	109

(款) 2. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 26. 地域住民生活等緊急支援費

(単位 千円)

予算現額 397,919 千円
 決算額 336,371 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
286,235	1,000		49,136	

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. こどものための防災対策強化事業	3,322	子どもを災害から守るために必要な知識や備蓄のテクニックをハンドブックとして取りまとめ、妊婦から5歳児(未就学児童)の保護者を対象に配布した。 作成部数 9,000部	109

情報調査室

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>地方版総合戦略策定事業</u>	9,488	<p>まち・ひと・しごと創生法第10条に基づき策定した地方版総合戦略「伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基礎とするため、国の「長期ビジョン」を勘案しつつ、伊勢市における人口の現状と将来の展望を提示する「伊勢市人口ビジョン」の策定を行った。なお、策定に当たり調査分析等策定支援業務を株式会社百五経済研究所に業務委託した。また、「伊勢市人口ビジョン」の周知を図るため製本印刷し、庁内及び関係団体に配布するとともに研修を行った。</p> <p>伊勢市人口ビジョンの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定支援業務委託料 8,929,368円 印刷製本費 534,600円 消耗品費 24,300円 <p>伊勢市人口ビジョン研修会の開催</p> <p>【当初予算における内容、計画】 繰越予算額 11,576,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> 伊勢市人口ビジョンの策定 策定内容の製本版配布による周知 <p>※当初予算は計上なし</p> <p>【過去2年間の実績】 新規の事業であるため実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年12月に「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が閣議決定され、これらの内容を踏まえ、伊勢市における人口の現状と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」を策定することが必要となった。 	109

企画調整課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>地方版総合戦略策 定事業</u>	260	<p>まち・ひと・しごと創生法に基づき、国及び県の総合戦略を勘案し、また「伊勢市人口ビジョン」が描く将来像へ向け、人口減少の克服、持続可能な地域づくりを実現するため、平成27年10月、伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定した。策定にあたり、産官学労言の各分野の関係者で構成される地方創生有識者会議における協議及びパブリックコメントを実施した。</p> <p>○平成27年10月 伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定 ○伊勢市地方創生有識者会議を4回開催</p> <p>【当初予算における内容、計画】 繰越予算額 1,846千円 ・地方創生有識者会議開催に係る経費(6回分) (委員報償金、会議用お茶等) ・総合戦略冊子の印刷製本に係る経費 ※当初予算額(1,090千円・企画費において計上) は、国一次補正により平成26年度予算対応としたことから、執行せず。 【過去2ヵ年度の実績】 予算執行なし(平成27年度からの新規事業のため) 【事業を取り巻く状況等】 地方創生有識者会議を構成する関係者のほか、地域の各団体と連携し、地方創生に資する取組を継続的に進める必要がある。</p>	109
2. <u>シティプロモーション推進事業</u>	6,640	<p>伊勢市が市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるべく、市の地域資源・魅力の認知度向上を目指すシティプロモーションの方向性を定めるため、伊勢市シティプロモーション推進計画を策定した。 また、伊勢市ロゴタイプデザイン制作業務の受託者を企画コンペを経て選定し、伊勢市のロゴタイプを制作した。</p> <p>○平成28年2月 伊勢市シティプロモーション推進計画を策定 ○伊勢市シティプロモーション懇談会を4回開催 ○ワークショップを開催 ○平成28年3月 伊勢市ロゴタイプの制作</p> <p>【当初予算における内容、計画】 繰越予算額 15,267千円 ・シティプロモーション懇談会開催に係る経費(5回分) (委員報償金、委員費用弁償、会議用お茶等) ・地域資源の調査及びロゴタイプ策定に係る委託経費 ・計画書冊子の印刷製本に係る経費 ※当初予算額(6,277千円・企画費において計上) は、国一次補正により平成26年度予算対応としたことから、執行せず。 【過去2ヵ年度の実績】 予算執行なし(平成27年度からの新規事業のため) 【事業を取り巻く状況等】 シティプロモーションの意義を職員へ浸透させるとともに市民の方に理解いただいたうえで、計画に基づいた効果的なプロモーション活動を実施する必要がある。</p>	109

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. シティプロモーション推進事業	1,729	少子化対策及びシティプロモーションの一環として、伊勢市独自の婚姻届及び出生届を作成し提供するとともに、地域の生活情報や観光情報等を発信した。これにより、結婚等に対するイメージアップと地域のPRを図った。	109
2. <u>出会い・結婚支援事業</u>	10,044	<p>結婚を希望する人等の相談業務、出会いの場の情報提供、結婚に向けたセミナー研修等を行う場として「いせ出会い支援センター」を開設した。</p> <p>利用状況 来所数 795件 電話 126件 メール 134件 合計 1,055件</p> <p>セミナー開催 4回 延べ21名</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 10,000,000円 ・センター設置工事料 2,500,000円 ・センター運営委託 4,100,000円 ・センター賃借料 2,400,000円 ・備品購入費 1,000,000円</p> <p>【過去2ヶ年度の実績】 平成27年度からの新規事業のため実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】 結婚を希望する人等の相談業務、出会いの場の情報提供、結婚に向けたセミナー研修等を行う場としてセンターを開設し、市民の好評を得ている。今後は、出会いの場がより効果的なものとなるよう支援していく必要がある。その為には、対象者のニーズを把握すること、財源の確保が課題である。</p>	109

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 太陽光発電普及促進事業	4,206	地球温暖化の防止及び地域における消費喚起に寄与するため、太陽光発電システム設備設置に対し1件あたり160千円を上限に補助金を交付した。 ・補助金 27件 4,197千円	109

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	34,756	毎年、介護保険特別会計にて実施している介護用品支給事業に加え、平成27年度のみ、介護保険において要介護2～5に認定された高齢者等（施設入所者を除く）に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプー、防水シート、口腔ケア用の介護用品の購入費用の一部をクーポン券により補助した。 支給者数 1,001人	109

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. こどものための防災対策強化事業	1,220	<p>災害時における備えを強化するため、全ての保育所、認定こども園、放課後児童クラブに防災備品の備蓄を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象施設数 保育所 28施設 認定こども園 4施設 放課後児童クラブ 27施設 ・備蓄品 おかゆ 550食 非常備蓄用クラッカー 630袋 飲料水 888本 災害用トイレ処理剤 5,300回分 カセットコンロ 52台 LEDランタン 71個 備蓄ラジオ 30台 アルミシート 1,140枚 	109

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	229	<p>【施策の成果】 寝たきり若しくは排泄の告知が困難な心身障がいのある人に対し、紙おむつ等の購入に要する経費の一部を助成しているが、地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用し、この助成を拡充し、地域住民生活を支援するとともに、消費喚起を図った。 支給者数 10人</p>	109

商 工 労 政 課

(単位 千円)

事 業 名	決 算 額	施 策 の 成 果	決算書 頁
<p>1. プレミアム付き地 域商品券発行支援 事業</p>	<p>150,025</p>	<p>地元中小企業者等の販売意欲ならびに消費者の購買意欲を高め、官民連携による地域経済の活性化を図るため、国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に呼応し、伊勢商工会議所（協力事業者：小俣町商工会）がプレミアム付商品券を発行する事業に補助金を交付した。 補助金額 150,025千円 発行総額 720,000千円（発行冊数 60,000冊）</p> <p>【当初予算における内容、計画】 繰越予算額 128,500千円 販売額 500,000千円（額面総額 600,000千円） 発行冊数 50,000冊 1冊あたりの販売額 10,000円（額面12,000円） プレミアム率20%（プレミアム分総額100,000千円） 事務経費 16,500千円 商品券銀行換金手数料（2%） 12,000千円 ※当初予算は計上なし 【過去2カ年度の実績】 なし 【事業を取りまく状況等】 ・商品券の販売を往復はがきによる購入予約申込制で先着順で受付を行ったところ、受付開始日から2日目に終了となったことから、1万冊追加発行した。 ・市内登録店は大型店35店舗、小規模店835店舗であり、商品券の利用内訳は大型店約51.1%、中小規模店で48.9%であった。 ・新規の消費喚起額が3億8,099万円と試算された。 ・アンケート調査から、今回の商品券事業が商業活性化に役立ったと回答した消費者が56%を超え、次年度以降も実施を期待する声があった。</p>	<p>109</p>
<p>2. 全国菓子大博覧 会・三重開催支援 事業</p>	<p>15,000</p>	<p>平成29年に「第27回全国菓子大博覧会・三重」が伊勢市で開催されることから、菓子産業等の振興発展・地域経済の活性化等が期待できるため、全国菓子大博覧会・三重実行委員会に対し負担金を支出した。 開催支援負担金 15,000千円</p>	<p>111</p>

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁						
1. おもてなし推進事業	9,573	<p>◆おもてなし多言語化促進事業 外国人観光客の受入に対応するため、市内飲食施設、宿泊施設等のメニュー等の多言語化の促進を行った。</p> <p>◆「伊勢っ子」育て事業 次世代育成の観点から、将来を担う伊勢の子どもたちが、観光客とふれあうことにより、伊勢という地の魅力に気づいてもらうことを目的とし事業を実施した。 平成27年度については、主に観光客にお茶などを配布するなどのおもてなしを行った。</p> <p>◆外宮参道行灯改修事業 外宮参道に灯りを通じた交流と賑わいを創出することを目的に外宮参道発展会と協働で行灯を設置した。</p> <p>主な事業の決算額</p> <table border="0"> <tr> <td>・おもてなし多言語化促進事業</td> <td>2,941千円</td> </tr> <tr> <td>・「伊勢っ子」育て事業</td> <td>632千円</td> </tr> <tr> <td>・外宮参道行灯改修事業</td> <td>6,000千円</td> </tr> </table>	・おもてなし多言語化促進事業	2,941千円	・「伊勢っ子」育て事業	632千円	・外宮参道行灯改修事業	6,000千円	111
・おもてなし多言語化促進事業	2,941千円								
・「伊勢っ子」育て事業	632千円								
・外宮参道行灯改修事業	6,000千円								

観光誘客課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢お得旅事業	28,800	伊勢市を訪れる旅行者へ、土産等を購入する商品券を発行した。三重県が実施する宿泊補助との相乗効果により、伊勢市を旅行先として選択する動機付けの一つとなった。	109
2. 観光情報発信事業	39,884	観光誘客を促進させるため、近隣地域、大都市、遠隔地において、「雑誌等への広告掲載」「バス車体への広告掲出」「長距離バス会社とのタイアップによるバス利用キャンペーンおよびウェブを活用した情報発信」を行った。	109

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁												
1. こどものための防災対策強化事業	503	<p>災害時における備えを強化するため、市内のすべての幼稚園に防災備品の備蓄を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>・対象施設数</td> <td>公立幼稚園</td> <td>4園</td> </tr> <tr> <td></td> <td>私立幼稚園</td> <td>9園</td> </tr> <tr> <td>・備蓄品</td> <td>簡易トイレ</td> <td>36台</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トイレ処理剤</td> <td>5,500回分</td> </tr> </table>	・対象施設数	公立幼稚園	4園		私立幼稚園	9園	・備蓄品	簡易トイレ	36台		トイレ処理剤	5,500回分	109
・対象施設数	公立幼稚園	4園													
	私立幼稚園	9園													
・備蓄品	簡易トイレ	36台													
	トイレ処理剤	5,500回分													

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 1. 税務総務費

(単位 千円)

予算現額 317,384 千円
 決算額 313,678 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	204,798		7,745	101,135

収納推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 口座振替事務費	1,905	納税者の利便性向上のため、市県民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、口座振替納付を行っている。 ・口座振替での収納税額 4,889,436,634円 ・支出経費 金融機関口座振替取扱手数料 1,646,401円 ゆうちょ銀行郵便振替取扱手数料 77,610円 ゆうちょ銀行自動払込取扱手数料 180,690円	111

(款) 2. 総務費 (項) 2. 徴税費 (目) 2. 賦課徴収費

(単位 千円)

予算現額 125,696 千円
 決算額 117,269 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			677	116,592

課税課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 固定資産評価システム経費	43,823	適正・公平な課税を行うため、以下の主要な業務を行い、その経費を支出した。 ○固定資産土地評価及び地番図・家屋図修正業務委託 26,838千円 土地分合筆、家屋新增築及び滅失等に伴う地番図・家屋図データの更新と固定資産評価システムへの取り込みと平成30年度評価替え作業のため ○土地鑑定評価(時点修正)業務委託 10,044千円 平成27年度評価替え用に決定した鑑定評価額は、平成26年1月1日の価格基準日における評価額のため、地価下落等に伴う変動を反映させ、現状に則した価格とするための時点修正(平成27年7月1日時点) ○家屋評価計算業務委託 5,166千円 家屋評価計算及び家屋平面図等、計算の根拠となる資料のイメージデータ作成 ○ラックマウント型サーバ購入 1,294千円 固定資産税賦課業務にかかる地番図・家屋図用サーバの更新	111

収 納 推 進 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. コンビニ収納経費	5,321	<p>納税者の利便性向上のため、市民税(普通徴収)、固定資産税・都市計画税、軽自動車税について、コンビニエンスストアでの収納を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンビニエンスストアでの収納税額 1,047,529,390円 ・支出経費 <ul style="list-style-type: none"> 収納代行手数料 5,270,888円 電話回線使用料 50,008円 	111
2. 徴収管理一般経費	48,728	<p>高額滞納者等、整理困難事案を三重地方税管理回収機構へ移管し、収納率の向上を図った。</p> <p>(徴収第一課分：高額困難案件を担当)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> 移管件数 60件 移管総額 68,407,193円 (H27年度移管事案分) ・収納額実績 <ul style="list-style-type: none"> 内訳 103,820,641円 39,566,938円 (H26年度移管事案に係る収納額) 64,253,703円 (H27年度移管事案に係る収納額) ・負担金 <ul style="list-style-type: none"> 均等割額 100,000円 処理件数割額 8,400,000円 徴収実績割額 8,444,000円 計 16,944,000円 <p>(徴収第二課分：少額案件を担当)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移管実績 <ul style="list-style-type: none"> 移管件数 297件 移管総額 67,169,649円 (H27年度移管事案分) ・収納額実績 69,939,468円 	111

(款) 2. 総務費 (項) 3. 戸籍住民基本台帳費 (目) 1. 戸籍住民基本台帳費

(単位 千円)

予算現額 270,076 千円
決算額 234,665 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
39,520	149		44,034	150,962

戸 籍 住 民 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 戸籍住民関係窓口業務等委託事業	57,309	<p>戸籍住民課の窓口業務等を民間事業者に委託した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託内容 戸籍届出・住民異動届の受付・入力業務 証明書交付請求の受付・発行・交付等 ・履行期間 平成27年1月1日～平成29年12月31日 (3年間) 	113

(款) 2. 総務費 (項) 6. 監査委員費 (目) 1. 監査委員費

(単位 千円)

予算現額 31,573 千円
 決算額 30,632 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				30,632

監査委員事務局

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 工事等技術調査委託経費	99	<p>公共工事の品質の確保・向上に役立てるため、随時監査として工事監査を3件実施した。監査の執行にあたっては専門知識を有する外部に委託したことにより、監査手法の向上を図った。</p> <p>設計金額10億円未満の工事1件、300万円以上1億円未満の工事2件</p> <p>監査実施工事名 一色町津波避難施設新築工事 豊北漁港有滝物揚場保全工事 秋葉山トンネルほか修繕工事</p>	117

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 1. 社会福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 1,600,135 千円
 決算額 1,569,368 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
271,190	370,819		26,447	900,912

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. <u>生活困窮者自立支援事業</u>	16,087	<p>平成27年度より施行の「生活困窮者自立支援法」に基づき、生活困窮者が抱える複合的な生活課題を包括的支援により解決することを目的として、必須事業と任意事業を実施した。</p> <p>1 自立相談支援事業 (必須事業) 相談者数 実284人 (延べ368件) うち自立相談支援プラン作成 実 27人 生活保護申請 実111人 他法他施策や情報提供のみ 実146人</p> <p>2 住居確保給付金の給付事業 (必須事業) 実5世帯支給 延べ21か月分を給付 給付金額合計 662,900円 就職決定者数 3人</p> <p>3 就労準備支援事業 (任意事業) 支援者数 15人 相談回数 延べ219回 就職者数 3人</p> <p>4 学習支援事業 (任意事業) 対象者 小学生から高校生相当 延べ94人 訪問件数 延べ84人 332回 継続支援 延べ40人</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 23,042,000円 ・生活困窮者自立相談支援事業 6,727,000円 ・住居確保給付金の給付事業 6,136,000円 ・就労準備支援事業 7,635,000円 ・生活困窮家庭学習支援事業 2,544,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成26年度 (生活困窮者自立促進支援モデル事業) ・自立相談支援モデル事業 相談者数 延べ394件 ・就労準備支援及び就労訓練モデル事業 支援者数 26人 相談回数 延べ131回 就職者数 3人 ・学習支援モデル事業 対象者 中学生と高校生 54人 訪問件数 41人 延べ66回 継続支援 20人 ※ (平成25年度 実施なし)</p> <p>【事業をとりまく状況等】 ・平成27年度に生活困窮者自立支援法が施行されたことに伴い、自立相談支援員1名を新たに配置し、生活困窮者自立支援事業実施体制を整備した。</p>	頁 119

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 福祉ボランティア 育成事業	14,393	<p>ボランティア活動を活性化し、地域福祉の理念「支え合い・助け合いによるまちづくり」を進めるため、伊勢市ボランティアセンターの活動を支援した。</p> <p>平成27年度からは、ボランティアコーディネーターを3名に増員し、情報の発信、養成講座の開催、災害ボランティアネットワークの推進、ボランティア登録・斡旋、ボランティア養成、活動団体への助成などを実施した。</p> <p>【当初予算における内容・計画】 当初予算額 17,580,000円 決算額 14,392,733円</p> <p>【過去2カ年の実績】 平成26年度 決算額 14,482,224円 ※うちリニューアルに伴う費用 748,224円 平成25年度 決算額 9,997,647円</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 少子化、高齢化、人口流出等が懸念される中、地域包括ケアシステムの下、「自助・共助」による地域づくりが進められている。今後、支え合い、助け合いによるまちづくりを進め、地域力を高めていくうえで、地域で活動するボランティア、地域の担い手づくりと地域内の連携が課題となっている。</p>	117
2. 民生委員児童委員 活動経費	21,231	<p>民生委員・児童委員、主任児童委員が各地域で実施する日常の見守り活動、相談・助言活動、資質向上のための研修活動を支援した。</p> <p>民生委員・児童委員の活動費を見直し、見守り活動等への支援を強化した。</p> <p>委員数 292名 (平成28年3月31日現在)</p>	117
3. 福祉健康センター 管理事業	33,599	<p>指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、昭和63年建設以降、相当年数を経過しているため、毎年、設備等のメンテナンスを行うとともに、老朽化による施設の不具合を解消した。</p> <p>【主な施設改修の状況】 ・1階・2階廊下照明取替工事 1,410,480円</p>	117
4. ハートプラザみそ の等管理事業	60,223	<p>指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、建設後20年以上を経過しているため、毎年、設備等のメンテナンスを行うとともに、老朽化による施設の不具合を解消した。</p> <p>【主な施設改修の状況】 ・管理棟空調機更新工事 15,109,200円 ・雨漏り修繕工事 5,906,520円</p>	117
5. 社会福祉協議会運 営事業負担金	85,000	<p>地域福祉の理念に基づく地域のふれあい・支え合いによるまちづくりを実現するため、伊勢市社会福祉協議会に対し地域福祉事業推進のための負担金を支出し、市民の多様な福祉ニーズに対応できるよう努めた。</p>	119

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 社会福祉一般経費	2,524	伊勢市、伊勢市社会福祉協議会、伊勢市共同募金委員会共催で第11回伊勢市社会福祉大会を開催し、その後、市町村合併10年を記念し、地域福祉の啓発のため福祉講演会を行った。 ・日時 平成28年1月30日(土) ・会場 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール ・演題 『地域の絆で「無縁」を包む』～サイレント・プア そこから見えてきたもの～ ・講師 勝部 麗子 氏(社会福祉法人大阪府豊中市社会福祉協議会 地域福祉課長 コミュニティソーシャルワーカー)	119
7. 権利擁護事業負担金	511	日常生活において判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者の方に対する日常的な金銭管理、各種サービスの利用手続きの代行、金銭管理等のサービス(日常生活自立支援事業)の実施に際し、市民税非課税者がサービスを利用する場合の個人負担(500円)を負担金により支出した。 【利用実績】(利用人数) 延べ120人・1,106件 553,000円 【過去3年間の実績】 平成26年度 延べ98人・842件 421,000円 平成25年度 延べ80人・845件 422,500円 平成24年度 延べ79人・801件 400,500円	119
8. 地域福祉計画推進事業	247	平成26年8月に策定した「伊勢市地域福祉計画・地域福祉活動計画(平成26年度から平成30年度)」に基づき、皇學館大学・市・社会福祉協議会とが連携し、計画策定後の地域懇談会などを随時実施し、計画の周知・啓発、計画の市民への浸透、新たな課題などを検証した。 また、計画の進行管理を行うため、「伊勢市地域福祉計画推進会議」を開催した。	119
9. 臨時福祉給付金支給事業	152,534	消費税率の引上げに際し、低所得者に与える負担の影響に鑑み、一体改革の枠組みの中で講じる社会保障の充実のための措置と併せ、低所得者に対する適切な配慮を行うための暫定的・臨時的な措置として、臨時福祉給付金を給付した。 給付金額 122,844,000円(6,000円×20,474人) 【当初予算における内容・計画】 当初予算額 145,956,000円(6,000円×24,326人) 決算額 152,534,000円 内訳 給付金額 122,844,000円 前年度補助金返還額 29,690,000円 【過去の実績】 平成26年度 262,010,000円 (基本額 10,000円×20,084人) (加算額 5,000円×12,234人) 【事業を取りまく状況等】 ・対象者に対しては周知啓発を行ったものの、申請主義のため、申請率は80.7%に留まった。 ・平成28年度も引続き給付されることとなったが、給付金額が3,000円となることから、申請率の低下が懸念される。いかにして申請率を上げるかが課題となる。	119

二見総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター 等管理事業	12,216	地域の高齢者や市民に対し、各種の相談業務や健康増進事業及び教養娯楽等のための便宜を図り、明るく生きがいのある生活支援の場として貸し出し施設の維持管理を行った。	117

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉センター 等管理事業	910	地域の高齢者をはじめ住民の教養の向上及びレクリエーション等を行うコミュニティの場として設置された施設である小俣老人福祉会館と小俣町商工会、度会郡教育会館の3施設からなる合同会館の維持管理にあたった。	117
2. 保健福祉会館管理 事業	13,211	高齢者をはじめ住民の健康増進・教養の向上およびレクリエーション等の場として小俣町内6カ所に設置した保健福祉会館の維持管理にあたった。	117

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 2. 障害者福祉費

(単位 千円)

予算現額 2,469,676 千円
 決算額 2,390,885 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,069,356	513,561	95,400	48	712,520

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>障害者地域生活支援事業</u>	152,313	<p>障がいのある人が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう地域生活支援事業を実施した。</p> <p>【主な事業】</p> <p>1. 障がい種別や年齢に関わらない一次相談やアウトリーチによる相談を行う東地域及び西地域の2箇所の地域相談支援センターを、また、地域相談支援センターとしての機能に加え、伊勢市地域自立支援協議会の運営、権利擁護や相談支援専門員の人材育成など地域の中核的な役割を担う基幹相談支援センター機能を有する伊勢市障害者総合相談支援センター「フクシア」をそれぞれの社会福祉法人に運営を委託し、相談支援の充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伊勢市障害者総合相談支援センター「フクシア」 委託先 社会福祉法人 三重済美学院 委託金額 25,606,000円 ・伊勢市障害者西地域相談支援センター 委託先 社会福祉法人 四季の里 委託金額 10,150,000円 ・伊勢市障害者東地域相談支援センター 委託先 社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会 委託金額 10,150,000円 <p>2. 日常生活用具給付事業 在宅の重度心身障がい者(児)等に対し、特殊マット、入浴補助用具等を給付することにより、日常生活の安定を図った。 給付件数 2,480件 給付費 28,311,832円</p> <p>3. 身体障害者情報保障事業 (1) 手話通訳設置事業 庁内に手話通訳者を配置し、聴覚障がいのある人とその他の人の意思疎通を仲介することにより、コミュニケーション支援の充実を図った。 ・窓口対応件数 176件 ・事業費 5,225,754円</p> <p>(2) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 聴覚障がい等のある人とその他の人の意思疎通を仲介するために手話通訳者・要約筆記者を派遣することにより、聴覚障がい等のある人の社会参加の向上を図った。 ・手話通訳者派遣件数 85件 ・要約筆記者派遣件数 34件 ・事業費 776,751円</p> <p>(3) 手話奉仕員養成事業 聴覚障がいや手話に関する基礎的な知識について学び、聴覚障がいのある人の社会参加を支援する手話奉仕員の育成を目的として手話奉仕員養成講座入門編を、手話通訳資格を取得し伊勢市手話通訳者派遣事業登録通訳者として活動するため、三重県主催手話通訳者養成講座の受講を目指す者の更なるレベルアップを目的として手話奉仕員ステップアップ講座を開催した。(奉仕員：コミュニケーションがとれるもの)</p>	119

事業名	決算額	施策の成果	決算書
		<p>・手話奉仕員養成講座入門編（7月～3月、全23講座） 受講人数 26名</p> <p>・手話奉仕員ステップアップ講座（4月～3月、全12回） 受講人数 11名 ・事業費 180,851円</p> <p>（4）点字広報・声の広報発行事業 広報を点字及び朗読することにより、視覚障がい者の情報保障の充実を図った。 点字広報発行事業発行人数 12人 声の広報発行事業発行人数 41人 事業費 350,000円</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 155,655,000円 ・障害者相談支援センター運営事業 46,446,000円 ・日常生活用具給付費 27,984,000円 ・身体障害者情報保障事業 9,057,000円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 120,021,160円 ・障害者相談支援センター運営事業 28,990,000円 ・日常生活用具給付事業 給付件数 2,435件 給付費 26,409,445円 ・身体障害者情報保障事業 手話通訳設置事業 窓口対応件数 194件 事業費 6,630,428円 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 手話通訳者派遣件数 109件 要約筆記者派遣件数 27件 事業費 967,195円 手話奉仕員養成事業 養成講座基礎課程受講者数 14名 事業費 147,162円 平成25年度 103,647,726円 ・障害者総合相談支援センター運営事業 25,606,000円 ・日常生活用具給付事業 給付件数 2,419件 給付費 26,544,440円 ・身体障害者情報保障事業 手話通訳設置事業 窓口対応件数 177件 事業費 4,498,304円 手話通訳者・要約筆記者派遣事業 手話通訳者派遣件数 96件 要約筆記者派遣件数 16件 事業費 737,538円 手話奉仕員養成事業 養成講座入門課程受講者数 17名 事業費 111,057円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 相談支援事業や日常生活用具給付事業など、障がいのある人が安心して地域で生活するためには必要な事業である。</p>	頁

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 障害者外出支援事業	10,567	<p>1. 重度障害者タクシー料金助成事業 在宅の重度障がいのある人に対し、タクシー料金を助成することにより、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 タクシー券利用枚数 14,362枚</p> <p>2. 重度身体障害者リフト付タクシー料金助成事業 下肢、体幹機能の障がいがあり車いすを利用する方を対象に、リフト付タクシーの利用料金を助成し、社会的活動への参加促進と経済的負担の軽減を図った。 リフト付タクシー券利用枚数 1,694枚</p>	119
3. 障害者福祉運営対策経費	185,529	<p>1. 身体障害者福祉センター運営事業 社会適応訓練（パソコン教室等）等を行う身体障害者デイサービス事業を実施するとともに、身体障害者福祉センターを利用する障がいのある人の利便性の向上や、社会参加を促進するため、身体障害者福祉センターの運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 年間利用人数 1,192人（身体障害者デイサービス事業）</p> <p>2. 重度身体障害者デイサービスセンター運営事業 創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の身体機能又は生活能力の向上のための支援を行う生活介護事業を実施するため、重度身体障害者デイサービスセンター「くじら」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 16.5人</p> <p>3. 障がい者就労支援施設運営事業 雇用されることの困難な障がいのある人に就労・生産活動の機会を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な支援を行う就労継続支援事業を実施するため、障がい者就労支援施設「ひまわり」、「工房そみん」、「小俣さくら園」、「御菌しらぎく園」の運営を伊勢市社会福祉協議会へ委託した。 平均利用人数 ひまわり 13.0人 工房そみん 13.3人 小俣さくら園 15.5人 御菌しらぎく園 8.3人</p> <p>4. 自立更生事業補助金 市内の障害者団体に対し、その活動経費を助成し、会員の自立更生を図った。 助成団体 8団体</p>	121
4. 障害者手当等給付事業	65,813	<p>在宅で重度の障がいのある人に対し、その障がいによって生じる負担軽減を図り、その福祉を増進するため、特別障害者手当等を支給した。</p>	121

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 障害者生活介護施設等整備補助金	11,880	<p>特別支援学校卒業後の進路として不足している生活介護施設の新規創設の整備を促進し、障がい者の日中活動の場を確保して障がい者福祉の充実を図るため、整備事業費の一部を補助した。(平成27年度新規事業)</p> <p>施設名 かすみ草 所在地 伊勢市村松町4785番地3 定員 30人 設置運営主体 特定非営利活動法人暖家 全体事業費 95,040,000円 補助金額 11,880,000円 施工期間 平成27年12月1日から平成28年3月20日</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 25,622,000円 ・定員 生活介護30人、短期入所4人 【事業をとりまく状況等】 国の予算状況により、国県補助金が大幅に減額されたが、当該施設の必要性を鑑み、市の補助金は本来国補助金に補助率を乗じ算定することとなっているところ、今回は減額前の国補助金を元に補助金額を算定し交付を行い、重度の知的障がいのある人が通所できる生活介護事業所の整備を行った。</p>	121
6. 社会的事業所創業支援事業補助金	2,000	三重県社会的事業所設置運営要綱に基づく社会的事業所の設置又は運営を支援し、障がい者の地域社会に根ざした就労の促進及び社会的かつ経済的な自立の促進を図るため、補助金を交付した。	121
7. 障害者介護給付等事業	1,912,143	障害福祉サービス等の利用について、介護給付費等の支給を希望・申請した人に対し、支給決定し給付費の支給を行った。	121

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 3. 医療支給費

(単位 千円)

予算現額 907,955 千円
決算額 871,716 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	336,875			534,841

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 障害者医療費支給事業	246,265	<p>身体障害者手帳1級～4級または療育手帳A1～B1の方で、支給資格のある方に対して医療費を助成した。また、精神障害者保健福祉手帳1級で支給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成 ・助成額 235,621千円 ・助成件数 57,332件 2 証明書類の助成 ・助成額 10,644千円 ・助成件数 53,217件</p>	121

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 65歳以上障害者 医療費支給事業	171,261	<p>後期高齢者医療被保険者である身体障害者手帳1級～4級、療育手帳A1～B1の方で、受給資格のある方に対して医療費を助成した。また、精神障害者保健福祉手帳1級で受給資格のある方に対して、通院医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 171,261千円 ・助成件数 71,228件 	121
3. <u>子ども医療費支給 事業</u>	334,423	<p>出生から15歳になった日以降の最初の3月31日までの子どもで、受給資格のある方に対して医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 302,316千円 ・助成件数 168,180件 <p>2 証明書料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 32,107千円 ・助成件数 160,535件 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 335,323千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費の助成 303,074千円 ・証明書料の助成 32,249千円 <p>【過去2ヶ年度の実績】 (平成26年度)</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 275,417千円 ・助成件数 152,562件 <p>2 証明書料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 29,868千円 ・助成件数 149,343件 <p>(平成25年度)</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 259,845千円 ・助成件数 145,854件 <p>2 証明書料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 28,502千円 ・助成件数 142,508件 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>三重県における福祉医療費助成については、県下全ての市町が償還払い方式となっている。現物給付化については、国でも「一億総活躍プラン」の中で本件に影響する前向きな取組みがされる見込みであることから、今後の動向に注目しながら「福祉医療費助成制度改革検討会」にて県内一斉実施に向かって協議・検討を続けていく。</p> <p>また、平成26年9月から中学生の通院にかかる医療費を助成対象としてきたが、中学生は県の補助対象外であるため、県事業としての実施を要望していく。</p>	121
4. 一人親家庭等医療 費支給事業	75,274	<p>18歳の年度末までの子どもを養育している配偶者のいない父母およびその子ども、または父母のいない18歳の年度末までの子どもで、受給資格のある方に対して医療費を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 69,440千円 ・助成件数 30,631件 <p>2 証明書料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 5,834千円 ・助成件数 29,172件 	121

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 寡婦医療費支給事業	168	<p>現在婚姻していない60歳～69歳の女性で、配偶者と死別し、その時に20歳未満の子を扶養していた方であつて、受給資格のある方に対して医療費の一部を助成した。</p> <p>1 医療費の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 164千円 ・助成件数 24件 <p>2 証明書料の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成額 4千円 ・助成件数 20件 	121

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 4. 遺家族等援護費

(単位 千円)

予算現額 10,177 千円
 決算額 9,694 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	191		1	9,502

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 追悼式開催事業	1,388	<p>戦争犠牲者を追悼し、恒久平和を祈念することを目的に伊勢市戦争犠牲者追悼式を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 平成27年11月12日(木) 10:00～ ・会場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年々、遺族の高齢化による参加者の減少が課題であったため、平成26年度から臨時バス・マイクロバスの運行方法を再検討し、参加しやすい環境づくりに努めた。 	121

(款) 3. 民生費 (項) 1. 社会福祉費 (目) 5. 心身障害児通園施設費

(単位 千円)

予算現額 58,472 千円
 決算額 57,707 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			25,183	32,524

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. おおぞら児童園運営事業	20,236	<p>障がいのある児童の発達の促進と障がいの軽減を図るため、通園による訓練や療育、相談等を行った。</p> <p>発達療育 延べ 646人、感覚運動遊び 延べ1,188人 放課後デイ 延べ 601人、作業療法 延べ 144人 言語療法 延べ 461人、心理療法 延べ 88人 機能回復訓練延べ 18人 相談 延べ 140人</p>	123

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. おおぞら児童園管理事業	2,879	おおぞら児童園の施設を維持管理し、通園児の安全かつ快適な施設利用を図った。	123
3. 障害児相談支援事業	6,245	<p>障がい児が地域において自立した日常生活又は社会生活を送り、適切な福祉サービス等が提供されるよう障害児支援利用計画の作成等を行った。 利用計画作成延べ件数 241件 モニタリング延べ件数 215件</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 6,508千円 おおぞら児童園に相談支援専門員を配置し、障害児支援利用計画の作成やモニタリング期間ごとに適宜利用計画の見直しを行う。</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成26年度に事業準備（工事等）を行い、平成27年度から事業開始</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 法改正により平成27年度から障害福祉サービス等を利用するには計画作成が必須となり、市直営の障害児相談支援事業所をおおぞら児童園内に設置した。 近年、発達障がいの子どもの増加傾向にあり、障がいの早期発見と早期療育体制の充実が求められている。今後も民間事業者の参入状況を注視しつつ事業を継続する。</p>	123

(款) 3. 民生費 (項) 2. 老人福祉費 (目) 1. 老人福祉推進費

(単位 千円)

予算現額 3,791,259 千円
決算額 3,769,303 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
19,500	253,793		83,582	3,412,428

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 老人福祉施設等整備事業	19,715	<p>伊勢市第7次老人福祉計画・第6期介護保険事業計画に基づき、市が選定した法人が行う地域密着型サービス施設が、円滑に開設できるよう、開設準備に係る必要経費に対して補助を行った。また、利用者の安心・安全を確保するため、市内に所在する介護施設等が行う防災改修に係る経費に対して、補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護施設等の施設開設準備経費等支援事業 1件 補助金額 11,178,000円 ・既存施設のスプリンクラー設備等整備事業 1件 補助金額 8,537,000円 	125

地域包括ケア推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生きがい活動支援 通所事業	3,295	在宅の高齢者で、介護保険で「非該当」と認定された者、又は自立とみなされる閉じこもりがちで虚弱な方々を対象に、デイサービスセンターへの通所により、教養講座・日常動作訓練・趣味創作活動等のサービスを提供することにより、社会的孤立感の解消・心身機能の維持を図るとともに、要介護状態への進行の予防を図った。	123
2. 軽度生活援助事業	417	老衰や心身の障がい及び傷病等の理由により日常生活の援助が必要な高齢者に対して、軽易な日常生活上の援助を行うことにより、在宅での生活の継続を図った。	123
3. 地域支え合い体制 づくり事業	2,000	過年度に、地域支え合い体制づくり事業を利用して新規に立ち上げた事業について継続を支援し、活動の定着と強化を図った。 ・買物支援事業「厚生お助け隊」 1,000,000円 ・一色町「食」支援の会高齢者支援事業 1,000,000円	125

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. デイサービスセン ター管理経費	21,820	みなとデイサービスセンター、二見デイサービスセンターについて、指定管理者による管理運営を実施し、利用者の利便性向上に努めた。また、毎年、設備等のメンテナンスを行うとともに、老朽化による施設の不具合を解消した。 【主な施設改修の状況】 ・みなとデイサービスセンター2階空調機更新工事 2,392,200円	125

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 外出支援サービ ス事業	20,803	65歳以上の寝たきり及び歩行が全介助状態である下肢の不自由な高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な者に対し、移送用車両（リフト付タクシー等）の利用を支援し、高齢者の福祉の増進を図った。 利用枚数 20,352枚	123
2. 緊急通報体制等 整備事業	3,970	虚弱な一人暮らし高齢者や重度身体障がい者に対し、緊急通報装置の貸与を行うことにより、緊急事態発生時に迅速かつ適切に対処できる体制を整備し、一人暮らし高齢者等の日常生活の安全確保を図った。	123

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 老人乗合バス運賃 助成事業	21,758	<p>75歳以上の高齢者を対象に、市内全線有効の寿バス乗車券（100円券40枚または1回乗りきり乗車券12枚）（※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び第1種の手帳をお持ちの方の介護者で希望の方は、「50円券×80枚」も選択可）を交付し、定期バス乗車運賃の助成を行い、高齢者の外出を容易にして社会参加の促進及び心身の健康の保持増進を図った。</p> <p>寿バス乗車券 交付者数 10,190人 (内訳) 100円券 8,854人 50円券 323人 乗りきり券 1,013人</p>	123
4. 老人クラブ補助金	10,898	伊勢市老人クラブ連合会及び各地区単位老人クラブの社会奉仕活動や健康増進等に対して、補助金を交付し、生きがいの場としてのクラブ活動を充実させた。	123
5. 敬老祝品贈呈事業	1,943	<p>市内に在住する年度末時点で満88歳・100歳・最高齢の高齢者に対し、敬老と長寿を祝福し、感謝の意を表するため敬老祝品を贈呈した。（最高齢者への贈呈は生涯に1回）</p> <p>88歳 5,000円相当 689人 100歳 10,000円相当 32人 最高齢 15,000円相当 —</p>	125
6. 救急医療情報キッ ト配備事業	353	<p>一人暮らし高齢者等の要援護者に対し救急時の対策として、要援護者に係る情報を救急隊員や病院関係者へ迅速・的確に伝えるため、救急医療情報キットを配備した。</p> <p>配布件数（平成28年3月31日時点） 3,154件</p>	125
7. 老人ホーム入所措 置事業	222,160	<p>65歳以上の高齢者で、居宅において養護を受けることが困難な者を、養護老人ホームへ入所措置した。</p> <p>入所施設数 6施設 年度当初入所者数 128名 年度途中異動者数 入所者 6名 退所者 18名 年度末入所者数 116名</p>	125

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 保健福祉会館運営 事業	1,920	<p>地域住民で組織する各保健福祉会館運営委員会において計画する事業の実施及び保健福祉会館を会場に、高齢者を対象とした健康体操教室を開催した。</p>	125

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 1. 児童福祉総務費

(単位 千円)

予算現額 682,164 千円
 決算額 647,202 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
104,669	148,755	42,600	3,774	347,404

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童送迎バス負担金	2,000	へん地にある保育所の児童送迎にかかる負担を軽減するために、社会福祉法人一字郷福祉会みどり保育園の送迎バス運行経費の一部を負担した。	127
2. 子育て支援ショートステイ事業	47	保護者の疾病等により家庭で児童の養育が一時的に困難となった場合や経済的理由等により緊急一時的に母子の保護を必要とする場合に、委託施設において養育又は保護を行った。 児童 実利用人数 6人 延べ利用日数 10日	127
3. <u>病児・病後児保育事業</u>	16,440	児童が病気あるいは病気回復期にあるために集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで預かることにより、保護者の子育てと就労の両立支援を行った。 延べ利用人数 1,067人 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 14,274千円 児童が病気あるいは病気回復期で集団保育が困難である間、当該児童を専用スペースで保育する。 【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 延べ利用人数 821人 平成25年度 延べ利用人数 971人 【事業を取り巻く状況等】 核家族化や女性の社会進出による共働き家庭の増加により、児童の保育施設の需要が高まっている。	127
4. ファミリーサポートセンター事業	8,691	会員間の相互援助活動により、仕事と子育ての両立を図るため一時的に子どもを預かる会員組織である「いせファミリー・サポート・センター」の運営を行った。 年度末会員数 448人 活動件数 1,908件	127

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 放課後児童対策事業	193,105	<p>保護者が仕事などにより昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後の遊びや生活の場を与えて、児童の健全育成を図った。 放課後児童クラブ数 27箇所</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 186,165,000円 ・指定管理料（公設：二見、小俣、明野、御菌） ・業務委託料（公設：二見第2、小俣第2、御菌第2） ・民間クラブ運営委託料（20箇所） など</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 決算額 163,825,158円（25箇所） 平成25年度 決算額 135,465,732円（22箇所）</p> <p>【事業を取りまく状況等】 年々利用児童が増加しているため、ニーズの高い地域において、クラブの増設や定員の拡充に取り組んでいく。</p>	127
6. 一般保育事業補助金	41,864	<p>公立保育所等職員と民間保育所等職員の給与の格差等を是正するため、民間保育所等に対し補助した。 民間保育所等 19箇所</p>	127
7. 延長保育促進事業補助金	2,195	<p>短時間認定児童および標準時間認定児童に対し通常の保育時間を超えて長時間保育を実施している民間保育所等に対して、時間外手当等の人件費、教材費、光熱費等の経費を補助した。 民間保育所等 6箇所</p>	127
8. 地域活動事業補助金	4,654	<p>保育所等を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施する民間保育所等に対し活動にかかる経費を補助した。 民間保育所等 19箇所</p>	127
9. 障害児保育事業補助金	14,365	<p>保育所等での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童を受け入れている民間保育所等で、基準を超える保育士配置に必要な経費及び運営の健全化を図るための経費を補助した。 民間保育所等 7箇所 対象児童（中度）10人 （重度）2人</p>	127
10. 一時保育事業補助金	1,473	<p>保護者の傷病・入院、災害・事故、育児疲れの解消等のために、保育所等に入所していない児童の一時的な保育を行う民間保育所等に対し、その経費を補助した。 民間保育所等 1箇所</p>	127
11. アレルギー等対応特別給食提供事業補助金	12,729	<p>食物アレルギー等があり保育所等における給食に特別な配慮が必要な児童への安全な給食提供のため、民間保育所等における調理員の加配、代替食材、研修等にかかる費用を補助した。 民間保育所等 14箇所 対象児童数 82人</p>	127

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
12. 低年齢児保育充実 事業補助金	7,603	延長保育、休日保育、一時保育等特別保育事業を実施し、定員もしくは入所児童数のいずれか多い方の1割以上の0・1歳児が入所する保育所に対して、0・1歳児保育の推進を図り待機児童の発生を防ぐため、基準を超えて配置する保育士に必要な経費を補助した。 民間保育所 8箇所	127
13. <u>民間保育所施設整備 事業費補助金</u>	134,574	保育所施設の機能の維持及び向上を図るため、民間保育所が行う工事の施行に対し補助金を交付した。 ・改築工事 1件 134,573,650円 ※平成26年度繰越事業 【当初予算における内容、計画】 繰越予算額 134,601,000円 ・改築工事 1件 【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 17,303,130円 ・耐震改修工事 1件 平成25年度 9,782,461円 ・太陽光発電施設設置工事 1件 【事業を取りまく状況等】 ・改築工事1件については、近隣への配慮等により、工事時間に制約が生じ、年度内完了が見込めなかったため、平成26年度から繰り越しとした。 ・市が行うべき保育の実施を民間保育所に委託していることから、児童の安全かつ快適な保育環境を保障しなければならず、保育所施設の機能の維持及び向上を図るための補助を今後も市が行っていく必要がある。	127
14. 子ども家庭支援 ネットワーク事業	14	伊勢市子ども家庭支援ネットワーク（要保護児童対策地域協議会）を設置して、要保護児童とその家族の早期発見と適切な支援のため、関係機関との連携を図り児童虐待の防止に努めた。	127
15. こども家庭相談セ ンター事業	11,275	保健師、社会福祉士及び保育士（みえ発達障がい支援システムアドバイザー）、家庭児童相談員、女性相談員、発達支援相談員、臨床心理士（非常勤）を配置し、児童虐待通告や子育て相談、DV（配偶者等による暴力）等の女性相談に対する助言指導等を行った。 また、保育所及び幼稚園への巡回訪問等を行い、発達障がい児の早期発見や適切な支援を図った。 ・児童相談 : 延べ 997件 (389人、うち新規177人) ・女性相談 : 延べ 520件 (125人、うち新規 81人) ・発達支援相談 : 延べ 751件 (350人、うち新規185人)	127
16. 子育て世帯臨時特 例給付金支給事業	46,197	消費税引き上げの影響を踏まえ、子育て世帯に対して臨時特例的な給付措置を行った。	127

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 2. 児童措置費

(単位 千円)

予算現額 3,626,998 千円
 決算額 3,588,491 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,878,124	587,307		271,888	851,172

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童入所施設措置 事業	6,297	児童の福祉に欠ける世帯の母子を母子生活支援施設に入所措置することで、家庭生活の安定保護を図るとともに、自立への支援を行った。また、経済的理由により入院助産を受けることができない妊産婦を入所措置した。 母子生活支援施設利用件数 2件 助産施設利用件数 2件	129
2. 児童手当支給事業	1,916,350	子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという趣旨のもとに、中学3年生までの子どもを養育する保護者に対し児童手当を支給した。 受給者数 8,863人 対象児童延べ人数 175,752人	129

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 3. 父母子福祉費

(単位 千円)

予算現額 555,233 千円
 決算額 554,364 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
188,011				366,353

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高等職業訓練給付 金等事業	15,208	ひとり親家庭の自立の促進を図るために、看護師等の資格養成機関で修業する一人親家庭の父又は母に対し、生活費の負担減を図るための補助金を支給した。 高等職業訓練促進給付金 11人 高等職業訓練修了支援給付 7人	129
2. 児童扶養手当支給 事業	536,271	父又は母と生計を同じくしていない児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図るために、手当を支給した。 受給資格者数 1,392人	129

(款) 3. 民生費 (項) 3. 児童福祉費 (目) 4. 児童福祉施設費

(単位 千円)

予算現額 1,544,415 千円
 決算額 1,502,872 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,822	10,716		278,897	1,201,437

こども課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 臨時保育士等経費	372,280	市立保育所に嘱託保育士等を配置した。 ・嘱託保育士 89人 ・嘱託看護師 12人 ・嘱託調理員 16人 ・嘱託業務員 13人 ・臨時保育士 48人 ・臨時調理員 7人 ・文書集配職員 1人	129
2. 保育所地域活動事業	1,865	保育所を基点とした地域住民の主体的な子育て支援の促進を図るための事業を実施した。 市立保育所 10箇所	129
3. 地域子育て支援センター事業	52,594	子育て家庭の交流の場の提供、子育てに関する講座の開催、育児不安についての相談指導、子育てサークル支援などを行った。 子育て支援センターきらら館、小俣子育て支援センター明倫保育所、二見浦保育園、しごうこども園	129
4. 障害児保育事業	74,056	保育所での集団保育が可能で、かつ保育に欠ける障がいをもつ児童の入所する保育所に保育士及び保育補助員を加配した。 市立保育所等 11箇所 対象児童 (中度) 23人 (重度) 19人	129
5. 延長保育促進事業	8,302	11時間を超えて長時間の保育を実施した。 市立保育所 2箇所 (大世古保育所、保育所きらら館)	129
6. 休日保育事業	3,707	日曜日、祝日等の保護者の就労等により、家庭で子どもの保育が困難な場合に、保護者の子育てと仕事の両立を支援するため、休日保育を行った。 市立保育所 1箇所 (保育所きらら館)	129

(款) 3. 民生費 (項) 4. 生活保護費 (目) 2. 扶助費

(単位 千円)

予算現額 2,171,202 千円
 決算額 2,119,010 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,542,818	71,340			504,852

生活支援課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種扶助事業	2,119,010	<p>健康で文化的な最低限度の生活を保障し、その自立を助長することを目的とした生活保護法の理念に基づいて、適正な保護の実施に努めた。</p> <p>平成27年度実績 被保護世帯数 964世帯 被保護人員 1,223人 被保護率 9.6‰</p> <p>種別 円 生活扶助 573,564,060 就労自立給付金 147,597 住宅扶助 244,308,541 教育扶助 7,825,079 介護扶助 72,417,399 医療扶助 1,176,522,410 生業扶助 5,152,186 葬祭扶助 1,520,299 保護施設事務費 37,552,188 合計 2,119,009,759</p> <p>平成26年度実績 被保護世帯数 988世帯 被保護人員 1,258人 被保護率 9.9‰</p> <p>種別 円 生活扶助 614,869,993 住宅扶助 241,391,358 教育扶助 8,978,837 介護扶助 76,222,565 医療扶助 1,208,540,808 生業扶助 4,529,591 葬祭扶助 1,519,665 保護施設事務費 36,696,788 合計 2,192,749,605</p>	133

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 1. 人権施策管理費

(単位 千円)

予算現額 67,694 千円
 決算額 65,096 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,552			45,544

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権施策推進事業	999	伊勢市人権施策推進協議会と協力し、人権尊重啓発ポスター・人権尊重啓発標語の募集、人権セミナー開催等の各種事業の展開を通じて、市民の人権意識の高揚に努めた。	133
2. 市民館講座開催事業	168	人権問題に関する理解と認識を深めるため、成人学習講座をはじめとする各種講座を開催し、市民に学習の場と機会を提供した。	133

(款) 3. 民生費 (項) 5. 人権政策費 (目) 2. 人権啓発推進費

(単位 千円)

予算現額 3,547 千円
 決算額 3,292 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	809			2,483

人権政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権啓発推進事業	723	人権啓発パンフレット・啓発物品を作成し、「差別をなくす強調月間」及び「人権週間」を中心に、企業訪問、街頭啓発などで配布した。2月には人権映画祭を開催し、多くの住民等の人権意識への関心を高めることができた。	133
2. 非核平和推進事業	630	非核・平和第37回空襲展を実施し戦争の悲惨さと平和の大切さを訴えていくことができた。 平和首長会議からのポスターを活用した原爆被災ポスター展を実施し、折鶴コーナーも設け広く住民へ非核・平和の周知を行った。	133
3. 講演会開催事業	1,062	7月の「人権を考える市民の集い」では、講師に辛淑玉さんを迎え「人権力を養う～想像力を広げる視点～」、12月の「伊勢市人権講演会」では、大谷昭宏さんを迎え「マスコミと人権」というテーマで講演をしていただいた。	133
4. 小学校区別人権・同和教育推進連絡協議会事業	733	市内23の各協議会にて、講演会、人権展、啓発紙の発行等の活動を行った。3月には今後の取組の充実を図るため、全協議会参加による交流会を開催した。	133
5. 人権啓発講座開催事業	144	小中PTA会員と一般からの受講者を募集し、4回講座を持った。回ごとにテーマと講師を変え、講師による講演後、グループ討議を行い、人権問題を広く学習することができた。延べ152名の参加があった。	135

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 1. 保健衛生総務費

(単位 千円)

予算現額 654,823 千円
 決算額 574,062 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
41,525	14,931	28,100	6,403	483,103

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(斎場)	41,221	1市3町で構成する伊勢広域環境組合斎場で火葬業務を行った。 共通経費 476千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 32,064千円(実績割100%) 建設経費 8,681千円(平等割10%人口割90%)	135
2. 伊勢広域環境組合負担金(し尿)	224,653	1市2町で構成する伊勢広域環境組合クリーンセンターでし尿等の適正処理を行った。 共通経費 2,789千円(平等割10%加入事務数割90%) 運営経費 187,847千円(実績割100%) 建設経費 20,598千円(平等割10%人口割90%) 公債費 13,419千円(元利補給金)	135
3. 生活排水対策啓発事業	228	伊勢市環境会議にて、各家庭における生活排水対策の啓発活動等に取り組んだ。 実施事業：勢田川七タ大そうじ、水生生物による水質調査、エコクッキング教室 等	135
4. 生活排水対策推進計画策定事業	969	生活排水処理施設の整備、生活排水対策にかかる啓発について、計画的、総合的に推進するため、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条及び水質汚濁防止法第14条の9に基づき「第2期伊勢市生活排水対策推進計画」(計画期間：平成28年度から平成37年度まで)を策定。 【策定作業内容】 生活排水に関するアンケートの実施 計画案の作成 啓発パンフレット「勢田川環境マップブック」の作成 計画書及び啓発パンフレットの印刷 等	135
5. 狂犬病予防事業	1,737	狂犬病予防法に基づき、獣医師会等と協力して、畜犬登録と狂犬病予防注射を行った。 畜犬新規登録件数 504頭 狂犬病予防注射接種件数 5,220頭	135
6. 合併処理浄化槽設置整備事業補助金	82,728	公共用水域の汚濁防止、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、合併処理浄化槽設置者に対し補助し、合併処理浄化槽の普及に努めた。 公共下水道認可区域外 284基 78,900千円 公共下水道認可区域内 32基 3,828千円	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 共同汚水処理施設 修繕工事補助金	1,977	共同汚水処理施設の適正な維持管理を推進するため、住民で組織する団体が管理し、設置後7年以上が経過した共同汚水処理施設の修繕工事（当該修繕工事に要する経費が1件当たり30万円以上のものに限る）を実施した管理団体に対し補助を行った。 補助件数：3件 補助金額：1,977,120円	137
8. 太陽光発電普及促進事業	6,470	地球温暖化の防止に寄与するため、太陽光発電システム設備設置に対し1件あたり60千円を補助した。 平成27年度 ・補助金 87件 5,220千円 平成26年度からの繰越 ・補助金 20件 1,200千円	137
9. エコドライブ普及 推進事業	346	市域運輸部門の温室効果ガス排出量を削減するために、エコドライブ講習会を実施した。 ○エコドライブ講習会開催 市民向け2回、職員向け3回実施 ＜参加者数＞ 市民向け 25人 職員向け 42人	137
10. 犬猫不妊手術費等 補助金	2,264	適正な飼育を図るため、不妊手術費の一部助成を行った。 補助金交付件数 犬192頭 猫515頭	137
11. 環境フェア等開催 事業	764	環境問題に対する意識啓発のため、また、環境に関する市の取組への理解と協力を得るため、環境フェアを開催した。（伊勢市制施行10周年記念として開催） 開催日 平成27年10月12日（月・祝） 開催場所 三重県営サンアリーナ	137
12. <u>環境教育推進事業</u>	200	持続可能な社会づくりに貢献する人材の育成のため、事業者や大学と連携し、小学生を対象に環境教育の出前講座等を実施した。 （出前講座実績） ・京セラ株式会社三重伊勢工場 7校17クラス ・中部電力株式会社 5校7クラス ・株式会社第三銀行 1校3クラス ・皇学館大学 4校7クラス（その他全学年対象1校） 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 200千円 ・皇学館大学生物学ゼミが実施する出前講座、イベント出展に係る負担金 【過去2ヵ年度の実績】 平成27年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・平成24年度より実施してきたエネルギー教育促進事業を終了し、平成27年度以降はエネルギー教育も含めた環境全般について広く推進していく。 ・第2期伊勢市環境基本計画において、環境教育・環境学習の充実のため、「環境教育の促進」を重点事業として位置づけている。	137

小俣総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 離宮の湯管理運営 事業	15,855	地域住民の福祉の充実及び公衆衛生の向上を目的に、平成17年4月1日から営業を開始した。また、平成19年4月1日からは民間のノウハウを生かすために指定管理者制度を導入し管理運営を行っている。毎月6回程度のかわり湯を実施し、利用拡大に努め、市民の憩いの場として多くの方に利用していただいた。 平成27年度利用者数 42,196人	137

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 2. 保健センター費

(単位 千円)

予算現額 1,484,476 千円
決算額 1,474,918 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	6,567	29,700	20,659	1,417,992

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 病院事業会計繰出 金	1,181,700	病院事業に対して、繰出基準に基づく繰出しのほか、資金不足改善のため、繰出しを行なった。 ・通常分 696,090千円 ・資金不足改善分 485,610千円	137
2. 病院事業出資金	29,700	新病院建設事業費のうち企業債対象事業の1/4相当額を出資金として支出した。(合併特例債を100%充当)	139

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 健康・医療電話相 談事業	7,604	市民の安心と救急医療体制の保持を図るため、健康、医療をはじめ、介護、育児やメンタルヘルスなどの、市民の心と体の様々な相談に、医師や看護師などの専門家による24時間年中無休、通話料無料の電話相談サービスを委託し実施した。17,113件の相談があった。	137
2. 一次救急医療事業	4,112	休日・夜間応急診療所への医師派遣調整及び救急医療知識の普及啓発並びに情報提供業務を伊勢地区医師会に委託し、休日及び毎夜間における一次救急医療体制の確保を図るとともに、救急医療体制を確保するため、市民に救急業務に関する正しい知識と理解を深めてもらうよう周知に努めた。	137

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 病院群輪番制病院 運営費補助金	34,739	<p>病院群輪番制は、一次救急医療体制に併せ、市内の2病院（伊勢赤十字病院、市立伊勢総合病院）が、輪番制により、休日及び夜間における重症救急患者の受け入れに対応する二次救急体制を確保するためのものであり、この補助金はその運営費を補助するものである。</p> <p>平成27年度は18,011人の受け入れがあり、市民の安心・安全確保に大きく貢献した。</p>	137
4. 健康文化都市推進 事業	4,207	<p>生涯を健康で暮らせるような「健康文化都市」をめざして、健康づくり指針に基づき生活習慣病予防を中心に健康づくり活動を推進した。健康文化週間及び健康の日の啓発事業、健康づくりのリーダーとなる健康づくりアドバイザー養成講座等を開催した。重点事業への取組みとして、市民から低カロリー・バランス食のおすすめレシピを募集し、100号記念式典でのお披露目とリーフレットを発行した。また、ウォーキングマップの作成・発行、講座等も実施した。</p> <p>今年度は第1期健康づくり指針の最終評価を行い、平成28年度からの新たな第2期健康づくり指針を策定した。</p>	137
5. 食生活改善推進事 業	978	<p>健康づくりの基本となる食生活を適正なものにするため、食生活改善推進員の養成と、推進員の自主的な活動に対する支援を行った。</p>	137
6. 連携リハビリテー ション医学講座設 置事業	24,000	<p>平成25年度に市と藤田保健衛生大学で協定を締結し、地域医療（主に回復期リハビリテーション）の充実を目的に設置した寄附講座により、市立伊勢総合病院へ医師が派遣され、スタッフへの指導、教育を含めリハビリテーション環境の充実を図った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 24,000,000円 ・継続的なリハビリテーション科医師派遣 （非常勤医師派遣延べ週4人） ・スタッフへの指導・教育を通じたネットワーク構築 （医療従事者向け講演会、リハビリテーション研修等）</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成25年度 20,000,000円 ・継続的なリハビリテーション科医師派遣 （非常勤医師派遣延べ週2人） ・スタッフへの指導・教育を通じたネットワーク構築 （スタッフ研修、嚥下造影検査の見学等） 〈平成25年度からの新規事業〉</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・寄附講座の設置によって、継続的なリハビリテーション科医師派遣の仕組みの構築及びコメディカルスタッフの指導・教育等リハビリテーション環境の充実が図られ、平成27年度には常勤医の派遣が見込まれる。</p>	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 公的病院支援事業 補助金	10,000	<p>不採算医療分野のうち、公的病院である伊勢赤十字病院が市内で唯一保有する小児医療病床の運営経費を一部補助し、地域医療体制の確保を図り、市民の安心・安全な医療の提供につなげた。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 10,000,000円 ・一般小児入院医療の運営経費の補助</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 10,000,000円 〈平成26年度からの新規事業〉</p> <p>【事業を取りまく状況等】 伊勢赤十字病院は地域小児医療センター病院に位置づけられ、伊勢地区の小児入院医療は平成17年に伊勢赤十字病院に集約されており、今後も地域における小児入院医療の確保維持を図る必要がある。</p>	139

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 3. 予防費

(単位 千円)

予算現額 347,701 千円
決算額 324,466 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,701			318,765

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 予防接種事業	324,466	全ての定期予防接種を県内の実施医療機関で実施し、対象者に接種を行った。また、未接種者に対し勧奨通知を送付し、接種率の向上を図った。	139

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 4. 成人保健推進費

(単位 千円)

予算現額 292,974 千円
決算額 276,926 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,894	7,230		1,610	266,192

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 成人健康診査事業	10,503	40歳以上の保険が無い方を対象にした健康増進法健康診査と、40・45・50・55・60歳及び65歳～70歳の女性に骨粗しょう症検診等を実施して、生活習慣病を早期発見し、市民の健康増進に努めた。	139
2. がん検診事業	258,832	市内の医療機関、保健センター及び地域において、胃・子宮・大腸・乳・前立腺及び肺がん検診を実施した。日本人の死因第1位であるがん(悪性新生物)を早期発見し、早期治療につながるよう努めた。	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 歯周疾患検診事業	6,515	40歳～50歳及び55歳、60歳、65歳、70歳の市民を対象に、市内及び度会郡内の実施歯科医院で歯周疾患の検診を実施した。 2,428人が受診し、歯周疾患の早期発見、早期治療に寄与し、8020運動を推進した。	139
4. 成人健康相談事業	701	40歳以上の市民を対象に、血圧測定、検尿をはじめ、個別の健康相談、栄養相談を行い、疾病の早期発見及び健康の増進に努めた。 延べ104回、397人の相談を行った。	139
5. 訪問指導事業	375	保健師等が家庭訪問を行い、本人及びその家族225人に対し、生活習慣病の予防や介護予防に関するアドバイス、保健サービスと医療・福祉等のサービスの調整を図った。	139

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 5. 母子保健推進費

(単位 千円)

予算現額 172,234 千円
 決算額 162,145 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,732	6,270		1,665	146,478

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 子育て支援教室事業	510	妊娠期、乳幼児期に各教室を実施し、妊娠・出産・子育てに関する正しい知識の普及や子育ての不安の解消、仲間づくりの支援を図った。1,008人の参加があった。	139
2. 発達支援教室事業	2,807	<p>1歳6か月児健康診査等により、言語発達等に観察が必要な親子に対し、育児支援・助言を行い、健全育成を図るとともに、子育てに悩みを持つ保護者のネットワークづくりに努めた。また、27年度から、育てにくさを感じる親に寄り添う支援として生後4か月児健診の結果等から育てにくさや育児への不安が強い親とその乳児に対して、ふれあい遊びや音楽遊び、交流会等の内容で親支援の教室を新たに開催した。833人の参加があった。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 2,890,000円 (報償金、需用費、委託料、備品購入費) ・親子教室らっこ(乳児) 4回 ・親子教室アイアイ(1歳6か月児健診後) 12回 ・発達支援教室きりん、カンガルー 18回 ・発達相談 59回</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成25年度 2,226,000円 ・親子教室アイアイ 12回 375人 ・発達支援教室 24回 335人 ・発達相談 53回 平成26年度 2,327,000円 ・親子教室アイアイ 12回 415人 ・発達支援教室 24回 444人 ・発達相談 53回</p> <p>【事業を取りまく状況等】 発達障がいの早期発見・早期療育などの支援は、保護者の子育て困難感解消、子どもの発達支援という観点から重要な課題であり、年々対象者や相談が増えてきている。</p>	139
3. 幼児歯科保健事業	3,107	<p>1歳6か月児健康診査から3歳児健康診査までの2年間に、むし歯が急速に増加するため、むし歯予防の教室を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・むし歯バイバイ教室24回 816人 ・3歳児フッ化物塗布12回 665人 	139
4. 子育て相談事業	895	乳幼児を持つ保護者を対象に、育児上の悩みや離乳食などについて適切なアドバイスをを行い、自信を持って育児ができるように援助を行った。保健センターや地域等で開催し、延べ3,421人の相談に対応した。	139

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 新生児等訪問指導 事業	4,767	新生児をはじめ乳幼児、妊産婦のいる家庭を訪問し、相談に応じることで不安や悩みの解消、異常の早期発見に努めた。新生児947人、乳幼児539人、妊産婦981人、育児支援161人の訪問を実施した。	139
6. 妊婦・乳児健康診 査事業	109,080	妊娠中に14回及び乳児期に2回（4か月、10か月）計16回、県下の委託医療機関で健康診査を実施した。妊婦は延べ12,046人（県外助成を含む）、乳児は延べ1,824人受診した。このことにより、妊婦・乳児の異常の早期発見と健康の保持増進を図った。	139
7. 1歳6か月児健康 診査事業	2,706	身体発育、精神発達の中で歩行や言語発達の標識が容易に得られる1歳6か月時に健康診査を実施し、886人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	139
8. 3歳児健康診査事 業	4,417	身体発育及び精神発達の中で最も重要な時期である3歳の時点において、総合的な健康診査を実施し、962人が受診した。また、児童虐待の徴候を早期発見し、育児不安等の解消と児童虐待の防止に努めた。	141
9. 妊婦歯科健康診査 事業	977	歯周疾患の早期発見、早期治療により早産や低出生体重児の出生を予防し、健やかな子育てを開始できるよう、市内及び度会郡内の実施歯科医院で、362人の妊婦に歯科健康診査を実施した。	141
10. <u>新生児聴覚検査助 成事業</u>	2,081	<p>新生児聴覚検査にかかる費用の一部助成（上限3,000円）をすることにより、経済的負担の軽減と先天性聴覚障がい等の早期発見と支援にむけた体制整備を行い、乳幼児の健康の保持増進を図った。694件に助成を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 3,300,000円 ・委託料 3,000円×980人=2,940,000円 ・扶助費 3,000円×120人= 360,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 *平成27年度 新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 先天性聴覚障がい等の早期発見・早期療育により、その後の言語発達への影響が最小限に抑えられるため、全ての新生児が新生児聴覚検査を受けることが重要であり、受診促進するために助成は必要である。</p>	141
11. 母子健康手帳交付 事業	608	妊娠の届出を行った968人の妊婦に対し、窓口で母子健康手帳を交付した。また、妊娠中からの保健指導を行い、母子の健康の保持増進を図った。	141

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
12. 不妊不育治療費助成事業	13,303	医師が必要と認めた不妊不育治療を受けた夫婦に対し、不妊不育治療費に要する費用の一部助成（費用の2分の1で年間10万円を限度とし通算5回まで）を行った。 不妊治療183件、不育治療6件に助成を行った。	141
13. 未熟児養育医療事業	5,243	入院養育が必要な未熟児21人に対して、医療の給付に要する経費を補助することにより、経済的負担の軽減と未熟児の健康の保持増進を図った。	141
14. <u>妊娠出産包括支援事業</u>	11,644	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、中央保健センターを拠点に、母子保健コーディネーター（保健師）や助産師が中心となって、妊娠期からの切れ目ない支援の充実を図った。 (1)母子保健相談支援事業 母子保健コーディネーターが、妊娠期からの相談や訪問、「ママ安心サポートプラン」の作成など、母子健康手帳交付時からの継続した支援を7月から実施した。 (2)産前・産後サポート事業 助産師が中心となり、お母さんの悩みや不安に寄り添う支援を7月から実施した。 ・おめでとうコール（産後2～3週目の産婦）685人 ・おっぱい相談会 106人（10月開始） 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 6,935,000円 ・先進地視察（県内・県外） ・母子保健コーディネーターの設置 ・サポートプランの印刷 ・産前産後サポート事業の実施 ・専属の嘱託助産師、嘱託保健師の雇用 【過去2カ年度の実績】 *平成27年度 新規事業 【事業を取りまく状況等】 地域のつながりの希薄化等により、妊産婦等が孤立し不安感を抱えやすくなっていると考えられることから、妊娠・出産・子育てまでの切れ目ない支援の強化を図ることが重要である。	141

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 6. 墓地費

(単位 千円)

予算現額 14,378 千円
決算額 14,154 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			3,213	10,941

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 共同墓地整備事業補助金	5,738	共同墓地内の環境改善を図るため、自治会等が行う共同墓地整備事業に対し補助を行った。 補助金交付件数 15件	141

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 7. 診療所費

(単位 千円)

予算現額 117,838 千円
 決算額 89,697 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			86,206	3,491

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 医科診療所運営事業	82,881	夜間や休日などに救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(内科・小児科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	141
2. 歯科診療所運営事業	6,816	休日の救急医療が必要な市民に応急的な医療を行うため、休日・夜間応急診療所(歯科)を開設し、一次救急医療を確保することにより、市民の健康管理を図った。	141

(款) 4. 衛生費 (項) 1. 保健衛生費 (目) 8. 公害対策費

(単位 千円)

予算現額 3,828 千円
 決算額 3,637 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,637

環境課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 調査事業	3,637	公害防止、環境保全に努めるため、水質・騒音・振動・悪臭等について調査し現状把握を行った。	141

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 1. 清掃総務費

(単位 千円)

予算現額 878,503 千円
 決算額 877,241 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			135	877,106

清掃課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢広域環境組合負担金(ごみ)	799,803	1市3町で構成する伊勢広域環境組合清掃工場にて、ごみの適正処理を行った。 ○共通経費 5,761千円 (平等割10%加入事務数割90%) ○運営経費 387,907千円 (実績割100%) ○建設経費 170,580千円 (平等割10%人口割90%) ○公債費 232,811千円 (元利補給金) ○清掃事業所分担金 2,744千円	143

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 廃棄物集積所設置 補助金	5,833	<p>ごみの排出場所の集積化を促進し、ごみ収集の効率化を図るとともに、ごみの散乱を防止し、市民の美化意識の高揚を図ることにより、市民の良好な生活環境を確保することを目的として、廃棄物集積所を設置した自治会等に対し補助金を交付した。</p> <p>○交付申請団体数 のべ37団体 ○補助金交付基数 56基 ○補助率 利用世帯数に応じて補助金限度額の設定</p>	143
3. 不法投棄防止対策 推進事業	908	<p>市有地等に不法投棄された家電4品目及び処理困難物を適正に処理した。</p> <p>○主な不法投棄物の回収実績：テレビ101台、冷蔵庫26台、洗濯機13台、エアコン2台、タイヤ89本</p>	143

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 2. 資源循環推進費

(単位 千円)

予算現額 96,766 千円
決算額 89,580 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			70,245	19,335

清 掃 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 指定袋制度運営事 業	74,335	<p>ごみの減量及び資源化を推進するため、可燃ごみの指定ごみ袋制を実施した。</p> <p>○目的</p> <ol style="list-style-type: none"> 可燃ごみへの資源物の混入の防止、ごみの減量と分別・資源化の推進 危険物の混入によるごみ収集時やごみ処理施設での事故防止 日常生活からのごみと事業活動から生じるごみとの区別化 <p>○指定袋種類 3種類 (大袋45ℓ、中袋30ℓ、小袋15ℓ)</p> <p>○材質等 【材質】高密度ポリエチレン製 【色】 半透明</p> <p>○販売方法 「伊勢市指定ごみ袋販売店」にて販売 (平成28年3月31日現在、 販売店登録数291店舗)</p> <p>○販売価格 希望小売価格制度にて販売 市の提示する希望小売価格 大袋105円、中袋74円、小袋47円(税別)</p> <p>※市施行による指定ごみ袋の製造および販売等を行う運営事業は、平成27年度で終了した。</p>	143

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 再生資源回収推進事業	7,629	<p>自治会、PTA等資源物の集団回収事業を行う団体に対して、回収量に応じ再生資源回収事業奨励金を交付することにより、ごみの減量・資源化を図った。</p> <p>○交付団体数 149団体 ○回収量 2,540t (内訳) 紙類2,429t、布類49t、缶類62t ○回収量(瓶) 2,952本 ※1kg当たり3円の奨励金 瓶については、1本当たり3円の奨励金</p>	143
3. <u>ごみ減量化容器設置補助金</u>	2,224	<p>生ごみの自家処理を促進し、ごみの減量化を図ることを目的に、ごみ減量化容器を購入し、設置した者に対し補助金を交付した。</p> <p>○家庭用 77件 86基 ○事業所用 1件 1基</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 8,688,000円 ○家庭用 115基分 ○事業所用 3基分</p> <p>【過去2ヶ年度の実績】 ○家庭用 平成25年度 93件 111基 平成26年度 82件 98基 ○事業所用 平成27年度新規事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 補助金交付基数に伸びが無いため、市民や事業所への啓発を強化していく。</p>	143

(款) 4. 衛生費 (項) 2. 清掃費 (目) 3. じん芥処理費

(単位 千円)

予算現額 720,632 千円
決算額 714,256 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			18,846	695,410

清 掃 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 再資源分別回収事業	292,120	<p>ごみの減量・資源化のため、缶・金属類、資源びん(無色、茶色、その他の色)、紙・布類(新聞・折込チラシ、雑誌・雑紙類、段ボール、飲料用紙パック、布・衣類)、ペットボトル、プラスチック製容器包装、ガラス・くずびん類、陶磁器類、乾電池及び蛍光灯の分別回収を行った。</p> <p>○市内ステーション設置状況 ・資源ステーション 995箇所 ・資源拠点ステーション 19箇所 (内訳) 伊勢中央、宇治、船江、城田、中島、佐八、明倫、神社、厚生、早修、北浜、宮本、沼木、大湊、いせトピア、二見、小俣、明野、御薗</p>	143

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. じん芥収集車購入 事業	13,848	<p>耐用年数が経過し、老朽化により収集業務に支障が出るため、車両を順次買い替え業務の効率化を図った。</p> <p>○購入車両</p> <p>2tパッカー 2台</p> <p>軽ダンプ 2台</p> <p>○収集車両台数 計38台</p>	145
3. じん芥収集一般事 業	37,619	<p>ごみ収集業務のほか、市民から搬入されたガレキ類（ブロック、レンガ、瓦、コンクリート）の適正処理を行い、環境保全の推進を行った。</p> <p>また、小俣廃棄物投棄場浸出水処理施設の維持管理を行い、投棄場の環境保全を行った。</p> <p>○伊勢年間搬入量 536,774kg</p> <p>○小俣年間搬入量 45,360kg</p>	145

(款) 5. 労働費 (項) 1. 労働諸費 (目) 1. 労働諸費

(単位 千円)

予算現額 62,032 千円
 決算額 59,598 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,027		7,217	48,354

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 若年求職者等支援 事業	8,093	いせ若者就業サポートステーションと連携し、若年求職者・無業者を対象に個別ケースにあわせた支援を実施し、早期就職の実現を図った。 ○伊勢市若者就職総合支援事業 ・臨床心理士等を配した面談による心理カウンセリング ・適職診断等を用いた若者キャリア開発プログラム ・講演会 ・セミナー・講座 ・就労体験 ・市内事業所見学会 ・ネットワーク会議 ○若年者就職支援事業〔(緊急雇用創出事業) 地域人づくり事業〕 ・学び直しセミナー ・ボランティア体験	145
2. <u>就労支援事業</u>	54	○女性の再就職支援 結婚、出産、育児などにより離職した女性が、再就職への不安を取り除き、未来に向けて一歩を踏み出す機会とするため、再就職支援セミナーを実施した。参加者は12名であった。 ○障がい者雇用促進 伊勢公共職業安定所と連携し、12事業所を訪問し、障がい者雇用を促した。 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 448,000円 主な経費内訳 講師謝礼：2人 276千円 チラシ印刷 50千円 託児業務委託 100千円 【過去2カ年度の実績】 障がい者雇用促進 (訪問事業所数) 平成26年度 10事業所 【事業を取りまく状況等】 女性の再就職支援 厚生労働省委託事業を活用したことから、講師に係る謝礼等は不要となった。 再就職を希望する女性を後押しするとともに、事業所に対して人材活用・制度案内を図るなど、雇用促進に向けた取り組みが求められている。 障がい者雇用促進事業 平成27年6月1日現在の民間企業などの障がい者実雇用率は県全体で1.97%、伊勢公共職業安定所管内においては1.95%であり、前年に比し改善はしているが、法定雇用率である2.0%には至っておらず、引き続き、障がい者雇用促進のための取り組みが必要である。	145

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 伊勢地域勤労者福祉サービスセンター補助金	13,284	中小企業で働く勤労者の福祉制度の充実を推進し、併せて勤労者福祉の向上と中小企業の発展を図るため、一般社団法人伊勢地域勤労者福祉サービスセンターに対し、管理運営費の補助を行った。	145
4. 勤労者ふれあい事業	1,200	10月12日（月・祝）県営サンアリーナにて、一般社団法人伊勢志摩労働者福祉協議会等と共催で、福祉フェスティバル「勤労者ゆとりT・I・M・E you・ゆう・遊ing」を開催した。市内の事業所の勤労者とその家族を中心に約25,000人の参加があり、ゆとりと豊かさの実感できる場、さらには家族ふれあいの場を提供した。	145
5. 高年齢者労働能力活用事業費補助金	19,280	社会の高齢化が急速に進む中、高齢者の多様化する就業ニーズに対応するため、労働対策及び生きがい対策の一環として設立した公益社団法人伊勢市シルバー人材センターの管理運営に対して補助を行った。	145
6. サンライフ管理運営事業	8,510	勤労者の健康増進、体力及び教養文化の向上を図るため、会議室、体育室等の貸室、維持管理を行った。また、趣味づくり、健康づくり講座を開催した。平成18年9月から指定管理者による運営となっている。	145
7. 労働福祉会館管理運営事業	6,507	労働者の福利増進及び市民の文化向上に寄与するため、会議室の貸室、維持管理を行った。	145
8. 勤労者持家促進資金貸付金	2,240	東海労働金庫と協調し、市内に居住又は県内事業所に勤務する勤労者が市内に自己が居住する住宅を新築・増改築及び購入時に、その利子の軽減を実施することで勤労者の負担を緩和し、持家の促進を図った。	145

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 2. 農業総務費

(単位 千円)

予算現額 135,570 千円
 決算額 135,087 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12			135,075

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢地域農業共済事務組合負担金	35,101	農業災害補償法の規定に基づく農業共済事業を効率的・安定的に運営するため、伊勢地域農業共済事務組合の運営経費の一部を構成7市町で負担した。	147

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 3. 農業振興費

(単位 千円)

予算現額 22,646 千円
 決算額 20,274 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	16,550		218	3,506

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 農業近代化資金等利子補給補助金	593	地域農業の担い手として活躍が期待できる認定農業者を支援するため、その経営規模拡大等のため借り入れた資金の利子補給を行った。	147
2. 遊休農地活用事業	750	遊休農地の解消を図るため、地域農業の担い手が遊休農地を活用して営農するにあたり、その再開に必要な草刈りや耕起など、営農可能な状態に回復するための支援を行った。	147
3. 新規就農者総合支援事業	3,750	経営の不安定な就農初期の青年就農者に対する給付金を給付し、青年就農者の増加及び就農後の定着を図った。	147
4. 経営体育成支援事業	5,981	中心経営体等が、経営規模の拡大や農産物の加工・流通・販売等の経営の多角化等に取り組む際に必要となる農業用機械等の導入等について支援することで中心経営体等の育成・確保を図った。	147
5. 農業振興地域整備促進経費	122	農業振興地域整備計画に基づき地域内の計画的土地利用を進める中、農業諸情勢の変化に対応して、地域の土地利用の動向、他の土地利用との調整を図り、地域の特性及び課題に応えるべく、農用地の見直しを行った。	149
6. 農業振興補助金	839	農業が持続的に営まれることにより、農村環境が良好に保たれることから、農業者等の地域農業や農村振興に資する取り組みを支援することで後継者の育成確保や生産活動強化を図った。	149

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 経営所得安定対策 推進事業	6,724	意欲ある農業者が需要のある作物を生産することに対して交付金を交付することにより、農業経営の安定や農地の有効利用を図った。	149
8. <u>6次産業化推進事業</u>	362	<p>6次産業化という新しい農業経営の考え方を地域の農業者等に周知・定着を図り、経営向上に向けた6次産業化への取り組みの推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化ステップアップ研修会の参加 ・伊勢市6次産業化講演会の開催 ・6次産業化先進地視察 ・6次産業化視察研修 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当初予算額 535,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化講演会等の開催×2回 ・6次産業化に関する研修 <ul style="list-style-type: none"> ・農業者等を対象に、6次産業化で成功した企業及び関連施設への視察研修 ・市内で加工されている6次産業化製品の事例紹介 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成26年度 102,126円 平成25年度 107,990円</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化・地産地消法が創設され、国庫事業でも6次産業化の取り組みに対して支援され始めてきている。 ・6次産業化の主たる目的は農業者の所得向上であるが、観光、外食業など異業種と連携して特産物等の開発に繋がれば、地域の活性化にも期待できる。 	149
9. 農地中間管理事業	218	今後、農業者の減少により耕作者のいない農地の増加が見込まれるため、農地の中間受け皿となる農地中間管理機構による担い手への農地集積・集約化に対する周知・定着を図った。	149
10. 地産地消推進事業	445	<p>市内産農林水産物を食材として取り扱う飲食店等を、伊勢市地産地消の店として認定し、当該店の地産地消に係る取組を消費者に周知することにより、市内産農林水産物の消費及び需要の拡大を図った。</p> <p>また、農産物直売所事業に対して消耗品や資材面で支援を行うことにより、地域農業における農村コミュニティーの再構築や地域農業の維持発展を図った。</p>	149
11. 特色ある農産物づくり支援事業	54	有機・減農薬栽培の促進、先進的又は地域の特色ある農産物づくりに取り組む農業者に対して支援を行い、地域農業の活性化を図った。	149
12. 農業体験学習事業	436	食育推進の一環として、農業体験を含む食育の機会を設け、食の大切さ、食を育む産業である農業の大切さなどについて考えてもらう機会を提供した。	149

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 4. 農業用施設管理費

(単位 千円)

予算現額 180,759 千円
 決算額 169,691 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	105,000		1,431	63,260

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二見しょうぶロマ ンの森維持管理経 費	6,690	指定管理者により伊勢市二見地域農産物等活用型総合交 流促進施設の管理運営を行った。 ・指定管理者 一般社団法人 民話の駅 蘇民 ・開館日数 360日 ・来客人数 148,299人	149
2. 伊勢市都市農山村 交流促進施設維持 管理経費	3,236	横輪地区活性化事業で整備した伊勢市都市農山村交流促 進施設について、指定管理者制度による施設の管理運営を 行い、地域住民と都市住民が集い触れ合う交流の場として 地域の活性化を図った。 ・指定管理者 横輪町活性化委員会 ・開館日数 265日 ・来客人数 9,666人	149

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>3. 多面的機能支払交付金事業</p>	<p>139,012</p>	<p>農業者又は地域住民を含めた組織等で取り組む農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全活動や推進活動に対し支援を行う『農地維持支払交付金』と水路、農道等の施設の軽微な補修や農村環境保全活動等の取組みに対し支援を行う『資源向上支払交付金（共同活動）』と老朽化が進む農地周りの農業用排水路、農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の活動に対し支援を行う『資源向上支払交付金（施設の長寿命化）』を支払った。 各交付金の詳細は以下のとおりである。</p> <p>◆農地維持支払交付金 実施地区 26組織（一色、西豊浜町森区、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町西、西豊浜町上区、東大淀、黒瀬、西豊浜町小川区、田尻町、小木町)</p> <p>実施面積 1,694.09 ha 支援金総額 49,324,600円 (伊勢市負担分12,331,150円) 負担割合 国50% 県25% 市25%</p> <p>◆資源向上支払交付金（共同活動） 実施地区 24組織（一色、西豊浜町森区、有滝、村松、柏、上地、栗野、鹿海、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、佐八、中須、馬瀬、通、小俣、磯、二見町西、西豊浜町上区、東大淀、黒瀬、西豊浜町小川区)</p> <p>実施面積 1,649.69ha 支援金総額 28,850,484円 (伊勢市負担分 7,212,621円) 負担割合 国50% 県25% 市25%</p> <p>◆資源向上支払交付金（施設の長寿命化のための活動） 実施地区 18組織（一色、村松、柏、上地、栗野、上野、円座、伊勢北部(植山、有滝、西豊浜、東豊浜、村松)、津村、楠部、中須、馬瀬、小俣、磯、二見町西、西豊浜町上区、東大淀、黒瀬)</p> <p>実施面積 1,389.88ha 支援金総額 57,824,960円 (伊勢市負担分 14,456,240円) 負担割合 国50% 県25% 市25%</p>	<p>149</p>

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 5. 畜産業費

(単位 千円)

予算現額 3,392 千円
 決算額 3,392 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				3,392

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 畜産振興事業	3,392	食肉の安全を確保するため、三重県松阪食肉公社施設の維持管理対策に要する経費を、伊勢市を含む主要株主により支援を行った。	149

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 6. 農地費

(単位 千円)

予算現額 271,622 千円
 決算額 178,274 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,700	66,800	1,229	98,545

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 土地改良事業補助金	42,993	土地改良区等の実施する事業に対して市の基準による補助金を交付し、農業農村の基盤整備や農業経営の安定を図った。 交付件数・・・16件	151

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 県営かんがい排水事業負担金	69,688	<p> 県営かんがい排水事業負担金 ○宮川4工区 事業期間 平成18年度～平成29年度 事業内容 水管橋設置工 一式、推進工 一式 幹線水路工 1,300m、支線水路工 3,100m 事業費 834,000千円 負担区分 ・幹線 国50% 県25% 市町15% 宮川用水10% ・支線 国50% 県25% 市町8.333% 宮川用水16.667% →伊勢市負担額 118,557,752円 →うち現年41,233,220円 繰越77,324,532円 H26繰越 18,600,000円 </p> <p> ○有爾中・明星地区 事業期間 平成27年度～平成32年度 事業内容 測量設計 一式 事業費 19,000千円 負担区分 国55% 県25% 市町12.5% 宮川用水7.5% →受益面積割 伊勢市0.056% →伊勢市負担額 10,640円 →うち現年4,721円 繰越5,919円 </p> <p> ○田丸地区 事業期間 平成27年度～平成32年度 事業内容 測量設計 一式 事業費 7,500千円 負担区分 国55% 県25% 市町12.5% 宮川用水7.5% →受益面積割 伊勢市7.215% →伊勢市負担額 541,125円 </p> <p> 高度水利機能確保基盤整備事業負担金 ○宮川左岸地区 事業期間 平成26年度～平成31年度 事業内容 幹線水路工 1,750m 事業費 198,000千円 負担区分 国55% 県27.5% 市町10% 地元7.5% →受益面積割 伊勢市 幹線4.888% 支線1.8682% →伊勢市負担額 9,414,564円 →うち現年7,195,412円 繰越2,219,152円 H26繰越 1,173,120円 </p> <p> 農業用施設アスベスト対策事業負担金 ○城田・下外城田地区 事業期間 平成26年度～平成31年度 事業内容 支線水路工 2,600m 事業費 55,000千円 負担区分 国55% 県35% 市町5% 地元5% →受益面積割 伊勢市2.426% →伊勢市負担額 2,599円 H26繰越 937,436円 </p>	151

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 経営体育成基盤整備事業負担金	1,769	高度水利機能確保基盤整備事業負担金 ○小俣地区 事業期間 平成21年度～平成30年度 事業内容 幹線水路工 200m 支線水路工 3,400m 事業費 209,500千円 負担区分 ・幹線 国55% 県27.5% 市10% 宮川用水7.5% ・支線 国55% 県27.5% 市3.15% 小俣改14.35% ・農道 国55% 県27.5% 市17.5% →伊勢市負担額 9,647,500円 →うち現年950,000円 繰越8,697,500円 H26繰越 818,533円	151
4. 農道整備事業	6,706	農道を整備することで、農道機能を保持し農村環境の整備を図った。 ・中須町地内 中須町農道舗装工事ほか2件	151
5. 農業用排水路整備事業	26,382	農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。 ・神菌町地内 神菌町排水路整備工事ほか8件	151
6. 農道整備事業	13,371	農道を整備することで、農道機能を保持し農村環境の整備を図った。 ・鹿海町地内 鹿海町農道舗装工事ほか4件 ◇農業基盤整備促進事業	151
7. 農業用排水路整備事業	7,121	農業用排水路を整備することで、排水路の機能回復と農村環境の整備を図った。 ・二見町西地内 二見町西排水路整備工事ほか1件 ◇農業基盤整備促進事業	151
8. 農村地域防災減災事業	10,244	災害に強い農村づくりを進めるため、農業用ため池の耐震点検照査や頭首工改修計画書作成を行った。 ・黒瀬町地内 ため池耐震点検照査業務委託ほか2件	151

(款) 6. 農林水産業費 (項) 1. 農業費 (目) 7. 湛水防除事業費

(単位 千円)

予算現額 84,116 千円
 決算額 73,617 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	111		17,036	56,470

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 排水機等補修事業	26,384	<p>排水機場の設備の定期的な整備補修、更新等を実施することにより、施設の機能保持を図り、流域への湛水による被害の未然防止を図ることを目的とする。</p> <p>土地改良施設維持管理適正化事業で整備を実施 事業費の90%が交付金対象 (国：30%、県：30%、市：30%) 90%のうち市負担30%及び事務費2.5%を5年間で均等に三重県土地改良事業団体連合会へ拠出している。 (概要)</p> <p>①平成27年度現年分 東豊浜第二排水機場 電気設備整備等 一式 1件 蟹田排水機場 電気設備整備等 一式 2件 山田原名古新田排水機場 ポンプ設備整備等 一式 1件 汁谷川排水機場 除塵機設備整備 一式 1件</p> <p>②平成28年度へ一部繰越 村松排水機場 ポンプ設備整備等 一式 1件</p>	151

(款) 6. 農林水産業費 (項) 2. 林業費 (目) 2. 林業振興費

(単位 千円)

予算現額 45,071 千円
 決算額 42,511 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	15,834		1,198	25,479

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 森林病虫害防除事業	4,692	<p>海岸防風林等の松林において、松くい虫防除事業を施行し、松林のもつ公益的機能の低下防止及び景観の保全を図った。 地上散布6.3ha 伐倒破砕36.8m³</p>	153
2. 獣害防止事業	6,110	<p>増加傾向にある野生鳥獣による農作物等被害防止を目的に、伊勢市鳥獣被害防止対策協議会が実施する事業に対して負担金を支出し、集落を含む関係機関が一体となって鳥獣害防止総合対策事業に取り組んだ。 また、伊勢地区猟友会に有害獣(猪・鹿・猿)捕獲を委託し、農林作物及び生活環境等の被害軽減に努めた。</p>	153

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 森林環境創造事業	972	音無山を環境林として適正に管理するため、20年間の環境林整備計画を作成し、それに基づき下刈り、受光伐等を行っている。平成14年度からいせしま森林組合に委託しており、本年度は3.8ha実施した。	153
4. 森林整備事業	3,944	みえ森と緑の県民税市町交付金事業を活用して、松くい虫防除（樹幹注入）を実施し、暮らしに身近な森林づくりを行った。 樹幹注入 314本	153
5. 基金積立事業	1,074	みえ森と緑の県民税市町交付金事業において、小中学校の統合等、規模の大きな事業への活用を行うため基金として積み立てた。	153

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 2. 水産振興費

(単位 千円)

予算現額 2,123 千円
決算額 1,777 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	50			1,727

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 種苗放流事業補助金	925	伊勢湾・宮川各漁業協同組合が実施するアサリ、クルマエビ、アユ等の種苗放流事業に対して支援し、資源の増大・確保と漁家経営の安定を図った。	153
2. 水産教室実施事業	81	水産業を将来就く職業の一つとして考えてもらうために、市立佐八小学校5年生(19名)、市立今一色小学校4・5年生(22人)、早修小学校5年生(11名)に対して、漁業に関する講習を行い、体験実習・施設見学をしてもらうことで、漁村・漁業への意識の高揚を図った。	153
3. 干潟等保全活動支援事業	195	地区漁業者を中心とした干潟保全活動(伊勢干潟保全会・村松浅場保全会)に対しアサリ着底基盤材等の購入に係る費用を支援し干潟機能の回復と漁場環境の改善を図った。	153
4. 漁業近代化資金利子補給補助金	123	東日本大震災で被害を受けた漁業者の資金借りに生じる利子を補給し、復旧に必要な資金の借りの円滑化と漁業経営の再生を図った。	153
5. 水産振興事業	453	本市の水産業の現状と課題を整理し、その課題に対する目標を定めることにより効果的に施策を推進するため、伊勢市水産業振興計画の策定を行った。	153

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 3. 漁港管理費

(単位 千円)

予算現額 87,519 千円
 決算額 55,278 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,784			31,494

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 水産物供給基盤機能保全事業	48,481	豊北漁港において機能保全計画に基づき老朽化した施設の保全工事を行った。 ・豊北漁港有滝物揚場保全工事 松下漁港及び江漁港において機能保全計画策定に向けた調査及び設計業務を行った。 ・松下漁港機能保全計画書作成業務委託ほか5件	155

(款) 6. 農林水産業費 (項) 3. 水産業費 (目) 4. 漁港建設費

(単位 千円)

予算現額 60,527 千円
 決算額 60,526 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
40,350				20,176

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 漁業用施設整備事業(防衛)	60,526	漁港内の航路において、漁船の安全航行・航行時間の短縮を図るため、浚渫工事を行った。 ・豊北漁港航路浚渫航路浚渫工事 20,700m ³	155

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 1. 商工総務費

(単位 千円)

予算現額 84,124 千円
 決算額 83,748 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,629			79,119

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消費生活センター運営事業	8,481	架空請求や悪質商法、多重債務など消費生活にまつわるトラブルについて、専門相談員による相談を行った。また、被害を未然に防ぐため、紙芝居を活用し、高齢者クラブを中心にわかりやすい出前講座を20回実施したほか、子どもの頃からの消費者教育の重要性を認識し、小学校1校、放課後児童クラブ2クラブで出前授業を実施した。また、伊勢市消費生活センターの周知のため市内の2つのイベントにブース出展した。 消費生活相談件数764件	155

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 2. 商工業振興費

(単位 千円)

予算現額 60,327 千円
 決算額 51,791 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				51,791

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小規模事業資金保証料補給補助金	5,603	伊勢商工会議所または平成19年以降に小俣町商工会の斡旋により三重県信用保証協会の保証を得て小規模事業資金または小規模借換資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。 (補助件数：190件)	155
2. 中小企業経営力強化資金利子補給補助金	246	中小企業・小規模企業の事業発展を促し、地域経済の活性化を図るため、新規開業及び異分野の中小企業と連携した新事業分野の開拓や第二創業などを行う中小企業・小規模企業が、日本政策金融公庫(国民生活事業)の中小企業経営力強化資金の融資を受けた場合に、その融資にかかる利息の一部の補給補助を行った。(補助件数：6件)	155
3. 経営改善普及事業	18,672	地域経済を支える中小企業・小規模企業の経営改善及び経営基盤の強化を支援するため、また、中小企業等への相談や指導の充実化を図るため、伊勢中小企業相談所(伊勢商工会議所内)及び小俣町商工会が行う経営指導事業や専門家派遣事業等に要する経費に対して補助金を交付し、中小企業の振興に寄与した。 経営改善普及事業補助金 補助件数 2件 専門家派遣事業補助金 補助件数 2件	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 商店街等振興対策事業	7,124	<p>地域のコミュニティの担い手としての役割が期待されている中心市街地商店街等の活性化を図るために、商店街空店舗対策事業、商店街活性化対策事業、商店街PR支援事業、商店街LED化支援事業を実施した。</p> <p>(1) 商店街空店舗対策事業 補助件数 5件 中心市街地商店街の空店舗の解消を図るため、伊勢まちづくり株式会社が実施する空店舗対策事業に補助金を交付した。</p> <p>(2) 商店街活性化対策事業 補助件数 2件 中心市街地商店街等の集客力及び機能回復を図るために、伊勢商工会議所が実施する商業まちづくり補助金事業に対して補助金を交付した。</p> <p>(3) 商店街PR支援事業 補助件数 1件 商店街の空店舗の解消や活性化を図るため、伊勢まちづくり株式会社が行う商店街の広報に対して補助金を交付した。</p> <p>(4) 商店街LED化支援事業 補助件数 2件 商店街の街路灯等のLED化を促進し、環境に配慮した商店街づくりや商店街の活性化を図るため、商店街が行う街路灯等のLED化に係る費用の一部に対して補助金を交付した。</p>	157
5. 住宅・店舗リフォーム等促進事業補助金	11,645	<p>市内住宅関連産業の振興を促し、地域経済の活性化を図るために、住宅や店舗のリフォーム等を行う者に対し、補助金を交付した。(補助件数：120件)</p>	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>6. <u>地域産品販売促進事業</u></p>	<p>4,951</p>	<p>伊勢の食材や特産品など地域資源の販路拡大や全国における認知度の向上を図るため、首都圏や大都市圏において、物産展や食材のPRを行った。</p> <p>地域経済、地域産業の活性化を目的に、伊勢市内の方々に伊勢市の企業が持つ優れた技術や商品、物産等の地域資源の情報を発信し、伊勢の産業を楽しみながら知っていただけの「伊勢市産業フェア」を実施した。</p> <p>また、伊勢市内の中小企業者の販路拡大及び新規需要開拓を促進するため、商談会や見本市等に出展する中小企業者に対して補助金を交付した。</p> <p>平成27年度実績 4,951千円</p> <p>○物産展・食材PR 計11回</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産展 東京2回 神奈川1回 大阪1回 ・食材PR 東京1回 奈良1回 大阪1回 福岡1回 ・県内物産展等 3回 <p>○産業振興展開催負担金 支出2,993,724円</p> <p>○商談会等出展支援事業補助金 補助件数7件</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 5,748,000円</p> <p>補正額 -315,000円</p> <p>物産展5回、食材PR5回</p> <p>産業振興展開催負担金 3,000千円</p> <p>商談会等出展支援事業補助金 100,000円×5団体</p> <p>【過去2年間の実績】</p> <p>平成26年度実績 1,127千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産展・食材PR 東京4回 大阪2回 福岡1回 県内2回 計9回 ・商談会等出展支援事業補助金 補助件数3件 <p>平成25年度実績 1,663千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産展・食材PR 東京3回 神奈川1回 大阪3回 県内2回 計9回 <p>【事業を取り巻く状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産展や食材PRは予定より回数は増えたが、他団体が主催する物産展や食材PRにおいて、会場使用料などの支出額が当初の計画より少なくなった。 ・商談会等出展支援事業補助金交付事業は平成26年度から開始したが、事業開始2年目は交付件数が増えており、申請件数の増加が見込まれる。 	<p>157</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
7. 商業活性化推進事業	3,550	<p>伊勢市内の商業振興を図るため、地域住民や観光客のニーズに応えた商業環境の整備やにぎわいの創出に新たに取り組む商業団体等に対して事業費の一部を補助する商業魅力アップ支援事業補助金を実施した。 補助件数 5件</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 7,900,000円 商業魅力アップ支援事業補助金 補助率2/3 補助上限額 350,000円又は500,000円又は1,000,000円 補助件数 12件</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 8,810,154円 (1) 商業活性化推進事業 6件 4,068,000円 (2) 商店街空店舗対策事業 3件 673,200円 (3) 商店街活性化対策事業 4件 973,954円 (4) 商店街PR支援事業 1件 654,000円 (5) 商店街LED化支援事業 3件 2,441,000円 (1)～(5)のうち(2)～(5)については、平成27年度における商店街等振興対策事業。</p> <p>平成25年度 5,960,250円 (1) 商業活性化推進事業 6件 3,538,000円 (2) 商店街空店舗対策事業 6件 706,250円 (3) 商店街活性化対策事業 4件 916,000円 (4) 商店街支援事業 1件 800,000円 (1)～(4)のうち(2)～(4)については、平成27年度における商店街等振興対策事業。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・当初予算時計画から事業実施に際して、補助対象事業及び補助上限額の精査を行い変更した。 ・商業団体が自主性をもって創出し継続して行う事業に対して支援することは、地域の個性を活かした商業の活性化に繋がると考えられる。 ・より多くの商業団体に活用されるよう補助制度のさらなる周知が必要。</p>	157

(款) 7. 商工費 (項) 1. 商工費 (目) 3. 産業支援推進費

(単位 千円)

予算現額 119,143 千円
 決算額 112,127 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			13,882	98,245

商工労政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. ものづくり推進事業	4,159	<p>中小製造業者等が行う新製品・新技術の研究開発に対し、「新産業創出支援事業補助金」を、伝統工芸品産業の再生と後継者育成に繋がる事業に対し、「伝統工芸品等再生支援事業補助金」を交付した。</p> <p>また、三重県信用保証協会の保証を得て創業・再挑戦アシスト資金の融資を受けた事業者に対し、その返済状況に応じて融資に係る保証料の補助を行った。(補助件数:44件)</p> <p>平成27年度から地域経済の活性化と雇用の場の創出に資するため、伊勢市創業支援事業計画に基づき、創業支援事業者が実施する事業の経費を一部補助し、創業環境を整え創業支援体制の強化を図った。(補助件数:1件 伊勢商工会議所)</p>	157
2. 企業立地推進一般経費	3,990	<p>企業誘致用地の維持管理、及び企業誘致のための担当者の資質向上に努めた。</p>	157
3. 企業立地推進事業	18,370	<p>産業の振興、雇用の創出を図るべく、企業立地に向け、誘致活動や、市内企業への情報収集、企業立地用地の整備などを実施した。</p>	157
4. 工場等誘致奨励事業	23,060	<p>「伊勢市工場等立地促進条例」に基づき、奨励金を交付した。</p> <p>奨励金実績 23,060,400円(6件)</p>	157
5. 産業支援センター管理運営経費	46,171	<p>平成24年度から、専門性を向上させ効率的・効果的に業務を進めるため、指定管理制度を導入した。指定管理者(伊勢商工会議所)は施設の管理運営と企業訪問による課題の聴き取り及び解決、起業家育成、各種講習会の開催などに取り組んだ。</p>	157

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 1. 観光総務費

(単位 千円)

予算現額 269,451 千円
 決算額 261,421 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	421		2,195	258,805

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 海水浴場管理運営 事業	5,935	<p>二見浦海水浴場の施設維持管理及び開設に伴う管理委託等を行った。</p> <p>◆決算額</p> <p>○委託料(全体) 4,479千円 ・管理運営委託 3,425千円 ・防護フェンス設置委託等 808千円 ・清掃等その他委託料 246千円</p> <p>○工事請負費(フェンス設置) 1,193千円 ○その他諸経費(光熱水費等) 263千円 ○開設期間 平成27年7月11日～8月31日 ○延べ来場者数 H27 11,430人</p>	157
2. バリアフリー観光 向上事業	2,309	<p>伊勢神宮内宮の車椅子参拝を継続してサポートできる仕組みの確立を行うため必要となる経費の負担を行った。</p> <p>◆車椅子参拝サポート事業化負担金 2,030千円 ・事務費(人件費・交通費・消耗品費) 1,278千円</p> <p>・通信運搬費(電話代) 24千円 ・委託費(ユニフォーム作成委託費、ロゴデザイン費) 688千円 ・印刷、製本費(HP作成費) 40千円</p> <p>平成26年度に立ち上げたバリアフリー情報ページに掲載されている店舗情報を更新するとともに、WEB上で快適に伊勢市内のバリアフリー情報を得られるようシステムの改修にかかった経費の一部を負担した。</p> <p>◆伊勢市バリアフリー観光情報発信年間更新 実施業務負担金 279千円</p>	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>おもてなし推進事業</u>	3,515	<p>(旧観光事業課分) 観光客のスムーズな誘導を目的とした案内サイン整備、おもてなし研修会等を行った。</p> <p>決算額 3,163千円 (4事業)</p> <p>◆主な事業の決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内サイン整備事業 1,274千円 ・観光人材育成事業 330千円 ・キャラクターおもてなし事業 354千円 ・観光協会青年部事業 1,205千円 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内サイン整備事業 2,600千円 ・観光人材育成事業 974千円 ・キャラクターおもてなし事業 1,575千円 ・おもてなし用備品 200千円 ・おもてなし多言語化促進事業 2,600千円 ・観光協会青年部事業 1,611千円 ・外宮参道行灯改修事業 6,000千円 ・「伊勢っ子」育て事業 1,201千円 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成26年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・案内サイン整備事業 19,885千円 ・奉祝団体歓迎事業 5,856千円 ・観光人材育成事業 368千円 ・キャラクターおもてなし事業 466千円 ・デジタル情報発信事業 260千円 ・おもてなし多言語化促進事業 2,715千円 <p>平成25年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・車椅子貸出事業 287千円 ・案内サイン整備事業 39,692千円 ・奉祝団体歓迎事業 1,462千円 ・観光人材育成事業 143千円 ・キャラクターおもてなし事業 2,259千円 ・デジタルサイネージ導入事業 2,825千円 ・市駅前広場おもてなし用備品 918千円 ・おもてなし多言語化促進事業 3,833千円 ・観光協会青年部事業 1,160千円 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>全国菓子博覧会、東京オリンピックなどが予定されており、多くの方を伊勢へお出迎えできるよう、インバウンド及びバリアフリー環境を整備することが急務となっている。</p> <p>(旧観光企画課分) 地域愛を醸成しおもてなし力向上につなげるため、おかげ参り推進会議（伊勢商工会議所）と協働でフォーラムを実施した。</p> <p>決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業負担金 352千円 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>当初予算額 700千円 開催回数 2回 参加者 各回100名程度</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成26年度 事業負担金 600千円</p> <p>※平成26年度からの新規事業であるため、平成25年度の実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>遷宮を機に市民の間で伊勢の歴史文化への興味が高まっている。</p>	157

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 案内ガイド連携事業	320	「案内人の質の向上」「情報共有」「一体感の醸成」を目的とした市内の観光案内ガイド団体の連絡協議会として立ち上げた「伊勢たびナビの会」を通し、全体の質の向上をめざすことを目的としている。 市内の受入体制の充実を図るために、市内周遊マップの作成を行った。 ◆決算額 負担金 320千円	159
5. 災害に強い観光地づくり事業	903	発生が危惧されている南海トラフの巨大地震等の災害から観光客の生命を守るために緊急時に避難場所まで誘導する環境を整備し、おもてなしと安心・安全の観光地となるために二見町荘地内に避難場所誘導看板を設置した。 ◆決算額 ・工事請負費 903千円 (設置基数 3基)	159
6. 外国人観光客受入強化事業	2,869	今後増加が予想される外国人観光客について、観光案内所を中心に、受け入れ環境を整えた。 ◆決算額 ・賞賜金 5千円 ・消耗品費 8千円 ・修繕料 99千円 ・委託料 2,660千円 ・庁用器具購入費 97千円 ※サミットインフォメーション誘導看板整備費用として、1,200千円を次年度に繰り越し。	159
7. 案内所管理運営経費	30,256	外宮前・伊勢市駅・宇治山田駅・宇治浦田・二見浦観光案内所で観光客の案内を行った。(公社)伊勢市観光協会に案内業務を委託。 また、JR伊勢市駅横の手荷物預かり所にて、荷物の一時預かりや宿泊施設等への配送サービスを行った。 ◆決算額 ・消耗品費 2千円 ・光熱水費 1,750千円 ・修繕費 294千円 ・通信運搬費 848千円 ・保険料 22千円 ・委託料 25,278千円 ・賃借料 1,411千円 ・工事請負費 497千円 ・庁用器具購入費 154千円	159
8. 観光協会負担金	5,688	(公社)伊勢市観光協会の財政基盤を安定させ、独自の事業推進ができるよう、財政支援を行った。 ◆決算額 負担金 5,688千円	159

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
9. 観光振興基本計画 推進事業	4,320	観光客実態調査を実施し、伊勢市の観光の実態を把握した。また、その調査結果等に基づき観光振興基本計画の推進状況について振り返りを行った。 ◆決算額 ・観光客実態調査 4,320千円	159
10. 旅客受入基盤整備 事業	21,100	観光客の市内周遊の向上、公共交通機関の利用促進などの課題を解消するため、三重交通株式会社と協働で、市内観光周遊バス「参宮バス」(外宮～夫婦岩ルート、スカイラインルート)の運行を行った。 ◆決算額 負担金 21,100千円	159

二見総合支所 生活福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 賓日館管理運営事業	9,927	国指定重要文化財である賓日館の運営及び維持管理を、「NPO法人 二見浦・賓日館の会」を指定管理者とすることで、地域の雇用を創出するとともに、随時イベント等を開催し、文化水準及びまちづくり意識の向上を図り、より多くの集客に繋げた。また、施設の適正な管理を行い、維持向上に努めた。 ○入館者数 H27年度 30,082人 ・火災保険料 60千円 ・指定管理委託料 7,300千円 ・AED・駐車場用地賃借料 1,660千円 ・賓日館展示室空調設備改修工事 907千円	157

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 2. 旅客誘致費

(単位 千円)

予算現額 234,382 千円
 決算額 196,712 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	756		150	195,806

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光客受入環境創 出事業	4,898	<p>観光客誘致を広域的かつ効果的・効率的に行うため、近隣市町及び県内外の関係機関との連携を強化し、観光客の受入体制・事業の充実を行った。</p> <p>◆決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 美し国三重「寄せ植え」コンテスト 980千円 ・ (公社)伊勢市観光協会と協働事業 春まつり、観光交流・伊勢会議、御幣鯛行事、 年末年始の観光客受入等の実施など 3,918千円 	159
2. 花火大会開催負担 金	48,000	<p>伊勢神宮奉納全国花火大会委員会へ参画し、事務局として準備等を行い、大会を実施した。</p> <p>本大会は日本三大競技花火大会として45業者の花火師が参加。打上花火の部45組、スターマインの部10組の2部門で競われ、また伊勢市制施行10周年を記念して開催し、約10,000発を打ち上げ、約23万人が観覧した。</p>	159

観光誘客課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光情報発信事業	82,299	<p>誘客宣伝を目的に、パンフレット・ホームページ等を活用した情報発信を行い、来訪者の新規開拓、リピータの確保を図った。</p> <p>また、公共交通機関とのタイアップによる誘客キャンペーンや、東西巨大ドーム球場でのPR等を実施した。</p> <p>※平成27年度から御遷宮誘客宣伝事業を観光情報発信事業に集約</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 117,388,000円 ・各種広告事業（雑誌・テレビ等） ・パンフレット・ホームページ等での情報発信 ・タイアップキャンペーン、協働PR等</p> <p>【平成27年度の実績】 ・デジタルメディアを活用したタクシー車内等での広告 ・放送メディアを活用した情報発信 ・駅貼ポスター等での誘客宣伝および公共交通利用促進 ・インターネットを活用した情報発信 アクセス数 1,730,562件 ・パンフレット等作成による情報発信並びに誘客活動 パンフレット発送件数 1,780件 ・重点遠隔地と関係団体との協働によるPRキャラバン ・外宮周辺魅力創出・発信事業 ・御饌井の会PR事業 ・朝熊ヶ岳参詣マップ事業 マップ作成部数 30,000部 ・フェイスブックページ運用事業</p> <p>【過去2カ年度の実績】 ・平成26年度 55,564,356円 ・平成25年度 59,931,876円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・国の消費喚起型交付金、先行型交付金事業の実施を受け、当初事業で予定していたものを交付金事業に移行して実施したものがあつた。 ・今後の方向性として、広報媒体をアナログからデジタルへの移行を検討する時期となっている。</p>	159
2. ターゲットینگ戦略推進事業	3,780	<p>㈱観光販売システムズに業務委託する形で、伊勢の観光資源を活用した旅行商品の開発等、伊勢への誘客を積極的に推進した。</p>	159
3. 伊勢志摩広域観光活性化事業	13,789	<p>伊勢志摩観光の誘客宣伝・地域づくり活動のために、伊勢志摩観光振興プランの推進及び伊勢志摩キャンペーン事業等を実施した。</p>	159

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>4. 外国人観光客誘致 推進事業</p>	<p>8,993</p>	<p>経済の成長力と来日規模から注目される中国・東アジア・東南アジアからの誘客について、協議会等を通じて他地域と連携しつつ、伊勢市の文化に興味のある欧米諸国などについては、市単独で伊勢の知名度向上を目指した情報発信に取り組んだ。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 11,066,000円 ・広域連携協議会等協働事業 ・外国人短期留学生招聘及び情報発信事業 ・海外PR事業 ・マップ情報発信事業 等</p> <p>【平成27年度の実績】 ・東海地区外国人観光客誘致促進協議会へ参画、三重県の台湾PRに参画。 ・伊勢志摩地域・鳥羽市外国人観光客誘致促進協議会へ参画、伊勢志摩地域でビジットジャパン事業の実施。 ・イギリス情報発信事業の調査・調整。 ・外客誘客調査事業にて日系人社会への情報発信の可能性調査。 ・外国人短期留学生招聘及び情報発信事業にて、伊勢の学習と発信を促進。 ・長期滞在外国人観光客向けマップ作成事業にて、大阪、京都に長期滞在する外国人観光客の日帰り伊勢旅行用マップ作成、外国人案内所への配布。 マップ作成部数 10,000部</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 ・平成26年度 10,376,290円 ・平成25年度 10,887,010円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・国をあげてインバウンドと地方創生に取り組む中で、インバウンドの切り口でも地方創生を推進する必要がある。 ・受入環境整備と誘客促進を両輪で進める必要がある。</p>	<p>159</p>
<p>5. スポーツ誘客推進 事業</p>	<p>24,859</p>	<p>伊勢フットボールヴィレッジを全国的にPRし、市外からの利用者及びリピータを確保するための業務委託及び、市内にあるスポーツ施設を利用した大会・合宿・イベント等の開催に補助金を交付し、スポーツ観光誘客を行った。</p>	<p>159</p>

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 3. 伝統文化推進費

(単位 千円)

予算現額 5,000 千円
 決算額 5,000 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				5,000

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 伊勢のまつりブランド化推進事業	5,000	<p>日本全国の有名な祭り21団体約600名による響演「祭のまつり」が、10月15日に外宮周辺にて開催され、14日のサンアリーナにおける前夜祭もあわせて、多数の観客が訪れた。</p> <p>【期間中(10/14、15)の観客数】 (延べ)98,000人</p>	159

(款) 8. 観光費 (項) 1. 観光費 (目) 4. 伝統文化継承費

(単位 千円)

予算現額 87,891 千円
 決算額 87,890 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			1,200	86,690

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 民俗伝統行事継承事業	87,890	<p>「お木曳行事」、「お白石持行事」の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信を行うため、誘客PR(参宮ガイドブック「JAPANESE」の発刊)、ホームページ運営管理、基本構想策定などの事業を実施した。</p> <p>初穂曳が10月15日は外宮、16日は内宮で実施された。</p> <p>また、伊勢市民俗伝統行事継承事業基金を積み立てた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民俗伝統行事推進事業負担金 11,000千円 ・初穂曳実施負担金 400千円 ・伊勢市民俗伝統行事継承基金 76,490千円 (平成27年度21,200千円、第62回の残金55,290千円) <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 87,891千円 お木曳行事、お白石持行事の保存継承及び神宮を核とした伊勢の情報発信事業</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成26年度 21,299,000円 別宮お白石持行事実施に係る各種調整、運営や広報事業。初穂曳に対する支援。 平成25年度 185,270,000円 お白石持行事の運営、御遷宮対策委員会の運営支援、臨時の駐車場対策。初穂曳に対する支援。</p> <p>【事業を取りまく状況等】 第63回神宮式年遷宮、さらに将来を見据える中で、民俗伝統行事の保存継承や神宮を核とした誘客PRを継続して実施する。</p>	159

(款) 9. 土木費 (項) 1. 土木管理費 (目) 1. 土木総務費

(単位 千円)

予算現額 308,017 千円
 決算額 302,150 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,779			282,371

用地課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地籍調査推進事業	36,059	国土調査法に基づく地籍調査について、調査区域を定め、調査区域内の地籍（地番・所有者・地積・地目・境界）の整備に努めた。 (概要) 地籍調査業務 一式 8件 ○調査区域 ①八日市場町・宮町1丁目 調査面積 0.07 k m ² ②東豊浜町・檜原町 調査面積 0.18 k m ² ③吹上1、2丁目 調査面積 0.14 k m ² ④八日市場町・宮町1丁目(その2) 調査面積 0.07 k m ² ⑤東豊浜町・檜原町(その2) 調査面積 0.18 k m ² ⑥東豊浜町 調査面積 0.18 k m ² ⑦宮町1丁目・大世古1丁目・曾祢1丁目 一之木1丁目・常磐2、3丁目・浦口2、3丁目 調査面積 0.13 k m ² ⑧有滝町 調査面積 0.16 k m ² システム保守業務 一式 1件 旧小俣町地籍調査成果デジタル化業務 一式 1件	161

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 1. 道路橋梁総務費

(単位 千円)

予算現額 194,662 千円
 決算額 190,646 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
812				189,834

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	22,049	適切な道路管理を行うため、道路の拡幅及び道路用地の寄付採納を行った。また、道路事業等に伴う市道の認定、改良等に基づき、道路台帳の修正業務を行った。 (概要) ・道路台帳修正 新規認定 1. 3 km 廃止及び未供用 0. 1 km 改良 6. 0 km	161

用 地 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路管理経費	1,654	<p>狭あい道路の解消を図るため、建築行為等に際して、道路後退用地の寄附採納を行い、安心安全で快適なまちづくりを進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>公共用地の取得(寄附) 6件</p> <p>○後退用地等に係る報償金 申請者数 3名 筆数 3筆 面積 38.12㎡ 金額 830,377円</p> <p>○後退用地等に係る助成金 申請者数 7名 筆数 7筆 面積 105.78㎡ 金額 823,400円</p>	161

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 2. 道路維持費

(単位 千円)

予算現額 579,117 千円
 決算額 414,878 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
60,580		45,000	440	308,858

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 道路舗装事業	150,228	<p>道路路面の舗装が荒廃し、通行に支障がある箇所の舗装整備を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成27年度現年分 調査業務 一式 1件 道路舗装 A=13,507㎡ 6件</p> <p>②平成28年度へ一部繰越 道路舗装 A=18,070㎡ 2件</p>	163
2. 道路舗装事業(防災交付金)	9,298	<p>市街地と南部地域を結び、災害時の緊急避難路及び連絡道路として位置付けられる宮本1号線において、路床改良及び舗装整備を行うことで道路機能の回復を図った。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成26年度から繰越 道路舗装 A=389㎡ 1件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p>	163

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>道路維持補修経費</u> <u>(防災・安全交付金)</u>	118,439	<p>道路交通の安全性を確保する上で、これまで破損してから修繕するという事後的な対応から計画的かつ予防的な対応に転換するため、主要な道路の設計業務及び修繕工事を行った。トンネルについては修繕工事を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>詳細設計業務 一式 1件 トンネル修繕 一式 1件 道路舗装 A=3,797㎡ 4件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 150,000,000円 詳細設計業務 一式 地質調査業務 一式 道路舗装 A=4,400㎡ トンネル修繕 一式</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 80,652,240円 補修設計業務 一式 1件 調査業務 一式 1件 点検業務 一式 2件 トンネル修繕 一式 1件 平成25年度 7,843,500円 調査業務及び修繕計画策定業務 一式</p> <p>【事業を取りまく状況等】 道路交通の安全性を確保する上で、これまでの破損してから修繕するという事後的な対応から、計画的かつ予防的な対応に転換し、安全・安心に通行できる道路管理を行っていく必要がある。</p>	163

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 3. 道路新設改良費

(単位 千円)

予算現額 712,042 千円
決算額 570,545 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
8,190	451	420,000		141,904

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 庄3号線道路改良 事業	4,061	<p>三重県による宇治山田港海岸今一色工区の事業着手に伴い、工事期間中は海岸の工事用道路としても利用する目的で、市道庄3号線を市と県の費用負担により整備する。今年度は工事に関する伊勢市分の負担を行った。</p> <p>(概要)</p> <p>道路整備及び道路改良にかかる工事費負担 一式</p>	163

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																													
1. 道路改良事業	115,359	<p>市単独事業による道路拡幅整備等により道路機能の改善を行い、生活環境基盤の整備を進めている。 (概要)</p> <p>①平成27年度現年分</p> <table border="0"> <tr><td>測量業務</td><td>一式</td><td>4件</td></tr> <tr><td>除草業務</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> <tr><td>測量設計業務</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> <tr><td>建物調査再算定業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>予備設計業務・検討業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>境界杭設置業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路改良</td><td>L = 95m</td><td>4件</td></tr> <tr><td>道路舗装</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>用地</td><td>A = 1,168.97㎡</td><td></td></tr> <tr><td>補償</td><td>4名(延べ人数)</td><td></td></tr> </table> <p>②平成28年度へ一部繰越</p> <table border="0"> <tr><td>人道ボックス修繕</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路舗装</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路改修</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> </table> <p>③平成28年度へ繰越</p> <table border="0"> <tr><td>詳細設計業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>道路施設整備</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> </table>	測量業務	一式	4件	除草業務	一式	2件	測量設計業務	一式	2件	建物調査再算定業務	一式	1件	予備設計業務・検討業務	一式	1件	境界杭設置業務	一式	1件	道路改良	L = 95m	4件	道路舗装	一式	1件	用地	A = 1,168.97㎡		補償	4名(延べ人数)		人道ボックス修繕	一式	1件	道路舗装	一式	1件	道路改修	一式	1件	詳細設計業務	一式	1件	道路施設整備	一式	2件	163
測量業務	一式	4件																																														
除草業務	一式	2件																																														
測量設計業務	一式	2件																																														
建物調査再算定業務	一式	1件																																														
予備設計業務・検討業務	一式	1件																																														
境界杭設置業務	一式	1件																																														
道路改良	L = 95m	4件																																														
道路舗装	一式	1件																																														
用地	A = 1,168.97㎡																																															
補償	4名(延べ人数)																																															
人道ボックス修繕	一式	1件																																														
道路舗装	一式	1件																																														
道路改修	一式	1件																																														
詳細設計業務	一式	1件																																														
道路施設整備	一式	2件																																														

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁						
1. 道路側溝等改良事業	451,125	<p>市民生活に密接した道路側溝等の整備を行うことにより、道路機能の改善、生活環境基盤の整備を図った。 (概要)</p> <table border="0"> <tr><td>測量設計業務等</td><td>一式</td><td>16件</td></tr> <tr><td>道路改良</td><td>L = 6,235m</td><td>32件</td></tr> </table>	測量設計業務等	一式	16件	道路改良	L = 6,235m	32件	163
測量設計業務等	一式	16件							
道路改良	L = 6,235m	32件							

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 4. 橋梁維持費

(単位 千円)

予算現額 166,056 千円
 決算額 160,027 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
75,205	6,864	54,100	136	23,722

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁			
1. 禊橋橋梁整備事業	85,302	<p>名勝二見浦に位置する禊橋は、老朽化が著しくその対策が必要となることから、名勝地の形状変更に必要な文化庁長官の許可を得て名勝地にふさわしい景観を生み出すとともに安全な橋梁を整備した。 (概要)</p> <table border="0"> <tr><td>橋梁整備</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> </table>	橋梁整備	一式	1件	163
橋梁整備	一式	1件				

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 橋梁長寿命化事業 (防災・安全交付金)	68,645	橋梁施設の重点的、効率的な維持管理や更新投資を行っていくため、橋梁長寿命化計画に基づき、施設の長寿命化を図っている。 本年度は、詳細設計、定期点検及び4橋の修繕を行った。 (概要) 詳細設計業務 一式 1件 点検業務 一式 1件 橋梁補修 一式 4件 ◇社会資本整備総合交付金事業	163

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 5. 交通安全施設費

(単位 千円)

予算現額 48,853 千円
決算額 47,651 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				47,651

維 持 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 交通安全施設整備事業	17,356	交通安全施設を新たに設置し、交通事故防止、交通安全環境の確保を図った。 (概要) 道路反射鏡設置及び防護柵設置等 一式	163

(款) 9. 土木費 (項) 2. 道路橋梁費 (目) 6. 道路整備事業費

(単位 千円)

予算現額 52,059 千円
決算額 49,533 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
11,301		35,800		2,432

基 盤 整 備 課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中村楠部17-1号線整備事業(交付金)	12,956	当該地域は来訪者交通による渋滞が深刻であり、早急な対応が必要である。このことから、地域住民や来訪者交通の円滑化を図るとともに、災害時における避難ルートを確保するため、本路線の事業を推進している。 (概要) 調査業務 一式 1件 境界杭設置業務 一式 1件 用地 A=340.82㎡ 補償 6名(延べ人数) ◇社会資本整備総合交付金事業	165

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁									
2. <u>一之木5丁目16号線整備事業(交付金)</u>	26,741	<p>当該地域は、道路網が未整備な上、伊勢赤十字病院や商業施設への交通によって、慢性的な渋滞が発生し、一般車両のみならず救急車両のアクセスも悪い状況である。このことから、来訪者や救急車両の交通の円滑化を図り、快適かつ安全安心なまちづくりを行うため、本路線の事業を推進している。</p> <p>(概要)</p> <table border="0"> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>詳細設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>地質調査業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【当初予算における内容・計画】</p> <p>当初予算額 26,800,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 一式 ・詳細設計業務 一式 ・地質調査業務 一式 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成26年度 実績なし 平成25年度 実績なし</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国からの予算が要望どおり配分されず財源の確保が厳しい状況にある。 ・平成28年度から用地交渉に着手し、地域住民や関係機関と調整を図りながら事業を進めていく。 	測量業務	一式	1件	詳細設計業務	一式	1件	地質調査業務	一式	1件	165
測量業務	一式	1件										
詳細設計業務	一式	1件										
地質調査業務	一式	1件										

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>通学路整備事業</u>	9,836	<p> 小学校の通学路における緊急合同点検での要対策箇所をはじめ、通学路の対策を重点的に実施することで危険箇所の解消を図り、安全安心な歩行者空間を確保するため、事業を推進している。 (概要) 用地 $A = 58.48 \text{ m}^2$ 補償 1名(延べ人数) ◇社会資本整備総合交付金事業 【当初予算における内容・計画】 当初予算額 19,467,000円 ・測量業務 一式 ・建物調査再算定業務 一式 ・道路改良 一式 ・用地 一式 ・補償 一式 【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 21,589,968円 建物調査業務 一式 1件 測量業務 一式 1件 道路改良 $L = 103 \text{ m}$ 1件 用地 $A = 248.94 \text{ m}^2$ 補償 3名(延べ人数) 平成25年度 43,615,617円 建物調査業務 一式 1件 測量業務・設計業務 一式 1件 道路改良 $L = 46 \text{ m}$ 1件 砂利敷設 $A = 80 \text{ m}^2$ 1件 用地 $A = 161.64 \text{ m}^2$ 補償 5名(延べ人数) 【事業を取りまく状況等】 ・学校関係者、警察、道路管理者などで伊勢市通学路交通安全推進協議会を設置し、通学路の安全対策に取り組んでいる。 ・国からの予算が要望どおり配分されず財源の確保が厳しい状況にあり、計画通り事業を進捗させることが困難である。 </p>	165

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 3. 河川改良費

(単位 千円)

予算現額 165,602 千円
 決算額 99,673 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				99,673

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 河川改良事業	99,673	流下断面の不足や護岸、河床の浸食等により人家等への災害発生が危惧される河川において、河川拡幅や護岸改良を行い、浸水被害や災害の防止対策を進めている。 (概要) ①平成27年度現年分 河川改良 L=387m 3件 補償 2名(延べ人数) ②平成28年度へ一部繰越 河川改良 L=68m 1件	165

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 4. 排水路維持費

(単位 千円)

予算現額 131,092 千円
 決算額 122,033 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				122,033

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>排水機場維持管理経費(ポンプ場機能更新)</u>	20,174	都市ポンプ場の機能診断結果に基づき長期補修計画を作成した。この計画に基づき都市ポンプ場の予防保全及び機能更新を行うことで、効率的かつ効果的なポンプ場の運用ができる。 (概要) 長期補修計画作成業務 一式 1件 (ポンプ場 7機場、ポンプ施設 24施設) 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 24,000,000円 長期補修計画作成業務 一式 【過去2ヵ年度の実績】 平成27年度新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・設備の老朽化に伴う更新費用の増大への懸念に対し、長期補修計画を作成し、施設の延命化を行うことによりライフサイクルコストの削減を図る。 ・計画的な維持管理を行い、事後保全方式から予防保全方式に切り替えることにより、地域の治水に対する安全性、信頼性の確保を行っていく。 ・平成25・26年度にポンプ場機能診断を行った。	165

(款) 9. 土木費 (項) 3. 河川費 (目) 5. 排水路整備費

(単位 千円)

予算現額 313,998 千円
 決算額 211,325 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		195,100	6,142	10,083

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁																																																												
1. 排水施設整備事業	211,325	<p>豪雨時の急激な増水等による浸水を防止するため、排水路の整備を進めている。また、自然排水が困難な地域においては、ポンプ場の新設・増設等を行うことで、浸水被害の防止対策を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成27年度現年分</p> <table border="0"> <tr><td>測量設計業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>基本設計業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>測量業務</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> <tr><td>詳細設計業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>詳細設計及び地質調査業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>ポンプ設置工</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>排水路改良</td><td>一式</td><td>2件</td></tr> </table> <p>②平成26年度から繰越</p> <table border="0"> <tr><td>排水路改良</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>工事負担金</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>補償</td><td>3名(延べ人数)</td><td></td></tr> </table> <p>③平成28年度へ一部繰越</p> <table border="0"> <tr><td>排水路改良</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> </table> <p>④平成28年度へ繰越</p> <table border="0"> <tr><td>補償</td><td>1名(延べ人数)</td><td></td></tr> </table> <p>【当初予算における内容・計画】</p> <p>当初予算額 202,200,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改良工事施工委託 一式 ・設計業務等 一式 ・ポンプ設置工 一式 ・排水路改良 一式 ・工事負担金 一式 ・補償 一式 <p>繰越予算額 132,500,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排水路改良 一式 ・工事負担金 一式 ・補償 一式 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成26年度 84,896,640円</p> <table border="0"> <tr><td>基本設計業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>ポンプ設置工</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>排水路改良</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> </table> <p>平成25年度 55,545,556円</p> <table border="0"> <tr><td>・基本設計業務</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>・ゲート設置工</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>・用地</td><td>A = 1,437.89m²</td><td></td></tr> <tr><td>・電気設備工</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> <tr><td>・機械設備工</td><td>一式</td><td>1件</td></tr> </table> <p>(前年度からの繰越を含む)</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年多発している短期集中豪雨によって浸水被害が増加している。これに対応する排水施設の整備には、多大な費用と期間を要するため、段階的な整備など費用対効果を勘案し、事業を推進していく。 	測量設計業務	一式	1件	基本設計業務	一式	1件	測量業務	一式	2件	詳細設計業務	一式	1件	詳細設計及び地質調査業務	一式	1件	ポンプ設置工	一式	1件	排水路改良	一式	2件	排水路改良	一式	1件	工事負担金	一式	1件	補償	3名(延べ人数)		排水路改良	一式	1件	補償	1名(延べ人数)		基本設計業務	一式	1件	ポンプ設置工	一式	1件	排水路改良	一式	1件	・基本設計業務	一式	1件	・ゲート設置工	一式	1件	・用地	A = 1,437.89m ²		・電気設備工	一式	1件	・機械設備工	一式	1件	167
測量設計業務	一式	1件																																																													
基本設計業務	一式	1件																																																													
測量業務	一式	2件																																																													
詳細設計業務	一式	1件																																																													
詳細設計及び地質調査業務	一式	1件																																																													
ポンプ設置工	一式	1件																																																													
排水路改良	一式	2件																																																													
排水路改良	一式	1件																																																													
工事負担金	一式	1件																																																													
補償	3名(延べ人数)																																																														
排水路改良	一式	1件																																																													
補償	1名(延べ人数)																																																														
基本設計業務	一式	1件																																																													
ポンプ設置工	一式	1件																																																													
排水路改良	一式	1件																																																													
・基本設計業務	一式	1件																																																													
・ゲート設置工	一式	1件																																																													
・用地	A = 1,437.89m ²																																																														
・電気設備工	一式	1件																																																													
・機械設備工	一式	1件																																																													

(款) 9. 土木費 (項) 4. 港湾海岸費 (目) 1. 港湾海岸費

(単位 千円)

予算現額 35,460 千円
 決算額 27,027 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,290	16,100	336	6,301

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	17,176	三重県が施行した港湾改修事業に対し、負担を行った。 (宇治山田港【大湊】)	167

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 2. まちづくり推進費

(単位 千円)

予算現額 105,863 千円
 決算額 95,008 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
39,127				55,881

都市計画課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. <u>中心市街地再生事業(交付金)</u>	54,337	<p>急速な人口減少と少子高齢化などの影響により、市街地の低密度化が進み、中心市街地の都市機能が低下している。そのため、多くの人にとって安全で快適に暮らせるまちづくりを実現することで、中心市街地の再生と活性化を図る。</p> <p>平成27年度は、伊勢市駅前地区の市街地再開発事業等を推進するため、A地区(三交百貨店跡地)に対し、優良建築物等整備事業により支援を行い、B地区(ジョイシティ跡地)については、市街地再開発事業推進計画を作成した。また、まちづくり活動推進事業として地域の資源を活かし、中心市街地の賑わいを創出するための市民主体によるまちづくりを進めた。</p> <p>(概要)</p> <p>平成27年度 54,336,830円 (市街地整備交付金) 3,923,640円 まちづくり活動支援事業 一式 3件 事後評価業務 一式 1件 通行量調査業務 一式 1件 (住環境整備交付金) 50,413,190円 計画策定業務 一式 1件 詳細設計業務 一式 1件 補助金 一式 2件</p> <p>◇社会資本整備総合交付金事業 【当初予算における内容、計画】 (市街地整備交付金) 当初予算額 4,600,000円 まちづくり活動支援事業 一式 事後評価業務 一式 (住環境整備交付金) 当初予算額 92,750,000円 計画策定業務 一式 詳細設計業務 一式 補助金 一式</p>	167

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
		<p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成26年度 6,844,723円 (市街地整備交付金) 1,187,683円 まちづくり活動支援事業 一式 3件 (住環境整備交付金) 5,657,040円 計画策定業務 一式 1件 測量業務 一式 1件</p> <p>平成25年度 17,952,645円 (市街地整備交付金) 1,871,445円 まちづくり活動支援事業 一式 2件 調査業務 一式 1件 (住環境整備交付金) 16,081,200円 総合再生基本計画策定業務 一式 1件 調査業務 一式 1件</p> <p>【事業を取りまく状況等】 住環境整備交付金の推進計画策定業務について、民間事業者と密に連携を図りながら業務が進められたこともあり、順調に推進計画を作成することが出来た。 今後も引き続き民間事業者や各関係機関と随時調整を図りながら事業を進めていく。</p>	

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 空家等対策事業	16,740	<p>「空家等対策の推進に関する特別措置法」が平成27年5月26日に完全施行されたことに伴い、市内における空家等の対策を効果的かつ効率的に実施するため、空家等の実態調査を行うとともに、空家等対策の推進に関する特別措置法第11条に基づくデータベースを整理し、地図上に反映させるため、空家等実態調査業務委託を実施した。</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空家実態調査 9,000件 ・データベース作成 一式 	169

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 5. 街路事業費

(単位 千円)

予算現額 218,838 千円
 決算額 169,151 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
65,340		80,000	166	23,645

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 県営事業地元負担金	3,379	三重県が施行した街路整備事業に対し、負担を行った。 (外宮度会橋線【伊勢南島線】)	169

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)	55,102	八日市場高向線ほか1線は、市内の幹線道路として、伊勢市地域防災計画において緊急輸送道路に位置づけるなど、防災機能の強化、都市内交通の円滑化並びに市街地の活性化を目的として整備を進めている。 (概要) 除草業務 一式 1件 設計業務 一式 1件 境界杭設置業務 一式 1件 建物調査再算定業務 一式 1件 事業用地整備工 一式 1件 用地 A = 3.00 m ² ◇社会資本整備総合交付金事業	169
2. 八日市場高向線整備事業(交付金)	79,471	八日市場高向線は、市内の幹線道路として、伊勢市地域防災計画において緊急輸送道路に位置づけるなど、防災機能の強化、都市内交通の円滑化並びに市街地の活性化を目的として整備を行った。 (概要) 道路改良 一式 1件 植栽整備工 一式 1件 用地 A = 106.75 m ² 補償 1名(延べ人数) ◇社会資本整備総合交付金事業	169
3. 本町大湊線改良事業(交付金)	4,981	伊勢市駅と外宮をつなぐ外宮参道と交差する本路線は、電線類が景観を阻害しており、また地震による電柱の倒壊などの被害が懸念される。このため、電線類を地中化することにより、都市景観の向上と災害に強いまちづくりを進めている。 (概要) 詳細設計業務 一式 1件 試掘工 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	169

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁												
4. 高向小俣線調査事業	7,460	<p>現在の宮川橋は、老朽化が著しい状況であるが、橋梁の設置位置の問題から現位置での架替えが困難であるため、代替機能を持つ本路線の整備が必要である。宮川に新たに橋梁を架設し、交通の円滑化及び道路環境改善を図るため整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <table> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>予備設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>地質調査業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>【当初予算における内容・計画】</p> <p>当初予算額 55,500,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 一式 ・予備設計業務 一式 <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <p>平成26年度 13,237,560円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 一式 1件 ・水理解析業務 一式 1件 <p>平成25年度 21,940,800円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・測量業務 一式 2件 ・予備設計業務 一式 1件 ・地質調査業務 一式 1件 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路、橋梁の詳細設計にあたっては、模型実験を行い橋梁の安全性や橋梁の河川への影響について協議するとともに近接するJRとも協議を行い進めていく。 ・大規模な事業である本路線には多大な事業費が必要であるが、国からの予算が要望どおり配分されず財源の確保が厳しい状況である。 	測量業務	一式	1件	予備設計業務	一式	1件	地質調査業務	一式	1件	169			
測量業務	一式	1件													
予備設計業務	一式	1件													
地質調査業務	一式	1件													
5. 五十鈴川駅前広場整備事業	18,758	<p>近鉄五十鈴川駅は、神宮（内宮）の最寄り駅であることから、年間を通して多くの観光客が利用しているとともに、県営陸上競技場や県営サンアリーナなどの公共施設利用者も多く乗降している。しかし、現在の駅前広場は、施設等の老朽化が著しいことから誰もが利用しやすい広場となるよう、再整備を進めている。</p> <p>(概要)</p> <p>①平成27年度現年分</p> <table> <tr> <td>測量業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>詳細設計業務</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>舗装工</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table> <p>②平成28年度～繰越</p> <table> <tr> <td>植栽整備工</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> </table>	測量業務	一式	1件	詳細設計業務	一式	1件	舗装工	一式	1件	植栽整備工	一式	1件	169
測量業務	一式	1件													
詳細設計業務	一式	1件													
舗装工	一式	1件													
植栽整備工	一式	1件													

(款) 9. 土木費 (項) 5. 都市計画費 (目) 6. 公園費

(単位 千円)

予算現額 95,459 千円
 決算額 92,315 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,983		60,600		12,732

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公園整備事業 (防災・安全交付金)	16,997	都市公園における総合的な安全・安心対策事業を計画的に実施し、子供や高齢者をはじめ誰もが安全で安心して利用できる都市公園の整備を進めている。 (概要) 便所改築工 一式 2件 園路整備工 一式 2件 ◇社会資本整備総合交付金事業	171
2. 宮後公園整備事業 (交付金)	13,419	大規模地震に備え、地域においての一次避難場所として利用する公園に便所の整備を行った。 (概要) 設計業務 一式 1件 便所新築工 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	171
3. <u>倉田山公園整備事業 (防災交付金)</u>	38,190	倉田山公園については、防災公園としての防災機能の充実を図るため、大規模災害時における避難場所や災害活動拠点地として活用できるよう整備するとともに、平常時における市民の防災意識の向上を目的とした教養施設や、憩いの場、スポーツレクリエーションの場としての整備を行った。 (概要) 舗装工 一式 1件 植栽整備工 一式 1件 誘導標設置工 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業 【当初予算における内容・計画】 当初予算額 40,189,000円 ・公園整備工 一式 【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 22,832,920円 ①平成25年度から繰越 公園整備工 一式 2件 ②平成25年度から繰越 公園整備工 一式 1件 平成25年度 170,227,250円 ・修正設計業務 一式 1件 ・補償 1名 ・配水本管布設替工事にかかる工事費負担 一式 1件 ・公園整備 一式 5件 (前年度からの繰越及び次年度への繰越を含む) 【事業を取りまく状況等】 ・倉田山公園は防災公園として園路等を整備し充実を図るとともに、新消防本部庁舎及び防災センターを建設した。	171

維持課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公園長寿命化事業 (防災・安全交付金)	23,709	公園施設の安全・安心を確保しつつ、重点的・効率的な維持管理や更新投資を行っていくため、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の長寿命化を図っている。本年度は、6公園の遊具の更新を行った。 (概要) 公園改修工 一式 4件 植栽整備工 一式 1件 ◇社会資本整備総合交付金事業	171

(款) 9. 土木費 (項) 6. 住宅費 (目) 1. 住宅管理費

(単位 千円)

予算現額 178,510 千円
決算額 163,892 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,902			116,750	36,240

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 公営住宅維持管理経費	90,505	平成24年10月より指定管理者による市営住宅の管理を開始し、単身高齢者等の定期巡回や、休日・夜間も含め、迅速な対応が可能となり、入居者サービスの向上に繋がった。また、住宅の調査等も定期的に行い、効率的かつ経済的な管理運営を行った。 指定管理者：FE住宅管理共同企業体 期間：平成24年10月1日～平成29年3月31日 期間全体の 指定管理料：380,776,110円	171
2. 住宅等改修事業	16,523	市営住宅の機能保持と安全性確保のため、下記の工事を実施した。 (概要) 屋外排水管及び排水桝改修 一式 1件 受水槽取替 一式 1件 空家解体等 一式 1件 ・西団地 ・御門団地	171
3. 住宅等整備事業	30,379	平成23年度に策定した「社会資本総合整備計画（地域住宅支援分野）」に基づき、市営住宅の機能改善のため、下記の工事等を実施した。 また、老朽化した市営住宅の入居者に対して、他の市営住宅等への移転交渉を行い、入居者の安全確保に努めた。 (概要) 浄化槽清掃 一式 1件 屋上防水改修等 一式 1件 屋根改修 一式 1件 公共下水道接続 一式 1件 老朽化市営住宅移転促進事業補償費 一式 1件	171

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 1. 常備消防費

(単位 千円)

予算現額 3,471,665 千円
 決算額 3,412,804 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
173,808		1,441,700	435,240	1,362,056

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 応急手当普及啓発事業	1,729	<p>「いつでも・どこでも・誰でも」応急手当が可能となるよう、自動体外式除細動器 (AED) の取り扱いを含めた講習を行い、市民への普及を図った。</p> <p>救命講習に係る消耗品 1,480千円 救命講習用資器材 1組 249千円</p> <p>【実績】 平成27年度救命講習実施回数 142回 受講延人数 4,886人</p>	173
2. 各種資機材購入経費	13,942	<p>救急・救助・警防活動に必要な資機材の充実を図った。</p> <p>軽量消防用ホース 70本 2,684千円 防火外套一式 17組 2,567千円 除染シャワーテント 1式 1,912千円 救命処置対応高度訓練人形 1体 1,815千円ほか</p>	173
3. 消防緊急指令施設更新事業	336,147	<p>消防本部庁舎新設に伴い老朽化した消防緊急指令施設を高機能消防指令センターとして消防救急デジタル無線整備と併せて施行した。</p> <p>施工監理業務委託 ○平成26年度 着手 ○平成27年度 完了 契約額 12,420千円 (平成26・27年度 継続費) うち高機能消防指令センター (Ⅱ型) 整備施工監理業務委託 平成26年度 実績 2,554千円 平成27年度 実績 4,540千円</p> <p>整備工事 ○平成26年度 着工 ○平成27年度 完成 契約額 583,200千円 (平成26・27年度 継続費) うち高機能消防指令センター (Ⅱ型) 整備 平成26年度 実績 63,160千円 平成27年度 実績 331,607千円</p>	173

事業名	決算額	施策の成果	決算書								
4. 消防救急デジタル無線活動波推進事業	108,932	<p>電波法関係審査基準の改正に伴い消防救急無線をデジタル化するため高機能消防指令センター整備と併せて施行した。</p> <p>施工監理業務委託 ○平成26年度 着手 ○平成27年度 完了 契約額 12,420千円 (平成26・27年度 継続費) うち消防救急デジタル無線システム整備施工監理業務委託</p> <table border="0"> <tr> <td>平成26年度 実績</td> <td>1,333千円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度 実績</td> <td>2,369千円</td> </tr> </table> <p>整備工事 ○平成26年度 着工 ○平成27年度 完成 契約額 583,200千円 (平成26・27年度 継続費) うち消防救急デジタル無線システム整備</p> <table border="0"> <tr> <td>平成26年度 実績</td> <td>20,270千円</td> </tr> <tr> <td>平成27年度 実績</td> <td>106,432千円ほか</td> </tr> </table>	平成26年度 実績	1,333千円	平成27年度 実績	2,369千円	平成26年度 実績	20,270千円	平成27年度 実績	106,432千円ほか	頁 173
平成26年度 実績	1,333千円										
平成27年度 実績	2,369千円										
平成26年度 実績	20,270千円										
平成27年度 実績	106,432千円ほか										

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>消防本部庁舎新設事業</u>	1,325,631	<p>老朽化した消防本部庁舎を高台である倉田山防災公園に移転するため伊勢市消防本部新設工事を防災センター新設工事と併せ施行した。 また、庁舎移転に伴う付帯事業を実施した。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,171,812千円 伊勢市消防・防災センター（仮称）新設工事監理業務委託 ○平成26年度 着手 ○平成27年度 完了 契約額 22,123千円 （平成26・27年度 継続費） 平成26年度 実績 4,971千円 平成27年度 実績 9,613千円</p> <p>伊勢市消防・防災センター（仮称）新設工事 ○平成26年度 着工 ○平成27年度 完成 契約額 2,327,076千円 （平成26・27年度 継続費） 平成26年度 実績 341,490千円 平成27年度 実績 1,288,421千円</p> <p>伊勢市消防・防災センター（仮称）電話交換機等導入工事 契約額8,100千円 実績 6,345千円</p> <p>伊勢市消防本部新庁舎への引越等業務委託 実績 1,167千円ほか</p> <p>三重県防災行政無線移設業務委託 契約額（28年度へ繰越） 5,336千円</p> <p>【その他】 事務机や仮眠室用のベッドなどの庁用備品を購入した。 また、完成式及び内覧会などに係る消耗品やパンフレット作成経費、そのほかこの事業を完遂するための様々な経費を支出した。</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成25年度実績 110,664千円 ・消防本部庁舎用地買収 ・耐震性防火水槽設置（平成25年度分） ・開発行為許可申請 ・建築確認申請 ・配水管布設（平成24年度からの繰越） ・新設設計業務委託（平成24年度からの繰越） ・耐震性防火水槽設置（平成24年度からの繰越）ほか</p> <p>平成26年度実績 352,915千円 ・伊勢市消防・防災センター（仮称）新設工事監理業務委託 ・伊勢市消防・防災センター（仮称）新設工事 ・耐震性防火水槽設置（平成25年度からの繰越分） ・その他、委託業務および事務事業</p> <p>【事業を取りまく状況等】 神田久志本町地内より移転したため、消防署の位置条件が変わり消防車、救急車等の出動計画を見直した。 老朽化し手狭であった旧庁舎を新築したため施設、設備が最新のものとなった。今後においては維持管理経費の低減化を図ることが課題となる。</p>	173

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 救急車購入事業	31,761	救急ワークステーション本格稼動にあたり高規格救急自動車1台を購入した。 本署配備 (高規格救急自動車及び高度救命処置用資機材) 28,986千円 消防救急デジタル無線装置及び車両運用端末装置 1式 2,700千円ほか	173

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 2. 非常備消防費

(単位 千円)

予算現額 175,335 千円
決算額 165,373 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		69,700	11,836	83,837

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 各種資機材購入経費	2,166	消防活動の円滑な遂行のため各種資機材を購入した。 消防団車両用急速充電器 49台 1,404千円 消防団用ホース 24本 664千円ほか	173
2. 小型動力ポンプ付積載車購入事業	20,850	消防団車両更新計画に基づき老朽化した小型動力ポンプ付積載車3台を更新した。 小型動力ポンプ付積載車 ・進修分団 配備 ・御菌分団御菌第3班 配備 ・二見分団二見第3班 (山田原) 配備 20,704千円ほか	173
3. 消防救急デジタル無線活動波推進事業	52,890	電波法関係審査基準の改正に伴い消防救急無線をデジタル化するため高機能消防指令センター整備と併せて施行した。 施工監理業務委託 ○平成26年度 着手 ○平成27年度 完了 契約額 12,420千円 (平成26・27年度 継続費) うち消防救急デジタル無線システム整備施工監理業務委託 平成26年度 実績 585千円 平成27年度 実績 1,039千円 整備工事 ○平成26年度 着工 ○平成27年度 完成 契約額 583,200千円 (平成26・27年度 継続費) うち消防救急デジタル無線システム整備 平成26年度 実績 9,880千円 平成27年度 実績 51,851千円	173

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 3. 消防施設費

(単位 千円)

予算現額 53,858 千円
 決算額 49,376 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		10,800	890	37,686

消防総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 消火栓新設負担金	7,355	市内の水道管布設工事に併せ消火栓の不足地域に消火栓を設置し、消防水利の普及を図った。 単口消火栓 9基 6,738千円 単口消火栓 1基(平成26年度からの繰越分) 617千円	175
2. 消防水利施設整備経費	8,398	消火活動を円滑にするため消防水利の明示化を図り、また、老朽化した消防水利の改修を行った。 防火井戸埋設工事 2,371千円 消防水利標識設置工事 1,221千円 消防水利蓋改修工事 2,226千円 消防水利溶着塗装工事 1,491千円ほか	175
3. 消防署庁舎改修経費	2,845	経年により老朽化した各消防署庁舎を機能維持を目的として改修した。 消防署二見出張所外壁塗装改修工事 966千円 消防署小俣分署車庫前スロープ改修工事 1,058千円 消防署西分署水槽設置工事 821千円	175
4. 消防団車庫建替事業	11,637	防災拠点である、消防団車庫を老朽化のため建替えし、消防力の向上を図った。 消防団二見分団二見第1班車庫(松下)解体工事 1,026千円 消防団二見分団二見第1班車庫(松下)新築工事 10,498千円ほか	175

(款) 10. 消防費 (項) 1. 消防費 (目) 5. 災害対策費

(単位 千円)

予算現額 2,255,116 千円
 決算額 1,556,841 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
566,898	22,063	738,300	16,669	212,911

危機管理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書頁
1. 自主防災隊補助事業	21,754	<p>伊勢市自主防災補助金等交付要綱に基づき、自主防災隊及び自治会の行う防災事業・活動に対し補助を行った。</p> <p>自主防災隊訓練助成金 2,850千円 95件 防災補助金 18,904千円 128件</p> <p>【当初予算における内容、計画】</p> <p>自主防災隊訓練助成金 2,700千円 90件 防災補助金 21,828千円 125件 緊急対応分 1,472千円</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年度 <ul style="list-style-type: none"> 自主防災隊訓練助成金 2,460千円 82件 防災補助金 12,917千円 113件 平成25年度 <ul style="list-style-type: none"> 自主防災隊訓練助成金 2,460千円 82件 防災補助金 10,510千円 93件 <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南海トラフ地震の発生が危惧されており、「自助・共助」の防災活動への取組みに対する支援・強化が求められている。平成25年度に三重県が公表した地震被害想定では、以前のものと比べ被害状況が拡大していることから、地域での物資、資機材の整備はますます重要度を増している。 災害時には初期消火や避難所の運営など地域の力が必要になることから、自主防災隊等が実施する防災訓練に対し講師の派遣や助成を行い、災害に強い街づくりが必要となっている。 	175
2. 地域防災力向上支援事業	6,638	<p>①自治会、自主防災隊、企業及び小中学校等からの要請に応じ、防災講習や防災訓練を実施した。</p> <p>②地域住民主体のタウンウォッチングを行い、地域で危険箇所や避難経路等の情報共有を行うとともに、防災情報を記載した防災マップを作成した。</p> <p>③地震発生時に家具の転倒による死傷者を出さないために、高齢者等を対象に家具固定事業を実施した。</p>	177
3. 避難対策事業	8,560	<p>①平成25年度から着手している伊勢市地域防災計画の改訂を完了させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容の大幅な見直し・充実 災害時行動マニュアルの作成 機能的な災害対策本部体制を新たに構築 <p>②南海トラフ地震や大規模水害に対応する、より機能的な災害対策本部体制の構築を目的として、図上訓練を実施した。(参加職員延べ441名)</p> <p>③有緝・明倫・浜郷・四郷地区において、津波避難訓練を実施した。(参加者3,716名)</p> <p>④東日本大震災の教訓から設置した「女性の視点による防災対策検討委員会」において、研究や視察等を行い市長へ提言を行った。</p>	177

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 備蓄物資整備事業	32,960	<p>伊勢市地域防災計画に定める備蓄計画に基づき、非常用食料等を購入し、物資及び資機材の整備を図った。</p> <p>備蓄物資・資機材購入 31,794千円 防災倉庫高所移転 1,166千円 (豊浜東小学校防災倉庫)</p> <p>【当初予算における内容、計画】 備蓄物資・資機材購入 42,337千円 防災倉庫高所移転 1,458千円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 ・平成26年度 3,899千円 ・平成25年度 13,523千円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・三重県が公表した地震被害想定を反映した、市の備蓄計画に基づき備蓄物資の整備を行っている。 ・発災後すぐに公助による支援は難しいことから、3日以上(7日以上を推奨)の備蓄を家庭、地域及び企業で賄ってもらうこととし、防災講習会やイベントなどで啓発を行っていく必要がある。</p>	177
5. 防災行政無線整備事業	70,789	<p>緊急時、災害時における住民への適切な情報伝達体制の確立を図るため、防災行政無線の整備を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線(デジタル同報系)屋外拡声子局増設工事 ・防災行政無線屋外拡声子局避雷針取付工事 ・防災行政無線(同報系)親局設備移設業務委託 ・高麗広地区戸別受信機及びアンテナ設置業務委託 ・アナログ戸別受信機用アンテナ撤去業務委託 	177

防災施設整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
<p>1. 避難所等整備事業</p>	<p>713,388</p>	<p>○津波からの避難困難地に対する緊急避難所として、津波避難施設等の施設整備を実施した。</p> <p>①平成27年度現年分 津波避難施設整備 ・有滝町津波避難施設 建築工事 ・磯町津波避難施設 用地買戻し・マウンド整備工事 ・二見町西津波避難施設 用地買戻し・解体工事・用地造成工事 ・東豊浜町津波避難施設 用地測量 ・二見町今一色津波避難施設 用地測量 ・その他避難所の整備 外付階段設置 避難所看板 地震自動解錠付防災ボックス設置</p> <p>②平成26年度から一部繰越 津波避難施設整備 ・大湊町津波避難施設 舗装工事・防火水槽設置工事 ・一色町津波避難施設 用地造成工事 ・磯町津波避難施設 マウンド設計 ・二見町西津波避難施設 用地造成設計</p> <p>③平成26年度から繰越 津波避難施設整備 ・一色町津波避難施設 建築工事 ・二見町西津波避難施設 建築設計</p> <p>【当初予算における計画、内容】 津波避難施設整備 ・有滝町津波避難施設 建築工事 ・磯町津波避難施設 用地買戻し・マウンド整備工事 ・二見町西津波避難施設 用地買戻し・解体工事・用地造成工事・防火水槽設置工事 ・東豊浜町津波避難施設 用地測量 ・二見町今一色津波避難施設 用地測量 ・その他避難所の整備 外付階段設置 避難所看板 地震自動解錠付防災ボックス設置</p> <p style="text-align: right;">475,911千円</p>	<p>177</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書
		<p>【過去2ヵ年の実績】</p> <p>平成26年度</p> <p>津波避難施設整備 371,909千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村松町津波避難施設 屋根設置設計・屋根設置工事 ・大湊町津波避難施設 建築工事 ・一色町津波避難施設 用地造成工事・建築設計 ・有滝町津波避難施設 用地造成工事・建築設計 ・磯町津波避難施設 用地測量・地質調査・マウンド設計 ・二見町西津波避難施設 用地測量・地質調査・用地造成設計 ・その他避難所の整備 外付階段設置 避難看板設置 小学校屋上フェンス設置 地震自動解錠付防災ボックス設置 <p>伊勢市津波対策事業検討業務委託 (危機管理課分) 7,307千円</p> <p>戸別受信機設置 178か所 (危機管理課分) 7,531千円</p> <p>観光客避難所誘導看板設置 16基 (観光振興課分) 5,559千円</p> <p>平成25年度</p> <p>津波避難施設整備 167,531千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村松町津波避難施設 地質調査・建築設計・建築工事 ・大湊町津波避難施設 用地測量・用地購入・地質調査 用地造成設計・建築設計・用地造成工事 ・一色町津波避難施設 用地測量・用地購入・地質調査 用地造成設計 ・有滝町津波避難施設 用地測量・地質調査・用地造成設計 ・外付避難階段設置 1か所 <p>避難所看板設置 設置117基 撤去183基 46,182千円</p> <p>伊勢市防災行政無線戸別受信機設置調査業務委託 (危機管理課分) 1,169千円</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <p>・発生が危惧されている南海トラフ巨大地震等の災害から市民の生命を守るため、津波避難施設等の整備が急務である。</p>	頁

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 防災センター新設 事業	609,866	<p>○地域防災力の向上を図るため、倉田山防災公園に消防・防災に関する知識と技術を学べる伊勢市防災センター新設工事を消防本部の新設と併せ施行した。 また、防災センター設置に伴う付帯事業を実施した。</p> <p>防災センター整備 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事監理業務委託 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事(建築工事) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事(電気設備工事) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事(機械設備工事) 伊勢市防災体験学習室(仮称)展示制作業務 伊勢市消防防災センター(仮称)電話交換機等導入工事</p> <p>【当初予算における計画、内容】 防災センター整備 524,685千円 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事監理業務委託 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事(建築工事) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事(電気設備工事) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事(機械設備工事) 伊勢市防災体験学習室(仮称)展示制作業務 伊勢市消防防災センター(仮称)電話交換機等導入工事</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成26年度 146,631千円 防災センター整備 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事監理業務委託 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事(建築工事) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事(電気設備工事) 伊勢市消防・防災センター(仮称)新築工事(機械設備工事)</p> <p>平成25年度 倉田山公園整備事業にて設計委託ほかを実施</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・未曾有の大災害『東日本大震災』から5年、市民の防災への意識は益々高まり、防災教室、防災訓練などの実施が求められている。 このため、見て、体験して防災学習ができる防災センターの利用を推進し、市民の災害時の行動力を向上させなければならない。</p>	177

市民交流課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害ボランティア 支援事業	600	<p>市と市社会福祉協議会が関係団体などと協働して運営する市災害ボランティアセンターに関して、有事の際に円滑な対応ができるよう、各種の取り組みを行った(市社会福祉協議会への負担金600,000円により実施)。</p>	177

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 災害時要援護者対策事業	586	<p>災害時に、自分自身や家族の支援だけでは避難することが困難な方が迅速・安全に避難支援等が受けられる体制を整えるため、対象者に対し、災害時要援護者への登録を図るとともに、災害時要援護者支援ネットワーク代表者会議を開催して制度の推進を図った。</p> <p>登録者 2, 923人</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1, 582, 000円 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者支援ネットワーク代表者会議委員報酬 ・災害時要援護者手帳印刷及び郵送 ・災害時要援護者登録台帳更新用消耗品 ・災害協定に基づく応急措置委託料（ヘルパー派遣） ・災害協定に基づく要援護者避難所利用料（福祉タクシー） ・災害協定に基づく要援護者避難所利用料 </p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成25年度 641, 054円 <ul style="list-style-type: none"> ・内 訳：災害時要援護者手帳印刷・郵送、事務用消耗品等 ・登録者：3, 368人 平成26年度 363, 081円 <ul style="list-style-type: none"> ・内 訳：災害時要援護者手帳印刷・郵送、事務用消耗品等 ・登録者：3, 340人 </p> <p>【事業を取りまく状況等】 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者登録台帳の更新を行い、7月から9月にかけて自治会、民生委員、地域包括支援センター、消防団、消防本部へ新しい台帳を渡すとともに、制度周知を行った。 ・制度に対して高い関心を持つ地域を対象として、災害時要援護者台帳作成の次のステップである「個別避難支援計画」の作成に向けて協議を行った。 ・個別避難支援計画の作成と、災害対策基本法改正に伴う事業の見直しを行うことを目的として、災害時要援護者支援ネットワーク代表者会議を開催し、今後の制度運営に関する協議を行い、「伊勢市避難行動要支援者避難支援プラン全体計画」を改正した。 </p>	177

監理課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 避難対策事業	2, 479	<p>土砂災害防止法に基づき、三重県が土砂災害警戒（特別）区域に指定した地域において、住民の生命、財産を守るため、土砂災害ハザードマップを整備し、避難に関する周知、啓発を行った。</p> <p>（概要） 土砂災害ハザードマップ作成業務 一式 1件 土砂災害ハザードマップ印刷業務 1件 ≪整備地域≫ 伊勢市横輪町地内（H27. 4. 3区域指定（三重県））</p>	177

建築住宅課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書																											
1. 住宅・建築物耐震 改修等促進事業	41,497	<p>阪神・淡路大震災で昭和56年の建築基準法の新耐震基準施行前に建築された木造住宅が多数倒壊したことを教訓に、南海トラフ地震による木造住宅の倒壊からの被害を最小限にするため、木造住宅の無料耐震診断を実施した。</p> <p>その結果、「倒壊の危険性が高い」と診断された木造住宅を対象として、耐震補強工事等に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>さらに、耐震改修促進法の一部改正に伴い、大規模建築物の耐震診断が義務化されたため、耐震診断に要した費用に対する補助を行った。</p> <p>また、地震等の災害から市民の生命、身体及び財産を保護し、災害に強いまちづくりを推進するため、市内に存する危険なブロック塀等の撤去に要した費用に対する一部補助を行った。</p> <p>(概要)</p> <table border="0" data-bbox="670 694 1292 952"> <tr> <td>・木造住宅耐震診断等業務</td> <td>一式</td> <td>68件</td> </tr> <tr> <td>・補助金</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 耐震補強設計補助</td> <td>一式</td> <td>18件</td> </tr> <tr> <td> 耐震補強工事補助</td> <td>一式</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td> 除却工事補助</td> <td>一式</td> <td>15件</td> </tr> <tr> <td> リフォーム工事補助</td> <td>一式</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td> 耐震シェルター設置補助</td> <td>一式</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td> ブロック塀等撤去費補助</td> <td>一式</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td> 大規模建築物耐震診断補助</td> <td>一式</td> <td>2件</td> </tr> </table>	・木造住宅耐震診断等業務	一式	68件	・補助金			耐震補強設計補助	一式	18件	耐震補強工事補助	一式	11件	除却工事補助	一式	15件	リフォーム工事補助	一式	11件	耐震シェルター設置補助	一式	1件	ブロック塀等撤去費補助	一式	4件	大規模建築物耐震診断補助	一式	2件	頁 177
・木造住宅耐震診断等業務	一式	68件																												
・補助金																														
耐震補強設計補助	一式	18件																												
耐震補強工事補助	一式	11件																												
除却工事補助	一式	15件																												
リフォーム工事補助	一式	11件																												
耐震シェルター設置補助	一式	1件																												
ブロック塀等撤去費補助	一式	4件																												
大規模建築物耐震診断補助	一式	2件																												

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 2. 事務局費

(単位 千円)

予算現額 713,069 千円
 決算額 698,016 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
25,952	750		6,184	665,130

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小中学校適正規模化・適正配置推進事業	940	<p>小中学校の適正規模化・適正配置を推進するため、第1期に統合予定の小中学校において、保護者や地域住民に対する説明会や統合準備会の開催、統合する学校間の事前交流等を行った。</p> <p>また、平成29年4月に開校予定である宮川中学校・沼木中学校統合校及び二見小学校・今一色小学校統合校の校章デザイン作成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・統合準備会だよりの発行 184千円 ・校章デザイン作成委託 259千円 ・行事用バス借上、施設使用 451千円 ・印刷用消耗品費等 46千円 	179
2. 通学安全対策事業	27,617	<p>主要地方道伊勢南島線を通学路としている宮川中学校の生徒の通学上の安全を確保するためにスクールバスを運行した。</p> <p>また、公共交通機関がなく、徒歩での通学が不可能な高麗広地区の児童・生徒については、教育研究所の不登校対策事業とあわせ市のマイクロバスを送迎利用し、児童生徒の通学上の安全確保及び保護者の負担軽減を図った。</p> <p>さらに、遠距離通学等の児童の通学上の安全確保と保護者負担の軽減を図るため、通学定期代金の全額を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宮川中学校スクールバス運行業務委託 22,909千円 ・遠距離通学等定期代助成 4,708千円 	179
3. 私立学校等振興助成事業	101,817	<p>○私立幼稚園就園奨励費補助金 (国の補助事業)</p> <p>国の基準に基づき、私立幼稚園に在園する市内在住園児の保護者に対して世帯の所得状況に応じて入園料及び保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数 : 675人 ・補助金支給額 : 88,567千円 <p>○私立幼稚園保育料補助金</p> <p>市内の私立幼稚園に在園する市内在住の4歳～5歳児の保護者に対し、保育料の補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給者数 : 643人 ・補助金支給額 : 3,215千円 <p>○幼児教育育成補助金</p> <p>市内私立幼稚園の幼稚園経営の健全化を図るため、幼稚園の運営費に対して補助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金支給額 : 10,035千円 	179

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
<p>1. 学校行事開催事業</p>	<p>5,619</p>	<p>子どもたちが音楽や美術・科学等に触れる機会を支援し、また、成果を発表する場を設けることにより、児童生徒の学習意欲を高めるとともに豊かな感性を養った。</p> <p>○科学創作展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 : 児童生徒の科学的な作品や創意工夫した創作的な作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市科学創作教育振興会 ・開催日 : 平成27年9月5日・6日 ・開催場所: 伊勢市生涯学習センター いせトピア ・委託料 : 225,000円 <p>○教育美術展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 : 児童生徒の絵画、工作、書写作品を展示し、一般に公開した。 ・委託先 : 伊勢市教育美術展運営委員会 ・開催日 : 平成27年12月5日・6日 ・開催場所: 伊勢市生涯学習センター いせトピア ・委託料 : 300,000円 <p>○伊勢市中学校連合音楽演劇発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 : 児童生徒による合唱・吹奏楽・太鼓の演奏会が行われた。 ・委託先 : 伊勢市中学校連合音楽演劇発表会 ・開催日 : 平成27年11月13日 ・開催場所: 伊勢市観光文化会館 ・委託料 : 2,184,668円 <p>○伊勢まつり「小学生連合鼓笛隊パレード」「中学生吹奏楽」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 : 伊勢まつりにおいて小学生による鼓笛パレード、中学生による吹奏楽が行われた。また、進修小学校による宇治地区鼓笛パレードも行われた。 ・委託先 : 伊勢まつり鼓笛・イベント実行委員会 ・開催日 : 平成27年10月10日・11日・17日 ・開催場所: 小学生は尼辻交差点から伊勢市駅前 中学生は一之木交差点本部前 進修小学校は学校からおはらい町 ・委託料 : 1,414,685円 <p>○伊勢市小学生演劇鑑賞運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 : 小学校24校6年生児童全員を対象に劇団四季の鑑賞会を行った。 ・委託先 : 伊勢市小学生演劇鑑賞運営委員会 ・開催日 : 平成27年10月2日 ・開催場所: 伊勢市観光文化会館 ・委託料 : 1,494,896円 	<p>頁 177</p>

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 学校教育支援事業	112,007	<p>地域人材や学生を、学習支援員・教育支援ボランティア・学校安全ボランティアとして活用することで、学習環境の整備に努め、個に応じたきめ細かな支援や指導を行い、特別支援教育の充実や確かな学力の定着を図った。ひいては、地域社会の学校教育への理解と協力を求め、開かれた学校づくりを推進した。</p> <p>【学習支援員】 ○配置および活動状況（平成28年3月31日現在） 小学校18校 50人 うち2人複数校勤務 中学校 9校 20人 うち1人複数校勤務</p> <p>【教育支援ボランティア】 ○登録者数 151人（平成28年3月31日現在） ○活動人数 137人（平成28年3月31日現在） 内訳（学習支援90人、学校図書館支援7人、部活動支援11人、保育活動補助22人、日本語指導5人、心の支援2人、） ○活動回数 3,639回 （平成27年4月～平成28年3月） 他に皇學館大学生等の大学生も活動。</p> <p>【学校安全ボランティア】 ○登録者数 596人 （小学校23校、中学校1校：各校区で随時活動）</p> <p>【当初予算における内容、計画】 ○共済費・賃金 学習支援員65人分 ○報償費 手話通訳等 28回分 教育支援ボランティア 小中学校36校・各校100回分 幼稚園4園・各園100回分 ○旅費 学習支援員校外活動引率等 ○需用費 消耗品費 ○役務費 手話通訳コーディネーター料 ボランティア保険料1,030人分</p> <p>【過去2ヵ年度の実績】 平成25年度 ○教育支援ボランティア登録者126人 派遣者112人 ○学校安全ボランティア登録者722人 ○学習支援員71人配置 平成26年度 ○教育支援ボランティア登録者137人 派遣者122人 ○学校安全ボランティア登録者675人 ○学習支援員71人配置</p> <p>【事業を取り巻く状況等】 特別に支援が必要な児童生徒に対して、さらにきめ細かな支援や指導を行う必要性が高まっている。</p>	179
3. 就学指導委員会経費	137	<p>次年度就学予定児及び小中学校に在籍する児童生徒について、障がいの種類や程度等を的確に把握するとともに、その保護者等に適切な情報を提供し、観察活動・教育相談を通じ、一人ひとりに応じた就学指導を行った。</p>	179
4. 特別支援教育推進事業	348	<p>子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な支援を行うために、特別支援教育体制整備をすすめた。専門家（臨床心理士・特別支援学校教諭・発達相談員等）による市内保幼小中への巡回相談や、教職員の研修会、保護者啓発のための講演会等を実施した。</p>	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. <u>子どもたちとつくる「やさしいまち伊勢市」支援事業</u>	2,302	<p>自然や環境、伝統文化、福祉やボランティア等に関する体験学習など、創意工夫を生かした学習活動を通して、児童・生徒が、「やさしいまち伊勢市」のまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を支援した。また、幼稚園において地域の人とのふれあいを通じた体験を行うことで、地域のよさや愛着を感じることができるよう支援した。</p> <p>①「やさしいまち伊勢市発見大賞」の実施 ユニバーサルデザインの部、発見・体験エピソード作文の部、俳句・川柳・短歌の部の3部門に分けて市内の小中学生を対象に、作品を募集した。今年度の応募総数は706点。そのうち、市長賞3点、教育長賞3点、優秀賞各部門小中学校で計6点、入賞各部門小中学校で計11点を決定した。入選作品集を作成し、入賞者の他小中学校36校、各関係機関に配布した。</p> <p>②事業委託校の取組 事業委託をうけた小学校11校、中学校4校、幼稚園2園が、児童生徒が地域の人との交流（ふれあい）や地域探検を通して、高齢者や障がい者が住みやすいまちづくりについて考え、気づき、行動する取組を展開した。</p> <p>③子ども未来会議 誰でも安心して暮らせる伊勢市のまちづくりについて、小中学校児童生徒代表児童生徒が意見交流した。</p> <p>④赤ちゃんとのおふれあい体験等を通したいのちの学習 市内3中学校で、明照浄済会と連携したいのちの学習のプログラムを実施した。その他の中学校においても、学校独自に講師を招聘していのちの学習を進めていった。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 報償費 540,000円 旅費 91,000円 事業委託料 1,890,000円 需用費 208,000円 使用料及び賃借料 116,000円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成25年度 事業委託料 1,850,000円 需用費 126,860円 やさしいまち伊勢市発見大賞 応募総数490点 事業委託校 小11校 中5校 幼4園</p> <p>平成26年度 報償費 20,000円 事業委託料 1,860,000円 需用費 205,000円 使用料及び賃借料 33,000円 やさしいまち伊勢市発見大賞 応募総数504点 事業委託校 小10校 中4校 幼2園</p> <p>【事業を取りまく状況等】 事業開始から平成25年までの4年間で市内全小中学校への事業委託が完了した。その中で事業委託の有用性について各校の認識も得られたことから、今年度もさらに事業内容の幅をもたせて委託校数を増やした。今後も、本事業の目的に沿った各校の特色ある取り組みが進められることが必要である。</p>	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 学びのグレード アップ総合推進事 業	9,321	児童生徒の学力を向上させるために、学力検査を全小中学校で実施し、きめ細かな指導に生かした。研究指定校5校で教育課程一般について研究を進めた。教育課程一般の指定校においては、研究の成果を市内の全小中学校に向けて公開し、研究協議を行った。今日的な教育課題の指定校については、理科教育・社会科副読本・歴史資料を使った社会科授業・幼稚園教育といった特定の教育課題に対する教育力向上のために、研究指定校4校・1園で研究を進めた。授業改善事例をまとめた報告集を作成し、関係各所に配布し、報告と成果の還元に努めた。	179
7. 未来へチャレン ジ！職場体験推 進事業	1,408	キャリア教育の一環として、働くことの意義・目的を学び、職業観・勤労観を育てるために、中学2年生を対象として3日間の職場体験学習を実施した。 職場体験学習参加生徒数：1,149名 協力事業所数：のべ350事業所	179
8. いじめ防止対策推 進事業	360	伊勢市におけるいじめ防止等に資する対策を総合的かつ効果的に進めるため、「伊勢市いじめ防止基本方針」を策定(10月1日)するとともに、各学校に内容の周知を図るため、教職員対象の研修会を行った。 また、伊勢市のいじめ問題対策を充実させていくこと、市内の関係機関団体の連携を図っていくこと、重大事態への対処の体制を充実させていくことを定めた「伊勢市いじめ防止対策推進法施行条例」を公布・施行(12月25日)のうえ、「伊勢市いじめ問題対策委員会」を設置(3月25日)し、いじめ問題への対処を迅速に行えるよう体制を整えた。	179
9. 奨学金育英事業	3,962	国家社会に貢献する有用な人材を育成するため、学校教育法による大学・高等専門学校・高等学校に在学する学生生徒で、経済的理由により修学困難な者に対し、奨学金を支給した。 県外大学：9人 県内大学：8人 公立高校：26人 私立高校：5人 公立高専(1～3年)：0人 私立高専(1～3年)：0人 県内高専(4～5年)：1人	179
10. 非核・平和運 営事業	1,046	8月6日に行われた広島平和記念式典に、各中学校から生徒代表2名(男女各1名)と、引率教員2名、指導主事2名を派遣し、平和学習を深めた。報告会を開催するとともに、広報いせ、ケーブルテレビ、報告文集を作成し、広く市民に平和の尊さを伝えた。	179

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 3. 教育研究所費

(単位 千円)

予算現額 202,265 千円
 決算額 193,458 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			33	193,425

教育研究所

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 教育研究研修推進経費	2,774	教育に関する今日的、将来的な課題について研究を進めるとともに、教職員・保護者・市民対象の研修講座を開催し、市内保幼小中学校の教育力向上を図った。 研究 10件 研修講座 25講座	頁 179
2. 子どもリレーションシップ総合推進事業	43,032	「いじめ」の早期発見・早期対応・未然防止のため「子どもの人間関係づくり」の研究を行った。 全小中学校で、よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート(hyper-QU)を実施し、その結果・分析に基づいた研修会を行い、学級集団づくりを支援した。また、非常勤講師を配置し研究体制の強化を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 36,152千円 ・活動消耗品 53千円 ・研修会参加経費 212千円 ・hyper-QU実施委託経費 5,910千円 ・生活指導負担金 705千円 【当初予算における内容、計画】 46,642千円 <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 39,214千円 ・活動消耗品 54千円 ・研修会参加経費 213千円 ・hyper-QU実施委託経費 6,336千円 ・生活指導負担金 825千円 【過去2カ年度の実績】 平成26年度 43,054千円 <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 35,987千円 ・活動消耗品 53千円 ・研修会参加経費 212千円 ・hyper-QU実施委託経費 6,095千円 ・生活指導負担金 724千円 平成25年度 42,222千円 <ul style="list-style-type: none"> ・非常勤講師賃金 35,911千円 ・研修会参加経費 165千円 ・hyper-QU実施委託経費 5,418千円 ・生活指導負担金 728千円 【事業を取り巻く状況】 いじめが社会問題になっている今、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に向け、平成22年度から非常勤講師の配置と教育心理検査を実施し「子どもの人間関係づくり」を研究しており、平成25年度からは全ての小中学校で実施し研究体制を強化している。 いじめ・不登校等の問題は早期の発見・対応が必要であるため、今後も教育心理検査等を活用し未然防止に努めていく必要がある。	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. <u>スクールサポート</u> <u>事業</u>	23,722	<p>小中学生の教育、不登校及びいじめ等の問題について、学校や保護者等からの相談に対し、教育コンサルタントが電話や面接等により対応するとともに、状況に応じ学校訪問や家庭訪問を行った。さらに、児童生徒・保護者を対象に、臨床心理士によるカウンセリングを実施し、専門的かつ継続した指導及び心のケアを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談件数 61件 ・カウンセリング 1,102件 <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント賃金等 8,837千円 ・臨床心理士、緊急支援員経費 14,798千円 ・活動消耗品 87千円 <p>【当初予算における内容、計画】 24,614千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント賃金等 9,086千円 ・臨床心理士、緊急支援員経費 15,440千円 ・活動消耗品 88千円 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成26年度 21,807千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント賃金等 8,832千円 ・臨床心理士、緊急支援員経費 12,899千円 ・活動消耗品 76千円 <p>平成25年度 21,170千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント賃金等 8,837千円 ・臨床心理士、緊急支援員経費 12,267千円 ・活動消耗品 66千円 <p>【事業を取り巻く状況】</p> <p>小中学校においては、生徒指導や友人関係など様々な問題があり、児童生徒を取り巻く課題は多様化・深刻化している。これらの課題に、迅速且つ、きめ細やかな対応を行うため、相談体制の強化が必要となっている。</p>	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. <u>不登校対策ハーモニート総合推進事業</u>	9,600	<p>登校しぶり、ひきこもりや、学校に行きたくても行けない児童生徒の社会的に自立した学校復帰を目的に、教育支援センターNESTでは、個に応じた生活や学習の指導及び支援を行った。また、学校にも教育支援センターにも行けない児童生徒への支援を充実させるため、教職経験のある相談員2名を配置し、児童生徒、保護者及び学校の支援体制を充実させた。</p> <p>通級児童生徒数 20名 相談件数(述べ件数) 1,054件 (電話 621件、来所 239件、学校訪問 194件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員、運転手賃金等 6,706千円 ・自立支援員賃金等 1,968千円 ・活動支援ボランティア経費 210千円 ・研修会等経費 123千円 ・体験活動経費 88千円 ・活動消耗品 205千円 ・研究委託経費 300千円 <p>【当初予算における内容、計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 11,570千円 ・相談員、運転手賃金等 7,848千円 ・自立支援員賃金等 2,206千円 ・活動支援ボランティア経費 330千円 ・研修会等経費 373千円 ・体験活動経費 294千円 ・活動消耗品 219千円 ・研究委託経費 300千円 <p>【過去2カ年度の実績】</p> <p>平成26年度 16,351千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談員、運転手賃金等 6,673千円 ・自立支援員賃金等 1,952千円 ・活動支援ボランティア経費 301千円 ・研修会等経費 149千円 ・体験活動経費 96千円 ・活動消耗品 205千円 ・教育研究所改修工事費 4,308千円 ・通級生送迎用車両更新経費 2,367千円 ・研究委託経費 300千円 <p>平成25年度 4,177千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援員賃金等 1,959千円 ・活動支援員経費 172千円 ・研修会等経費 215千円 ・体験活動経費 112千円 ・活動消耗品 169千円 ・保護者用資料集印刷経費 1,250千円 ・研究委託経費 300千円 <p>【事業を取り巻く状況】</p> <p>不登校の児童生徒数については、小学校では減少したが、中学生が大幅に増加し、全体についても増加する結果となった。</p> <p>児童生徒の人間関係能力や社会適応能力の向上と、誰もが安心して生活できる居心地のよい学校づくりを進め、不登校児童生徒の学校復帰を支援するとともに、不登校の未然防止に取り組む必要がある。</p>	179

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 小学校教育用コンピュータ管理経費	53,403	小学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	181
6. 中学校教育用コンピュータ管理経費	27,173	中学校教育用コンピュータの整備・管理により、次世代型の学習環境構築を進め、わかりやすい授業の実現、児童生徒の情報活用能力の育成を図った。	181

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 4. 人権教育費

(単位 千円)

予算現額 41,250 千円
決算額 40,764 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				40,764

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 人権教育研究委託経費	649	人権教育に関わる事業の充実を図るため、人権教育の研究や研修会の開催などを伊勢市人権・同和教育研究会に事業委託し、市内各小中学校等の加盟団体にて、実践の交流・研修会の開催・人権教育のカリキュラムの研究等が行われ、成果として研究紀要が発行された。	181
2. 人権教育推進一般経費	306	先進的な取組を学ぶことができる研修会に参加し、最新の情報や資料を得た。 「小中学校人権教育授業実践事例集 (CD-ROM・各学校に1部ずつ配布)」「人権の芽 (1,100部)」を作成・印刷し、各学校へ配布するとともに活用を促すことで、人権学習の推進に努めた。	181
3. 人権教育子ども輝きプラン総合推進事業	1,648	中学校区を単位とした人権教育推進事業を中心に、各学校での取組の充実に向けて、年間を通し連続性のある取組が実施できるような事業を展開した。 市の委託事業として中学校区6校区に研究指定を行い、人権教育の公開授業を中心とした校区の連携強化を図った。また、全小中学校で取り組んだ人権作文をもとに、子ども人権フォーラムを実施し、各学校での人権学習の推進を図った。	181

(款) 11. 教育費 (項) 1. 教育総務費 (目) 5. 教育集会所費

(単位 千円)

予算現額 16,166 千円
 決算額 14,483 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				14,483

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 教育集会所人権教育事業	313	子ども人権スクールを開催し、市内小中学生及び高校生に人権学習の場と機会を提供した。また、小中学校への出前学習やコラボ学習、教職員研修を実施し、人権教育の推進に努めた。	181
2. 教育集会所管理経費	14,170	人権教育の拠点としての教育集会所を管理運営するために、嘱託職員(4名)を配置するとともに、光熱水費・消耗品費・備品費・法定点検費等を支出し、利用者(市内小中学生等)が安全快適に利用できるように体制を整えた。	181

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 1. 小学校管理費

(単位 千円)

予算現額 942,428 千円
 決算額 919,027 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
12,979		397,800	16,583	491,665

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校整備事業	80,944	小学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 【主な工事】 ・プール改修工事(進修小ほか6校) 35,942千円 ・生徒用ロッカー改修工事(修道小) 7,474千円 ・擁壁改修工事(早修小) 14,607千円 ・黒板改修工事(早修小ほか6校) 1,242千円 ・職員トイレ改修工事(中島小ほか3校) 4,072千円 ・多目的トイレほか改修工事(宮山小) 7,011千円 ・鉄棒ほか設置工事(四郷小) 3,280千円 ・教室掲示板設置工事(小俣小) 1,296千円	183

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 空調設備整備事業	418,792	<p>近年の猛暑により室内でも熱中症を発症する恐れがあるため、空調設備未整備校に空調設備の設置等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空調設備改修工事（進修小ほか7校） 418,792千円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 609,300千円 ・空調設備改修工事（進修小ほか7校）</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成25年度 64,950千円 平成26年度 270,042千円</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての小中学校に空調設備が設置された。 電気料金の増額が見込まれるため、省エネの観点から節電に取り組んでいく必要がある。 過年度設置済のリース料については、維持管理経費へ予算替をした。 	183
3. 小学校施設防災対策事業	16,334	<p>大規模地震における天井材等の落下対策として、一定規模以上の大規模空間がある屋内運動場を有する小学校9校に落下防止ネットを設置した。 なお、9校のうち5校は平成26年度中に完了し、4校が平成27年度へ一部繰越となっていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内運動場天井落下防止対策工事 16,334千円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 計上なし 繰越予算額 16,334千円</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成26年度新規事業 平成26年度 46,403千円</p> <p>【事業を取りまく状況等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26年4月に国土交通省より発表された技術基準に基づき施工するため、対策方法を検討した結果、予算不足による補正予算計上及び工事発注の遅れが生じたため繰越となった。 	183

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	600	<p>学校評議員から学校運営に関する助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。</p>	183

(款) 11. 教育費 (項) 2. 小学校費 (目) 2. 小学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 99,435 千円
 決算額 96,160 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,712	123		66	94,259

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 小学校教材整備経費	19,307	<p>○一般教材備品 教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 24校(小学校全校) ・整備額 18,560,063円</p> <p>○理科教育振興法に基づく理科教材備品 科学技術教育の基盤となる小学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 4校(進修小学校ほか3校) ・整備額 573,500円</p> <p>○特別支援教育設備整備 新設または増設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 2校(豊浜西小学校ほか1校) ・整備額 173,088円</p>	183
2. 学校図書館充実経費	10,093	<p>学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 24校(小学校全校) ・整備額 10,093,054円</p>	183
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	34,364	<p>経済的理由により、就学困難な児童に、学用品費、修学旅行費、学校給食費等を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者549人 (要保護 10人、準要保護 539人)</p>	183
4. 教科書等購入経費	29,717	<p>主たる教材の「教科書」と参考資料である「指導書」を購入することにより、教職員による効果的な指導を支援し、児童生徒に学習内容の確実な定着を図った。教科書が新しくなったため、全教科書・指導書の買い替えをした。</p>	183

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 1. 中学校管理費

(単位 千円)

予算現額 290,342 千円
 決算額 273,540 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
3,806			6,643	263,091

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校整備事業	52,488	中学校の施設整備及び学習環境の一層の充実を図った。 【主な工事】 ・防球ネット設置工事(厚生中) 20,471千円 ・駐輪場設置工事(倉田山中、小俣中) 22,761千円 ・図書室ほか空調設備改修工事(御菌中) 4,586千円 ・多目的トイレほか改修工事(御菌中) 2,676千円	185
2. <u>中学校施設防災対策事業</u>	6,643	大規模地震における天井材等の落下対策として、一定規模以上の大規模空間がある屋内運動場を有する中学校6校に落下防止ネットを設置した。 なお、6校のうち5校は平成26年度中に完了し、1校が平成27年度へ一部繰越となっていた。 ・屋内運動場天井落下防止対策工事 6,643千円 【当初予算における内容、計画】 当初予算額 計上なし 繰越予算額 6,643千円 【過去2カ年度の実績】 平成26年度新規事業 平成26年度 46,829千円 【事業を取りまく状況等】 ・平成26年4月に国土交通省より発表された技術基準に基づき施工するため、対策方法を検討した結果、予算不足による補正予算計上及び工事発注の遅れが生じたため繰越となった。	185

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校評議員設置経費	264	学校評議員から学校運営に関するの助言や地域の情報を得て、校長は学校運営に生かし、特色ある学校づくりや地域や社会に開かれた学校づくりに努めた。	183

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 2. 中学校教育振興費

(単位 千円)

予算現額 115,430 千円
 決算額 110,145 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,704	227			108,214

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 中学校教材整備経費	14,298	<p>○一般教材備品 教育現場で必要とする教材及び著しく老朽化した教材を整備した。 ・整備校 12校(中学校全校) ・整備額 12,430,119円</p> <p>○理科教育振興法に基づく理科教材備品 科学技術教育の基盤となる中学校における理科教育のための設備(理科教育振興法に基づく)を国の補助を受け整備した。 ・整備校 6校(倉田山中学校ほか5校) ・整備額 1,765,399円</p> <p>○特別支援教育設備整備 新設または増設された特別支援学級において、障がいに対応した教育を実施するために必要な教材を整備した。 ・整備校 2校(倉田山中学校ほか1校) ・整備額 102,060円</p>	185
2. 学校図書館充実経費	8,121	<p>学校図書館がその機能を十分に発揮できるよう、学校図書館の充実を図った。 ・整備校 12校(中学校全校) ・整備額 8,120,614円</p>	185
3. 要保護及び準要保護児童生徒援助事業	40,940	<p>経済的理由により、就学困難な生徒に、学用品費、修学旅行費、学校給食費を給与し、必要な援助を行った。 ・支給対象者416人 (要保護 8人、準要保護 408人)</p>	185
4. ALT活動事業	44,165	<p>英語を母語とする青年やそれと等しい環境で英語を身につけた青年を招致し、中学校の英語科及び小学校の外国語活動等で、担当教員とともに指導に当たった。 JETプログラムによる雇用3名と市直接雇用8名の計11名を1～2の中学校区に派遣し、小中学校の連携を図った。</p>	185
5. スクールカウンセラー活用事業	220	<p>中学校にスクールカウンセラーを配置し、生徒や保護者の教育相談を実施した。また、教職員に対する臨床心理学的な観点から適切な助言を行い効果をあげた。</p>	185

(款) 11. 教育費 (項) 3. 中学校費 (目) 3. 中学校建設費

(単位 千円)

予算現額 1,432,917 千円
 決算額 815,854 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
81,082		610,200	4,476	120,096

教育総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 豊浜中学校・北浜 中学校統合校整備 事業	227,147	<p>平成31年度開校に向け、統合校の設計及び統合校建設予定地の造成工事を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築、土木設計業務委託 (平成26・27年度継続費) 104,772千円 ・ 造成工事 120,867千円 ・ 建築確認申請等手数料 1,139千円 ・ 土地購入費(用悪水路部分) 369千円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 349,345千円 ・ 設計業務委託料、造成工事費等 繰越予算額 60,701千円 ・ 設計業務委託料</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成25年度新規事業 平成25年度 14,531千円 ・ 用地測量及び地質調査業務委託料 ・ 不動産鑑定評価手数料 平成26年度 259,695千円 ・ 統合校建設予定地取得費 ・ 建築、土木設計業務委託料</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・ 平成31年4月開校予定。 ・ 統合校建設予定地は航空機による騒音が生じる地域であるため、文科省及び防衛省から補助を受ける。</p>	185

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 宮川中学校・沼木 中学校統合校整備 事業	588,707	<p>平成29年度開校に向け、統合校の設計及び建築工事を行った。建築工事に伴い、学校生活に支障のないよう仮設校舎及び他施設で行う行事のバスや施設等の手配を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築設計業務委託（平成26・27年度継続費） 56,392千円 ・仮設校舎賃借（平成26～29年度） 仮設体育館賃借（平成27～29年度） 88,042千円 ・校舎、屋内運動場建設工事及び監理業務委託 （平成27・28年度継続費）338,535千円 ・校舎、屋内運動場解体工事等 103,939千円 ・行事用バス借上、施設使用料 672千円 ・建築確認申請等手数料 1,127千円 <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 1,375,622千円 ・設計業務委託料、解体工事費、建設工事費 監理業務委託料、仮設校舎賃借料等 繰越予算額 25,575千円 ・設計業務委託料</p> <p>【過去2カ年度の実績】 平成26年度新規事業 平成26年度 173,999千円 ・耐力度調査及び建築設計業務委託料 ・仮設校舎賃借料等</p> <p>【事業を取りまく状況等】 ・平成29年4月開校予定。 ・統合校建設に際し、文科省から補助を受けている。また、同校はエコスクールに認定されている。</p>	185

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 1. 社会教育総務費

(単位 千円)

予算現額 79,122 千円
決算額 76,600 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				76,600

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 社会教育推進事業	788	<p>社会教育委員兼公民館運営審議会兼生涯学習推進協議会 ・委員数 11名 ・会議 社会教育関係事業の実施状況等について、審議を行った。 また、伊勢市中学校給食共同調理場の現地視察、平成27年度に愛知県刈谷市で開催された第46回東海北陸社会教育研究大会の参加者による報告を行った。 ・委員研修 第46回東海北陸社会教育研究大会に参加した。 三重県社会教育委員連絡協議会主催の研修会等に参加した。</p>	187

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 3. 文化振興費

(単位 千円)

予算現額 61,785 千円
 決算額 57,544 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				57,544

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市民芸能祭開催事業	2,552	文化芸術の振興を図るため、第59回伊勢市民芸能祭を開催した。市内の舞台芸能延べ101団体、2,117名が参加し、3,898人が鑑賞した。昨年度に引き続き、吹奏楽や能、ダンスなど、様々な舞台芸能を1日で楽しんでもらう「オープニングフェスティバル」を開催した。また、伊勢市文化協会による合併10周年をお祝いする舞台を披露した。	189
2. 文化芸術鑑賞事業	432	市制施行10周年を記念し、県内最大の公募美術展覧会「みえ県展」の伊勢移動展を伊勢市観光文化会館で開催した。また、NHK津放送局と共催で「にほんごであそぼ元気コンサート」を伊勢市観光文化会館で開催した。	189
3. 文化財保存整備事業補助金	7,975	指定文化財等の適正な保存管理を図るため、補助金を交付した。 【平成27年度対象事業及び市補助金決算額】 ○県有形文化財一色町の木造能面 附 小道具類複製事業 ・補助事業者 一色町能楽保存会 ・補助金 207千円 ○県有形文化財一色町の木造能面 附 能装束・小道具類・鏡板類収蔵庫錠前交換事業 ・補助事業者 一色町能楽保存会 ・補助金 16千円 ○市天然記念物旭町のアイナン再生事業 ・補助事業者 所有者 ・補助金 109千円 ○国史跡離宮院址環境整備事業 ・補助事業者 官舎神社氏子総代会 ・補助金 155千円 ○重文 神宮祭主職舎本館(旧慶光院客殿)建造物保存修理事業 ・補助事業者 宗教法人 神宮 ・補助金 7,488千円	189
4. 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金	1,621	伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、補助金の交付を行った。 【交付先】 ・馬瀬町狂言保存会他21団体	189
5. 文化財案内板設置事業	450	市内の指定文化財や史跡等に対し、文化財案内板を設置することにより、その所在を明らかにし、来訪者への周知を図るためのものである。平成27年度は、「馬瀬の狂言」を新設し、「北向落合地蔵(鯖大師)」及び「桜の渡し(下の渡し)」を建替え、「伝結城宗広旧跡」の板面を製作した。	189

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
6. 二見浦保存管理計画運営経費	94	平成18年に指定された国名勝「二見浦」の適切な整備、活用及び運営を行うためのものである。平成27年度は、名勝指定地内における現状変更等の取扱いを調査審議するため、名勝二見浦保存管理計画運営委員会を1回開催した。	189
7. 旧豊宮崎文庫整備活用事業	1,054	大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」について、平成23～25年度にかけて策定作業を行った史跡旧豊宮崎文庫保存管理活用計画に関し、平成27年度は文化庁と協議を行い、保存管理活用計画書を作成した。	189
8. 尾崎罌堂記念館特別展開催事業	3,278	伊勢市制施行10周年とハナミズキの返礼100年を記念し、県内外の貴重な資料を集めた特別展を、10月31日から11月29日まで開催した。期間中は、展示解説と記念講演を行い、1,801人が来館した。	191
9. 全市博物館構想推進経費	228	博物館等の文化資産を紹介するためのマップ「伊勢まるごと博物館」を作成し、市内博物館等で配布した。また、小学生の郷土学習に携わる小学校教員を対象に、社会科副読本に登場する偉人や史跡を現地に赴いて学ぶ「わたしたちの伊勢市フィールド講座」を開催した。	191
10. 全国大会等参加激励事業	395	全国規模の文化芸術大会の出場者に対し、激励金を交付した。また、出場をお祝いするため、庁舎に懸垂幕を掲出した。 ・激励金を交付した主な全国大会 第39回全国高校囲碁選手権大会 第10回朝日アマチュア囲碁名人戦全国大会 第27回全国高等学校情報処理競技全国大会 全国商業高等学校主催第62回全国高等学校珠算・電卓競技大会 第9回声楽アンサンブルコンテスト全国大会2016 【当初予算における内容、計画】 ・当初予算額 450,000円 【過去2カ年度の実績】 ・平成26年度からの新規事業 【事業を取りまく状況等】 ・出場者を激励することで更なる文化活動を推進する。	191

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 4. 青少年対策費

(単位 千円)

予算現額 8,827 千円
 決算額 8,068 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				8,068

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 青少年健全育成推進事業	1,722	<ul style="list-style-type: none"> 研修会の開催 8月29日(土) 「基調講演：子供の安全・安心の確保について」 「活動者事例発表」 啓発活動 啓発物品の贈呈 関係団体及び中学校区青少年健全育成協議会との連携 	191
2. 飯田市交流会実施事業	1,279	<p>伊勢市と飯田市の小学生の代表が交流し、両市の親睦を図るとともに、次代を担うリーダーを養成することを目的に、「伊勢市・飯田市小学生交流会」を実施した。</p> <p>日時：平成27年7月28日(火)～29日(水) 場所：伊勢市内(飯田市の小学生を受入) 参加児童：伊勢市小学校代表 71人 飯田市小学校代表 24人</p>	191
3. 成人式開催事業	1,095	<p>市内の各中学校区から推薦を受けた新成人代表(26名)による「新成人のつどい実行委員会」を設立し、自ら企画・運営を行い、「新成人のつどい」を実施した。</p> <p>日時：平成28年1月10日(日) 場所：伊勢市観光文化会館 出席者数：1,111人(出席率88.6%)</p>	191
4. 相談センター管理運営事業	3,901	<ul style="list-style-type: none"> 非行少年の早期発見と指導 実施回数：517回、活動人数：1,484人 指導人数：288人(前年比△74人) 相談活動 面接相談：0件、電話相談7件(前年比△1件) 有害環境浄化活動 三重県の立入調査活動：11回 	191

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 5. 図書館費

(単位 千円)

予算現額 170,087 千円
 決算額 168,817 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				168,817

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 図書整備経費	28,208	閲覧用図書、雑誌、視聴覚資料について、利用者のニーズや分野別のバランスをとりながら購入し、図書館利用の促進を図った。 図書 伊勢図書館 7,539冊 小俣図書館 5,321冊 雑誌 伊勢図書館 1,868冊 小俣図書館 2,091冊 視聴覚資料 伊勢図書館 38点 小俣図書館 42点	191
2. ブックスタート支援事業	1,435	赤ちゃんと保護者に「絵本」と「赤ちゃん絵本を楽しむ体験」をプレゼントする活動。赤ちゃんと保護者が、絵本を介して、心ふれあう時間を持つきっかけを届ける。対象赤ちゃんに絵本2冊とアドバイス集が入ったブックスタートパックを図書館、1歳6ヶ月児健診で配布した。 配付数 897人	191

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 6. 生涯学習費

(単位 千円)

予算現額 5,752 千円
 決算額 5,589 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,593		514	3,482

社会教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 生涯学習推進事業	2,796	○生涯学習講座の実施 生涯学習の学習機会と学習場所を提供するため、二見・小俣・御菌の各公民館等で、生涯学習講座を開催した。 ・公民館講座内訳 二見公民館 12講座 (受講者174人) 小俣公民館 17講座 (受講者320人) 御菌公民館 15講座 (受講者212人) ○伊勢文化サークル協会活動への助成 生涯学習サークルの集合体である、伊勢文化サークル協会の活動(自主事業及び文化祭等)に補助を行った。	193

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 放課後子どもプラン推進事業	2,793	<p>地域社会の中で、放課後等に子どもたちの安全で健やかな活動場所を確保するため、「放課後子ども教室」及び「地域による土曜日等の教育支援事業」を実施した。</p> <p>事業実施にあたって、伊勢文化サークル協会に委託し、所属サークルの協力を得て、子どもたちに様々な体験・活動を提供した。</p> <p>・名称 「放課後子ども教室」 「地域による土曜日等の教育支援事業」 (伊勢市における呼称：いせ子どもチャレンジ教室)</p> <p>・実施講座数 「放課後子ども教室」50講座(受講者687人) 「地域による土曜日等の教育支援事業」10講座(受講者104人)</p>	193

(款) 11. 教育費 (項) 5. 社会教育費 (目) 9. 観光文化会館費

(単位 千円)

予算現額 159,323 千円
決算額 150,563 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		86,400	3,405	60,758

文化振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 観光文化会館施設維持補修経費	102,848	施設運営に必要な維持補修工事として、会館の空調設備改修工事及び舞台照明設備の改修工事等を施工した。	195

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 2. 学校保健費

(単位 千円)

予算現額 86,322 千円
決算額 84,078 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			14,823	69,255

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 児童生徒保健管理事業	73,787	学校保健安全法に基づく健康診断として、児童生徒及び幼児に対し、校医等による内科、歯科検診を実施するとともに、専門医、学校薬剤師による各種検診、検査を実施し、幼児児童生徒の健康管理に努めた。	195
2. 児童生徒結核検診事業	17	結核問診と学校医による定期健康診断により結核の早期発見・早期治療及び児童生徒への感染防止に努めた。また、感染が疑われる対象者に精密検査を実施した。	195

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
3. 教職員健康管理事業	4,429	県費負担教職員を対象に定期健康診断を実施し、健康の保持増進を図った。	195

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 3. 学校給食費

(単位 千円)

予算現額 608,882 千円
 決算額 588,410 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		46,400	2,240	539,770

学校教育課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 学校給食管理経費	165,414	「安全でおいしい学校給食」が円滑に提供できるよう、給食調理従事者の健康管理、衛生管理等を実施し、設備の充実、食中毒の防止等に努めた。	195
2. 学校給食施設維持管理経費	3,036	学校給食が円滑に実施できるよう、施設の維持管理に努め、安定した学校給食運営を図った。	195
3. 給食施設整備経費	7,510	老朽化した大型備品の更新を行い、衛生管理を徹底した。	195
4. 中学校給食共同調理場管理経費	163,469	中学校給食共同調理場の運営・管理を行い、市内共同調理場方式実施12中学校の生徒へ、安全・安心でおいしい給食を提供した。	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
5. 中学校給食施設整備事業	80,912	<p>平成27年度新規事業 二見、小俣、御菌中学校の学校給食を共同調理場方式に移行するための施設整備・備品購入等を行った。</p> <p>【当初予算における内容、計画】 当初予算額 消耗品費 9,799,000円 工事請負費 39,501,000円 備品購入費 38,277,000円</p> <p>【平成27年度の実績】 ・共同調理場分改修工事 4,568,400円 ・二見中学校受入施設改修工事11,296,800円 ・小俣中学校受入施設改修工事10,377,720円 ・御菌中学校受入施設改修工事10,800,000円 ・三中学校既設厨房機器撤去・再設置工事 480,600円 ・機械器具備品、庁用備品購入 (食器消毒保管機、回転釜、配送用コンテナ等) 36,036,476円 ・食器等消耗品類購入(食器、調理器具等) 7,351,517円</p> <p>【事業を取りまく状況等】 二見、小俣、御菌中学校の学校給食は単独自校調理場方式により実施してきたが、調理機器の老朽化が進み、大規模修繕を必要とする可能性が高いことから、安定した学校給食を提供するため、平成27年8月から共同調理場方式へ移行した。</p>	197
6. 食育推進事業	512	<p>児童生徒が生涯にわたって健全な心と身体を培い豊かな人間性を育む基礎を作ることを目的に、学校・家庭・地域が連携しそれぞれの学校・地域の特色を活かした食育の取組を実施した。</p>	197

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 4. 体育振興費

(単位 千円)

予算現額 95,458 千円
 決算額 88,817 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			5,406	83,411

観光振興課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 集客誘致大会開催事業	19,647	<p>集客による伊勢市への経済波及効果を図るため全国規模の大会を開催し、全国各地から多くの方が参加した。</p> <p>・2015中日三重 お伊勢さんマラソン 日程 平成27年12月5日(土) ウォークの部 平成27年12月6日(日) ランニングの部 会場 県営サンアリーナ周辺 参加者数 10,949人(両日合計)</p> <p>◆決算額 委託料 19,647千円</p>	197

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
2. 国民体育大会準備 経費	2,931	H30高校総体及びH33国民体育大会を伊勢市で開催するための準備として、開催先進市町やH27開催市町の視察を行った。(岐阜市・和歌山市ほか) また、国体開催競技の中央競技団体による競技会場等の正規視察を受け、開催に向けた協議を行った。 ◆決算額 ・視察旅費等 705千円 高校総体及び国民体育大会の準備のため、嘱託職員(1名)を配置した。 ・嘱託賃金等 2,226千円	197

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. スポーツ推進委員 事業	3,696	いせスポーツフェスティバルを筆頭に、各種スポーツ教室やウォーキング等の様々なスポーツ行事を開催し、市民の健康の維持・増進と生涯スポーツの普及を図ることができた。	197
2. 総合型地域スポーツ クラブ育成事業	7,409	生涯スポーツ社会の実現に向けて、地域のスポーツ施設を拠点として、子どもから高齢者まで全ての地域住民が各自のニーズに沿って気軽にスポーツに参加できる地域住民主体の総合型地域スポーツクラブの育成を図った。各クラブにおいては、年間を通じて多くのスポーツ教室や大会等を開催し、スポーツをする場を提供した。 なお、平成28年1月1日においては、8団体、会員総数3,174人であった。	197
3. 集客誘致大会開催 事業	9,000	集客による伊勢市への経済波及効果を図り、全国規模の大会を開催した。 ・第10回全日本ジュニア体重別相撲選手権大会(27人) ・第63回神宮奉納社会人野球JABA伊勢・松阪大会(428人) ・第31回神宮奉納全日本ソフトテニス大会(250人) ・第27回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会(876人) また、以下の大会に負担金を支出した。 ・文部科学大臣杯第50回全日本大学女子ソフトボール選手権大会(990人) ・天皇賜杯第70回全日本軟式野球大会 伊勢会場6試合(県内8会場のうち)	197

(款) 11. 教育費 (項) 6. 保健体育費 (目) 5. 体育施設費

(単位 千円)

予算現額 243,422 千円
 決算額 227,261 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,383	41,700	54,506	126,672

スポーツ課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 体育施設管理運営 経費	167,160	伊勢市のスポーツ振興のため、各施設を快適に利用できるよう、適正な運営、維持管理を行った。	頁 197
2. <u>体育施設整備事業</u>	60,101	<p>安全で快適なスポーツ施設の充実を図るため、業務委託、修繕及び改修を行い、各施設の管理や機能修復、向上を行った。</p> <p>施設整備については、平成30年高校総体、平成33年国民体育大会に向けて、担当部署と調整を図っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仏山公園スポーツセンター台帳作成業務委託 2,614千円 ・フットボールヴィレッジ倉庫設置工事 4,363千円 ・倉田山公園野球場外周防球フェンス設置工事 17,316千円 ・フットボールヴィレッジ駐車場横断防止柵設置工事 4,692千円 ・朝熊山麓公園ソフトボール場フェンス改修工事 16,848千円 ・倉田山公園野球場防球ネット（一塁側）整備工事 <p>着工 平成27年2月20日 完成 平成27年6月15日 契約額 23,228千円 平成26年度実績 9,000千円 平成27年度実績 14,228千円</p>	197

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 1. 農地・農業用施設災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 43,303 千円
 決算額 7,023 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,119			4,904

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 農地・農業用施設災害復旧事業	7,023	平成27年9月8日～9日に発生した台風18号の豪雨により、楠部東排水機場が浸水したため、修繕工事を行い機能回復を図った。 ・楠部東排水機場災害復旧工事設計業務委託 一式 ・楠部東排水機場修繕工事 一式	頁 199

(款) 12. 災害復旧費 (項) 1. 農林水産業施設災害復旧費

(目) 3. 漁港災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 6,564 千円
 決算額 6,561 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,280			3,281

農林水産課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 漁港等災害復旧事業	6,561	平成27年8月25日～26日に発生した台風15号により、豊北漁港海岸ほかに大量に流木が漂着し、漁業被害、海難事故防止のため、これらの撤去を行い、船舶の安全航行の確保と漁業被害防止を図った。	頁 199

(款) 12. 災害復旧費 (項) 2. 公共土木施設災害復旧費

(目) 2. 河川災害復旧費

(単位 千円)

予算現額 31,060 千円
 決算額 15,020 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,381		4,600		1,039

基盤整備課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 河川災害復旧事業	15,020	<p>平成27年8月25日の台風15号豪雨及び平成27年9月9日の台風18号豪雨災害により被災した箇所の施設の機能回復を図るため、復旧を進めた。</p> <p>(概要) 河川災害復旧 【補助分】 ①平成27年度現年分 5件 L=28.5m 矢田川左岸 朝熊川左岸 大倉川右岸 五十鈴川左岸 朝熊川右岸 ②平成28年度へ繰越 3件 L=50.5m 古屋川左右岸 大谷川右岸 五十鈴川右岸 【単独分】 ①平成27年度現年分 測量設計業務 一式 1件</p>	<p>頁 201</p>

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 1. 元金

(単位 千円)

予算現額 4,884,383 千円
 決算額 4,884,381 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			44,327	4,840,054

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	4,877,203	過去に借入れた市債の元金の支払いを行った(通常償還)。 ・借入利率 0.1%~4.8% ・借入年度 昭和62年度~平成25年度 ・未償還残高 51,398,486千円	203

福祉総務課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債償還元金	7,178	平成16年の台風21号で被災した世帯に災害援護資金の貸付を行った際に三重県から借受けた貸付金原資の償還を行った。 (施策の概要) 災害援護資金県貸付金 22,200,000円 償還期限 平成27年度まで 平成26年度末までの償還額 15,021,745円 平成27年度の償還元金 7,178,255円 ・上半期償還額 67,915円 ・下半期償還額 7,110,340円 ※平成27年度は償還最終年度にあたるため、「災害援護資金にかかる県貸付金貸付要綱」に基づき、平成27年度下半期において未償還金残額を全額県に償還を行った。	203

(款) 13. 公債費 (項) 1. 公債費 (目) 2. 利子

(単位 千円)

予算現額 507,450 千円
 決算額 507,447 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			11,806	495,641

財政課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 市債利子	507,282	過去に借入れた市債の利子の支払いを行った。 ・借入利率 0.1%~4.8% ・借入年度 昭和62年度~平成26年度	203

【国民健康保険特別会計】

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 1. 一般被保険者療養給付費

(単位 千円)

予算現額 7,805,475 千円
 決算額 7,805,475 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,900,973	331,387			5,573,115

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養給付費	7,805,475	一般被保険者の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 519,825件 (2) 年度平均被保険者数 30,880人	223

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 2. 退職被保険者等療養給付費

(単位 千円)

予算現額 305,674 千円
 決算額 305,674 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			291,227	14,447

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養給付費	305,674	退職被保険者等の療養給付費 (1) 診療延件数(薬剤、訪問看護を含む) 22,673件 (2) 年度平均被保険者数 1,126人	223

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 3. 一般被保険者療養費

(単位 千円)

予算現額 66,000 千円
 決算額 61,317 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
13,988	1,423			45,906

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者療養費	61,317	一般被保険者の療養費支給額 (1) 支給件数 8,718件	223

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 療養諸費 (目) 4. 退職被保険者等療養費

(単位 千円)

予算現額 3,780 千円
 決算額 2,757 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			2,626	131

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等療養費	2,757	退職被保険者等の療養費支給額 (1) 支給件数 477件	223

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費 (目) 1. 一般被保険者高額療養費

(単位 千円)

予算現額 992,734 千円
 決算額 992,734 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
226,473	23,038		108,357	634,866

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 一般被保険者高額療養費	992,734	一般被保険者の高額療養費支給額 (1) 支給件数 35,266件	225

(款) 2. 保険給付費 (項) 2. 高額療養費

(目) 2. 退職被保険者等高額療養費

(単位 千円)

予算現額 46,299 千円
 決算額 46,299 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			44,111	2,188

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 退職被保険者等高額療養費	46,299	退職被保険者等の高額療養費支給額 (1) 支給件数 756件	225

(款) 2. 保険給付費 (項) 4. 出産育児諸費 (目) 1. 出産育児一時金

(単位 千円)

予算現額 60,480 千円
 決算額 33,552 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				33,552

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 出産育児一時金	33,552	出産育児一時金の支給額 (1) 支給件数 80件	225

(款) 2. 保険給付費 (項) 5. 葬祭諸費 (目) 1. 葬祭費

(単位 千円)

予算現額 12,000 千円
 決算額 10,300 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				10,300

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 葬祭費	10,300	葬祭費の支給額 (1) 支給件数 206件	225

(款) 8. 保健事業費 (項) 1. 特定健康診査等事業費

(目) 1. 特定健康診査等事業費

(単位 千円)

予算現額 177,537 千円
 決算額 160,768 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
28,394	28,394			103,980

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 特定健康診査事業費	145,315	特定健康診査の実施 (1) 受診件数 13,630人	229
2. 特定保健指導事業費	15,453	特定保健指導の実施 (1) 動機付け支援 504人 (2) 積極的支援 28人	229

【後期高齢者医療特別会計】

(款) 2. 後期高齢者医療広域連合納付金

(項) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(目) 1. 後期高齢者医療広域連合納付金

(単位 千円)

予算現額 2,719,582 千円
 決算額 2,701,420 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				2,701,420

医療保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 後期高齢者医療広域連合負担金	2,701,420	三重県後期高齢者医療広域連合の市町負担金 ・後期高齢者医療保険料 市が徴収した保険料及び延滞金を広域連合へ納付 1,130,763千円 ・保険基盤安定制度負担金 低所得者にかかる保険料軽減分を負担 309,857千円 ・保健事業負担金 広域連合の行う保健事業経費の市分担金 18,659千円 ・事務費負担金 広域連合事務経費(共通経費)の市分担金 50,922千円 ・療養給付費負担金 伊勢市の被保険者に係る医療給付費の1/12の額 1,191,219千円	241

【介護保険特別会計】

(款) 1. 総務費 (項) 1. 総務管理費 (目) 2. 介護保険推進費

(単位 千円)

予算現額 890 千円
決算額 889 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				889

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 介護保険推進協議会運営事業	338	本市における介護保険事業について、市民等から意見を聴き円滑な運営を図るため伊勢市介護保険推進協議会を開催した。	頁 255
2. 介護保険事業計画策定事業	551	平成27年3月に策定した「伊勢市第7次老人福祉計画・第6期介護保険事業計画」の印刷業務を委託し関係機関へ配布を行った。	255

(款) 2. 保険給付費 (項) 1. 介護サービス等諸費

(目) 1. 介護サービス等給付費

(単位 千円)

予算現額 11,754,489 千円
決算額 11,506,165 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,834,914	1,617,538		3,211,626	3,842,087

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 介護サービス等給付事業	10,228,064 【大事業】	<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護サービス給付費負担金 支給件数 97,380件 5,159,257千円 ・地域密着型介護サービス給付費負担金 支給件数 6,086件 1,085,777千円 ・施設介護サービス給付費負担金 支給件数 14,058件 3,409,697千円 ・居宅介護福祉用具購入費負担金 支給件数 465件 12,561千円 ・居宅介護住宅改修費負担金 支給件数 414件 37,252千円 ・居宅介護サービス計画給付費負担金 支給件数 37,739件 523,520千円 	頁 257

2. 介護予防サービス 等給付事業	569,590	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防サービス給付費負担金 支給件数 22,622件 454,046千円 ・地域密着型介護予防サービス給付費負担金 支給件数 222件 12,881千円 ・介護予防福祉用具購入費負担金 支給件数 174件 3,435千円 ・介護予防住宅改修費負担金 支給件数 309件 31,301千円 ・介護予防サービス計画費負担金 支給件数 15,425件 67,927千円 	257
3. 高額介護サービス 等給付事業	201,726	<ul style="list-style-type: none"> ・高額介護サービス費負担金 支給件数 21,436件 201,457千円 ・高額介護予防サービス費負担金 支給件数 296件 269千円 	257
4. 特定入所者介護 サービス等給付事 業	479,103	<ul style="list-style-type: none"> ・特定入所者介護サービス費負担金 支給件数 12,616件 478,796千円 ・特定入所者介護予防サービス費負担金 支給件数 55件 307千円 	259
5. 高額医療合算介護 サービス費等給付 事業	27,683	<ul style="list-style-type: none"> ・高額医療合算介護サービス費負担金 支給件数 1,118件 27,505千円 ・高額医療合算介護予防サービス費負担金 支給件数 34件 179千円 	259

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費 (目) 1. 介護予防事業費

(単位 千円)

予算現額 7,956 千円
決算額 7,330 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,963	981		3,177	1,209

健康課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護予防普及啓発 事業	3,322	65歳以上の高齢者を対象に介護予防講演会、すこやか教室(老人クラブ)等を(118回、3,196人)開催し、介護予防に関する知識の普及啓発を行った。	259
2. 介護予防強化事業	1,789	本年度中に70歳を迎える元気な高齢者1,026人に対し介護予防BOOKの配布し、運動・認知・口腔・栄養改善等総合的な介護予防に関する講座(4回、51人)特別講演会(1回、162人)を開催し知識の普及に努めた。健康チェックコーナーは3,260人の利用があった。	259
3. 運動器機能向上事 業	500	65歳以上の元気な高齢者を対象に運動器機能の向上のためストレッチ体操、筋力トレーニング等に関する講座を(24回、611人)に開催した。	259

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
4. 認知症予防事業	668	65歳以上の元気な高齢者を対象に脳活性化教室（28回、533人）を開催し、認知機能の活性化と予防の啓発を行った。	259
5. 地域介護予防活動支援事業	101	地域における介護予防に関する自主的な活動が実施されているよう認知症予防や運動器機能向上を目的とした自発的な活動の支援を行った。575回、6,708人が活動を行いその内73回、1,152人に支援を行った。	259
6. 複合型介護予防事業	111	65歳以上で運動器機能、認知機能、口腔機能等の向上、改善が必要な二次予防事業対象者に複合型介護予防教室、訪問型の指導等（20回、36人）を行い機能低下の予防を推進した。	259

地域包括ケア推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 二次予防事業対象者把握事業	658	要介護状態となるおそれのある虚弱な高齢者を早期に把握し対応を行うために、一定の年齢の方を対象に「いきいきチェック」を行い、介護予防の推進と啓発を行った。	259

(款) 3. 地域支援事業費 (項) 1. 地域支援事業費

(目) 2. 包括的支援事業・任意事業費

(単位 千円)

予算現額 168,665 千円
決算額 158,151 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
63,981	31,991			62,179

介護保険課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 介護用品支給事業	21,407	介護保険において要介護4・5に認定された高齢者等（施設入所者を除く）に対し、介護に必要な紙おむつ・尿取りパッド、紙パンツ、清拭剤、ドライシャンプーの購入費用の一部をクーポン券により補助した。 支給者数 576人	261
2. 介護相談員派遣事業	4,416	通所サービスや施設サービスを提供している事業所を介護相談員が2人1組で訪問し、利用者から不満や要望などを聞き取り、利用者・事業所・事務局との橋渡しを行った。 介護相談員 10名 延べ活動日数 839日	261
3. 介護給付費等費用適正化事業	2,694	利用者へ給付費通知書を発送することで、適切な介護サービスの利用を促した。 発送回数 4回	261

地域包括ケア推進課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 地域包括支援センター運営事業	68,000	地域包括支援センターを委託し、保健・医療・福祉の連携の拠点のさらなる充実と、高齢者の生活を総合的に支える地域包括ケア体制の実現にむけ、高齢者の支援体制の強化・充実を図った。	259
2. 在宅介護支援事業	6,302	在宅の高齢者や要介護高齢者の介護者に対し、在宅介護に関する総合的な相談に応じるとともに、当該高齢者及びその介護者のニーズに対応した保健福祉サービスが総合的に受けられるよう関係機関との連絡調整を行った。	259
3. 地域包括ケア事業	10,729	高齢者が住み慣れた地域で生活を続けるために、高齢者虐待防止と権利擁護の啓発および在宅支援に関する関係者の連携の強化等に取り組み、地域包括ケアシステムの構築と推進を行った。	261
4. 生活支援体制整備事業	3,088	介護予防・日常生活支援総合事業にかかる生活支援の充実、高齢者の社会参加、支え合い体制づくり、介護予防の推進、関係者間の意識共有と自立支援に向けたサービスの推進を構築するために生活支援コーディネーターを配置した。	261
5. 認知症施策事業	382	認知症の予防、早期発見、早期治療、安定した生活を送り続けることができるよう、認知症初期集中支援チームを立ち上げるとともに、各関係機関との連携を図り地域包括ケアシステムの構築と推進を行なった。	261
6. 食の自立支援事業	5,237	おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯で、調理が困難な者に対し、栄養のバランスがとれた食事を定期的に提供するとともに安否確認を行い、要介護状態への進行の予防等を行い、高齢者の福祉増進を図った。	261
7. 徘徊SOSネットワーク事業	478	認知症などで徘徊のおそれのある方の情報を事前に登録することで、早期発見、早期保護に役立てることができ、高齢者の安心、安全な生活の支援を行なった。	261

高齢・障がい福祉課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書 頁
1. 高齢者住宅等安心確保事業	9,182	高齢者世話付住宅（市営リバーサイドせせらぎ）に居住する高齢者に対し、生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応などのサービスを提供することにより、自立して安全かつ快適な在宅生活を営むことができるよう支援した。	261

【観光交通対策特別会計】

(款) 1. 観光交通対策事業費 (項) 1. 管理費 (目) 1. 管理費

(単位 千円)

予算現額 718,092 千円
 決算額 633,650 千円

決算額の財源内訳				
国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			538,974	94,676

交通政策課

(単位 千円)

事業名	決算額	施策の成果	決算書
1. 駐車場管理運営経費	373,632	<p>神宮周辺では、交通渋滞が頻繁に発生しており、来訪された方だけでなく、地域住民の生活にも支障をきたしている。このため、内宮周辺駐車場の駐車場収入により交通誘導や情報発信、パーク&バスライドなどの交通対策を行い観光振興や地域住民の生活環境の改善を図った。</p> <p>【駐車場使用料収入】 538,802,500円 【利用台数】 924,355台</p>	頁 279

平成27年度 都市計画税充当状況

都市計画税は、「都市計画法」に基づいて実施する都市計画事業の財源として課税する目的税であり、本市では一般会計の歳出において下表のとおり各事業に充当した。

(単位:千円)

事業名	都市計画税 充当対象 経費決算額	財源内訳				一般財源のうち 都市計画税 充当額
		国県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	
街路・道路整備事業	136,619	62,667	68,500	166	5,286	3,931
八日市場高向線ほか1線(2工区)整備事業(交付金)	54,763	28,413	25,000	0	1,350	/
八日市場高向線整備事業(交付金)	78,477	34,254	42,000	0	2,223	
県営事業地元負担金 ※	1,713	0	0	0	1,713	
【繰越】 県営事業地元負担金 ※	1,666	0	1,500	166	0	
公園整備事業	38,095	0	36,100	0	1,995	1,484
倉田山公園整備事業(交付金)	38,095	0	36,100	0	1,995	/
公債費(都市計画事業分)	613,054	0	0	0	613,054	455,905
旧伊勢分	411,608	0	0	0	411,608	/
旧二見 H18借入以降分 (茶屋25号線、二見浦交通広場)	9,116	0	0	0	9,116	
旧小俣 H18借入以降分 (下卯起宮川駅野依橋線)	70,350	0	0	0	70,350	
旧御菌 H18借入以降分 (八日市場高向線ほか1線、秋葉山高向線、高向神田線、高向西公園)	121,980	0	0	0	121,980	
下水道整備事業	1,319,512	0	0	0	1,319,512	981,270
公共下水道事業繰出金(建設改良事業費)	101,940	0	0	0	101,940	/
公共下水道事業繰出金(地方債償還金・旧伊勢分)	1,000,380	0	0	0	1,000,380	
" (地方債償還金・旧二見 H18借入以降分)	48,192	0	0	0	48,192	
" (地方債償還金・旧小俣 H18借入以降分)	84,052	0	0	0	84,052	
" (地方債償還金・旧御菌 H18借入以降分)	84,948	0	0	0	84,948	
合 計	2,107,280	62,667	104,600	166	1,939,847	1,442,590

※ 県営ウォークギャラリー整備事業(外宮度会橋線)に係る地元負担金

【費目別不納欠損の状況】

※上段()書は平成26年度実績値

(単位 人、円)

費目	事由	対象人数	不納欠損額	所管課
○一般会計				
市税				
市民税		(586)	(21,713,618)	課税課(収納推進課)
		389	10,242,184	
	消滅時効	380	9,687,882	
	無財産等徴収不能	9	554,302	
固定資産税		(607)	(26,263,712)	課税課(収納推進課)
		553	44,440,086	
	消滅時効	542	20,643,300	
	無財産等徴収不能	11	23,796,786	
軽自動車税		(550)	(2,927,800)	課税課(収納推進課)
		487	2,667,300	
	消滅時効	481	2,628,700	
	無財産等徴収不能	6	38,600	
都市計画税		(607)	(4,871,176)	課税課(収納推進課)
		553	8,497,816	
	消滅時効	542	3,947,404	
	無財産等徴収不能	11	4,550,412	
分担金及び負担金				
老人福祉施設入所負担金		(0)	(0)	高齢・障がい福祉課
	消滅時効	1	67,500	
保育所保育料		(33)	(2,335,220)	こども課
		31	2,244,610	
	消滅時効	27	2,007,710	
	無財産等徴収不能	4	236,900	
一般会計 計		(2,383)	(58,111,526)	
		2,014	68,159,496	
○国民健康保険特別会計				
国民健康保険料				
国民健康保険料		(787)	(86,782,272)	医療保険課
		629	61,415,960	
	消滅時効	629	61,415,960	
国民健康保険税				
国民健康保険税		(11)	(564,276)	医療保険課
		5	581,100	
	消滅時効	5	581,100	
国民健康保険特別会計 計		(798)	(87,346,548)	
		634	61,997,060	
○後期高齢者医療特別会計				
後期高齢者医療保険料				
後期高齢者医療保険料		(33)	(1,631,853)	医療保険課
		25	1,399,989	
	消滅時効	25	1,399,989	

○介護保険特別会計			
保険料			
介護保険料	(300)	(9,412,310)	介護保険課
	298	9,513,963	
消滅時効	298	9,513,963	

平成27年度 地方消費税交付金(社会保障財源化分)充当事業

○地方消費税交付金(社会保障財源化分)が充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費

(歳入)地方消費税交付金(社会保障財源化分) 9.9 億円

(歳出)社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費 185 億円

【社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費】

事業名	経費	財源内訳						
		特定財源				一般財源		
		国支出金	県支出金	市債	その他	地方消費税交付金(社会保障財源化分)	その他	
社会福祉	障害者福祉事業	2,436,712	1,069,356	513,561	95,400	25,231	124,427	608,737
	高齢者福祉事業	319,659	0	4,541	0	83,582	4,150	227,386
	児童福祉事業	5,866,628	1,972,662	602,613	0	574,200	199,074	2,518,079
	父母子福祉事業	554,019	188,011	0	0	0	0	366,008
	生活保護扶助事業	2,131,392	1,544,931	72,603	0	0	19,665	494,193
	その他社会福祉事業	506,917	157,530	24,659	0	14,120	39,764	270,844
	小計	11,815,327	4,932,490	1,217,977	95,400	697,133	387,080	4,485,247
社会保険	介護保険特別会計繰出金	1,527,788	10,963	5,482	0	0	34,609	1,476,734
	国民健康保険特別会計繰出金	806,613	113,398	369,858	0	0	30,215	293,142
	小計	2,334,401	124,361	375,340	0	0	64,824	1,769,876
保健衛生	後期高齢者医療特別会計繰出金	1,519,735	0	232,392	0	0	65,953	1,221,390
	医療費支給事業	827,392	0	336,875	0	0	19,301	471,216
	医療提供体制確保事業	82,829	0	6,000	0	9,357	18,472	49,000
	病院事業繰出金	1,181,700	0	0	0	630	327,110	853,960
	疾病予防対策事業	324,483	0	5,701	0	0	80,772	238,010
	健康増進対策事業	291,704	1,894	7,797	0	4,676	16,723	260,614
	母子保健推進事業	162,145	7,732	6,270	0	1,665	6,143	140,335
	小計	4,389,988	9,626	595,035	0	16,328	534,475	3,234,524
合計	18,539,716	5,066,477	2,188,352	95,400	713,461	986,379	9,489,647	